

京都大学
東南アジア研究センター要覧

昭和55年度版
(創立15周年)

ま え が き

昭和40年4月に創設された東南アジア研究センターは、本年をもって15周年を迎えることになりました。本要覧はそのことを記念して、本センターの沿革、過去15年間に蓄積してきた主な業績、現在の研究活動などをとりまとめたものであります。

振りかえってみますと、本センターの存在が今日のように国内・外から評価されるに至ったのは、創設以来、センターに直接的にあるいは間接的に関係された多数の方々の御努力と御尽力のおかげであることを想わざるをえません。わたくし共は、センターの研究活動をさらに進展させ、江湖の御期待に沿うように努力いたし、これによって学内・外から賜った長年の御好意に対するお礼とさせて頂きたい決意であります。今後とも本センターに対して、一層の御教導を賜わりますよう衷心より御願いを申し上げます。

昭和55年9月20日

京都大学東南アジア研究センター

所長 渡部 忠世

目 次

第 1 章	性格と沿革	1
第 2 章	機構と組織	8
	(1) 機 構	
	(2) 協議員	
	(3) 職 員	
	(4) 海外連絡事務所	
	(5) 研究担当教官	
	(6) 学外研究協力者	
第 3 章	研究活動	14
	(1) 出 版	
	(2) 調査・研究	
	(3) シンポジウム・国際会議	
	(4) 国際交流	
	(5) 研究会	
	(6) 東南アジアセミナー	
	(7) 資料蒐集	
第 4 章	研究スタッフ	47
	(1) 研究部門	
	(2) 客員研究部門	
	(3) 資料部	
	(4) 旧研究スタッフ	
第 5 章	出版目録	58
	(1) 東南アジア研究叢書 (和文・英文)	
	(2) シンポジウム報告書	
	(3) 『東南アジア研究』	
	(4) リプリント・シリーズ	
	(5) ディスカッション・ペーパー	

第1章 性格と沿革

京都大学東南アジア研究センターは、東南アジアおよびその周辺諸国を総合的に研究することを目的として設立された特色ある研究機関である。東南アジアとは、ベトナム・ラオス・カンボジア・タイ・ビルマ・マレーシア・シンガポール・インドネシア・フィリピンの9カ国をさすが、研究の対象としては、厳密にこの範囲に限定しているわけではない。仏教の研究のためスリランカをふくめ、熱帯稲作の研究のためバングラデシュ・インドにまで手をのばし、対外経済活動の研究のためには香港・台湾・韓国をも対象としたこともある。周辺諸国というのは、この意味である。

我々の研究方法は、欧米の「地域研究」Area Study とくらべて、東南アジアの自然環境の諸要因の自然科学的研究をもふくむ点において、人文科学とくに人類学と政治学を中心とする欧米の研究手法とは異なる特色をもっている。この意味で我々は自らこのような研究態度を「総合的地域研究」Integrated Area Research と呼ぶことがある。さらに当センターは、上述の学際的研究方法に加えて、その研究対象の力点を近代以降の東南アジアにおき、かつ文献解釈的研究よりは現地調査を重視して、現在の生々として活動し、変転している東南アジアの学問的理解に貢献することを期している。

近隣のアジア諸国とわが国との学術文化の交流が深まるにつれて、当センターが地域研究の中心として果すべき役割への期待はいよいよ高まりつつあるが、その要請にこたえるため、当センターとしては、東南アジア諸国の学者・文化人はもちろん、東南アジア研究に関心をもつ世界の学者との不断の交流につとめている。そして同時に東南アジアに関する雑誌・資料の蒐集交換を行い、それらをひろく内外の学者に利用してもらえるような体制を整備しつつある。学問研究の国際交流は、これからの日本にとって大きな課題であるが、とくに近隣の東南アジアの基礎的研究を志向している当センターは、この先達でありたい。

東南アジア研究センターが、京都大学に正式に設置されたのは、1965年のことであるが、それ以前より本学には東南アジアの文化と社会の諸問題に強い関心をもつ一群の研究者があり、1958年の春には、早くも東南アジア研究のセミナーが非公式に発足していた。このセミナーは次第に京都大学や近隣諸大学の教官・大学院学生の関心を集め、やがて月例研究会に発展、さらに東南アジア研究の一層の推進のため、正式な研究組織をつくる必要が

感じられ始めた。このため1961年に3名の研究者よりなるチームが、6カ月にわたってアジア・ヨーロッパ・アメリカにおける東南アジア研究の機関や教育プログラムの実情を視察し、詳細な報告書を提出、この報告書に基づき、本学に東南アジア研究を推進する研究機関を設立するための準備委員会が発足した。その結果1963年1月には、本学に学内措置として「東南アジア研究センター」が設けられ、初めて学内共同利用施設ないし研究活動の調整の場としての当センターの萌芽を見るに至った。このセンターの初代所長は、ほどなく総長に就任された奥田東農学部長であったが、次代の堀江保蔵教授をへて、やがて岩村忍教授が1964年から1967年に至る3年間所長をつとめられてセンターの基本構想が固まったとすることができる。それがセンターの性格として上述したところに他ならない。

センターは、学内措置として創設せられた当時は、もっぱら民間からの寄付金とフォード財団からの研究奨励金を委任経理金として受入れ、それによって多数の本学教官を東南アジア各地の現地調査に派遣した。その研究活動の中心は、タイ計画とマレーシア計画という二つの総合調査であった。それは人類学者による村落定着調査から、農学者による熱帯稲作の諸条件の研究に至るまで、極めて多岐にわたったが、常に現地に密着し、現地の研究者と協働して研究を進めるという態度を失わないように留意してきた。このため当初よりバンコクに連絡事務所を置き、現地の当局、研究者との交渉、連絡に当らせてきた。これらの研究の成果は、1963年に創刊された『東南アジア研究』に次々と発表され、内外の学者の注目を浴びるに至った。

この成果に対する評価は、この研究センターが、1965年4月に国立学校設置法施行規則の改正による全国で初めての「研究センター」として、京都大学の正式の研究機関と認められた事によって確定したと言えよう。それより逐年研究部門の増加を認められ、1980年度現在では10部門（客員部門2をふくむ）、教授11（客員部門教授相当3をふくむ）、助教授10（客員部門助教授相当1をふくむ）、助手11（客員部門助手相当2をふくむ）の定員を持つ研究組織に成長した。特にこの客員部門のうち、地域研究第1（外国人客員）研究部門は、東南アジアよりの研究者を、センターの客員研究員として迎えるもので、この種の国際交流のための部門の設置は全国で最初の試みであった。

1965年正式設置が認められた時の所長は、当時人文科学研究所の岩村忍教授の兼任であり、1967年度は教育学部の相良惟一教授の兼任であったが、1968年度には東南アジア研究センターの市村真一教授に引きつがれた。この年、研究センターがそれまで管理委員会と運営委員会によって運営されて来た規約を改め、学内の付置研究所に準じる「協議員会規

程」を定め、また1969年度には「所長候補者選考規程」を定め、それによって初めて任期を3年とする所長が選任せられることとなった。同年度以降3年ごとに改選をして、1979年には渡部忠世教授が所長に選任せられ、今日に至っている。現在の研究センターは、教授・助教授の人事、年々の予算の概算要求、現地調査費の配分等の重要事項の審議決定は、この協議員会によっており、その協議員はセンターの教授及び助教授1名のほか全学の関係学部研究所より選任された教授もしくは助教授を所長が委嘱している。その他通常のセンターの重要事項の審議決定は「教授会」、日常の運営に関する細部の打合せは「所員会議」の相談によっている。

1969年は、大学紛争の火がセンターの周辺にもとび散っていたが、こうした体制が整備されると共に、1970年から新しくインドネシア計画も開始され、またジャカルタに新しい連絡事務所も設けられた。その成果は、国立社会経済研究所や中央統計局との協力による「南スマトラ州総合調査」や「インドネシア産業連関表」の完成などに見られる。これらの報告は、英語とインドネシア語の双方で公表されて、その後の各種の研究の基礎となっている。

当センターは、創設の当初以来和英両方の研究叢書の出版を行って、研究成果を内外に問うて来ているが、1970年以降、邦文の方は創文社に、英文の方は University Press of Hawaii に出版を依頼して公刊している。また『東南アジア研究』も内外の大学その他の研究機関と交換しているばかりでなく、財団法人アジア研究協会（理事長 奥田 東）に依頼して、一般に購読してもらう道をひらいている。

1969年にセンターのバンコクの現地連絡事務所が、次いで73年にジャカルタの連絡事務所の運営経費が国の予算として認められていると共に、現地調査費も国の予算で認められ、ようやく当センターの現地調査を計画的に推進する最少限の基礎が与えられるようになった。それ以来センターでは、この予算を活用して、大学内の「研究担当教官」による東南アジア研究を実質的に支援できるようになりつつある。また1978年度から「非常勤講師経費」を認められ、さらに1979年度には地域研究第2（客員）研究部門が設けられた事により、「学外研究協力者」が積極的に研究参加できる機会を提供できるようになった。

【付】 歴代センター関係者一覧

歴代所長		庶務課長	遠藤 丞
奥田 東	1963. 1—1963.12	主計課長	渡部 肇
堀江 保蔵（事務取扱）	1963.12—1964. 1		
岩村 忍	1964. 2—1968. 3		
相良 惟一	1968. 4—1969. 3		
市村 真一	1969. 4—1979. 3		
渡部 忠世	1979. 4—		
		旧管理委員会（1963年1月～1969年3月）	
		文学部長	足利 惇氏（1963. 1—1964. 3）
		〃	井上 智勇（1964. 4—1966. 1）
		〃	大山 定一（1966. 1—1968. 1）
		〃	井島 勉（1968. 1—1969. 3）
		〃	長尾 雅人（1969. 3）
旧準備委員会（1962年6月～1963年1月）		教育学部長	重松 俊明（1963. 1—1965.12）
文学部長	足利 惇氏	〃	鯉坂 二夫（1966. 1—1969. 3）
教育学部長	篠原 陽二	法学部長	中田 淳一（1963. 1—1964.12）
法学部長	大森 忠夫	〃	田畑茂二郎（1965. 1—1966.12）
経済学部長	山岡 亮一	〃	長浜 政寿（1967. 1—1968.12）
理学部長	宮地伝三郎	〃	加藤 新平（1969. 1—1969. 3）
医学部長	堀井五十雄	〃	林 良平（1969. 3）
薬学部長	富田 真雄	経済学部長	岡部 利良（1963. 1—1964. 1）
工学部長	藤野 清久	〃	堀江 英一（1964. 1—1965. 1） 1969. 1—1969. 3）
農学部長	奥田 東	〃	大橋 隆憲（1966. 1—1967. 1）
教養部長	木村作次郎	〃	出口 勇蔵（1967. 1—1968. 1）
人文科学研究所長	桑原 武夫	〃	山岡 亮一（1968. 1—1969. 1）
文学部教授	臼井 二尚	理学部長	宮地伝三郎（1963. 1—1963. 3）
教育学部教授	相良 惟一	〃	速水頌一郎（1963. 4—1965. 3）
法学部教授	猪木 正道	（防災研究所長）	〃（1965.10—1966. 3）
経済学部教授	堀江 保蔵	理学部長	後藤 良造（1965. 4—1967. 3）
理学部教授	北村 四郎	〃	芦田 諒治（1967. 4—1969. 3）
医学部教授	西尾 雅七	医学部長	堀井五十雄（1963. 1—1965. 6）
薬学部教授	木村 康一	〃	山田 肇（1965. 6—1968. 7）
工学部教授	滝本 清	〃	岡本 耕造（1968. 8—1969. 3）
農学部教授	四手井綱英	薬学部教授	木村 康一（1963. 1—1964. 4）
教養部教授	羽田 明	薬学部長	上尾庄次郎（1964. 5—1968. 4）
人文科学研究所教授	岩村 忍	〃	掛見喜一郎（1968. 5—1969. 3）
事務局長	横田 実	工学部長	藤野 清八（1963. 1—1963. 3）
庶務部長	松本忠太郎	〃	藤本 武助（1963. 4—1965. 3）
経理部長	浅野 清重	〃	桜田 一郎（1965. 4—1967. 3）
（幹事）		〃	前田 敏男（1967. 4—1969.3）
文学部助教授	棚瀬 襄爾		
農学部助教授	本岡 武		

東南アジア研究センター所長・農学部長
 奥田 東 (1963. 1—1963. 12)
 農学部長 小林 章 (1963. 12—1967. 12)
 // 赤藤 克己 (1967. 12—1969. 2)
 // (事務取扱)
 柏 祐賢 (1969. 2—1969. 3)
 教養部長 木村作治郎 (1963. 1—1963. 4)
 // (事務取扱)
 田原 秀一 (1963. 4—1963. 6)
 // 柴田 実 (1963. 6—1965. 6)
 // 山下 孝介 (1965. 6—1967. 6)
 // 羽田 明 (1967. 6—1969. 3)
 人文科学研究所所長
 桑原 武夫 (1963. 1—1963. 9)
 // 森 鹿三 (1963. 10—1967. 9)
 // 藪内 清 (1967. 10—1969. 3)
 結核胸部疾患研究所所長
 長石 忠三 (1965. 10—1968. 10)
 // 辻 周介 (1968. 10—1969. 3)
 防災研究所所長
 石原藤次郎 (1966. 4—1968. 3)
 // 矢野 勝正 (1968. 4—1969. 3)
 東南アジア研究センター所長(事務取扱)
 堀江 保蔵 (1963. 12—1964. 1)
 東南アジア研究センター所長
 岩村 忍 (1964. 2—1968. 3)
 // 相良 惟一 (1968. 4—1969. 3)
 (幹事)
 事務局長 横田 実 (1965. 6—1967. 9)
 庶務部長 住友 眩 (1963. 1—1965. 3)
 // 内藤 和美 (1965. 6—1966. 9)
 // 石川 高稔 (1966. 9—1969. 3)
 経理部長 浅野 清重 (1963. 1—1964. 3)
 // 西間木久郎 (1965. 6—1969. 3)

旧運営委員会 (1965年6月～1969年3月)

(東南アジア研究センター所長)
 人文科学研究所教授
 岩村 忍 (1965. 6—1969. 3)
 文学部教授 泉井久之助 (1965. 6—1969. 3)
 // 織田 武雄 (1965. 6—1966. 6)

教育学部教授
 相良 惟一 (1965. 6—1969. 3)
 法学部教授 猪木 正道 (1965. 6—1969. 3)
 経済学部教授
 堀江 保蔵 (1965. 6—1967. 6)
 理学部教授 芦田 誠治 (1965. 6—1967. 6)
 医学部教授 西尾 雅七 (1965. 6—1965. 7)
 // 西占 貢 (1965. 6—1969. 3)
 工学部教授 滝本 清 (1965. 6—1968. 6)
 農学部教授 四手井綱英 (1965. 6—1969. 3)
 // 川口桂三郎 (1965. 6—1969. 3)
 教養部教授 柴田 実 (1965. 6—1966. 6)
 // 吉井 良三 (1965. 6—1968. 6)
 東南アジア研究センター教授
 本岡 武 (1965. 6—1969. 3)
 医学部教授 美濃口 玄 (1965. 8—1969. 3)
 薬学部教授 木島 正夫 (1965. 8—1969. 3)
 東南アジア研究センター教授
 石井 米雄 (1965. 8—1966. 6)
 (1967. 8—1969. 3)
 結核胸部疾患研究所教授
 内藤 益一 (1966. 7—1969. 3)
 法学部教授 溜池 良夫 (1966. 7—1967. 6)
 医学部教授 藤原 元典 (1966. 7—1968. 6)
 防災研究所教授
 山口 真一 (1966. 7—1969. 3)
 経済学部教授
 田杉 競 (1967. 7—1969. 3)
 理学部教授 小沢 泉夫 (1967. 7—1969. 3)
 工学部教授 森山徐一郎 (1968. 7—1969. 3)
 教養部教授 平野 実 (1968. 7—1969. 3)
 教育学部教授
 池田 実 (1968. 7—1969. 3)
 東南アジア研究センター教授
 市村 真一 (1968. 11—1969. 3)

歴代協議員 (1969年4月～)

文学部教授 西田 龍雄 (1969. 4—1976. 1)
 教育学部教授
 相良 惟一 (1969. 4—1971. 3)
 医学部教授 美濃口 玄 (1969. 4—1971. 3)

薬学部教授 木島 正夫 (1969. 4—1977. 3)
工学部教授 向井 滋 (1969. 4—1977. 3)
農学部教授 川口桂三郎 (1969. 4—1977. 3)
// 四手井綱英 (1969. 5—1975. 3)
教養部教授 平野 実 (1969. 4—1974. 3)
法学部教授 猪木 正道 (1969.10—1970. 7)
東南アジア研究センター教授
本岡 武 (1969. 4—1978. 4)
法学部教授 福島徳寿郎 (1971. 4—1975. 3)
経済学部助教授
嶋津 亮二 (1971. 4—1975. 9)
医学部教授 加藤 篤二 (1971. 4—1973. 3)
防災研究所教授
石崎 潑雄 (1971. 4—1975. 3)
経済研究所教授
建元 正弘 (1971. 4—1972. 9)
東南アジア研究センター教授
久馬 一剛 (1971. 4—1978. 3)
// (助教授) 教授
水野 浩一 (1971. 4—1973. 3)
(1975. 4—1979.10)
人文科学研究所教授
日比野丈夫 (1972.10—1976.10)
医学部教授 桂 英輔 (1973. 4—1975. 3)
木材研究所教授
満久 崇磨 (1973. 4—1977. 3)
ウイルス研究所 (助教授) 教授
徳田 正夫 (1973. 4—1980. 4)
教養部教授 吉井 良三 (1974. 4—1977. 4)
医学部教授 吉田 修 (1975. 4—1977. 3)
防災研究所教授
中島暢太郎 (1975. 4—1979. 3)
文学部教授 水津 一朗 (1976. 1—1977. 3)
教養部教授 熊本 水頼 (1977. 4—1980. 3)
文学部助教授
中 久郎 (1977. 4—1979. 3)
木材研究所教授
越島 哲夫 (1977. 4—1979. 3)
東南アジア研究センター助教授
坪内 良博 (1977. 4—1979. 3)

※現協議員については第2章(2)に掲げている。

旧職員名簿

本岡 武 教授 1965. 6—1978. 4
飯島 茂 助手 1965. 7—1967. 3
萩野 和彦 助手 1965. 7—1966. 5
久馬 一剛 助教授・教授 1967. 8—1978. 4
笠原 礼子 助手 1967.12—1969. 4
瀬戸口烈司 助手 1967.12—1973. 4
橋本由生枝 助手 1969. 6—1978. 6
辻井 博 助手 1969. 9—1977. 4
水野 浩一 助教授・教授 1970. 4—1979.10
山田 勇 助手 1975. 5—1980. 4
山影 進 助手 1976.12—1980. 4
藤山 京次 事務主任 1965. 6—1970. 5
山本 久 事務官 1965. 6—1968. 4
森 健二 // 1965. 7—1971. 4
井上 清史 // 1968. 4—1974. 6
森本 初 // 1968. 4—1972. 6
西野 清一 // 1968. 5—1970. 9
砂川 繁一 // 1969. 9—1978.12
加藤 一郎 事務主任・事務掛長
1970. 5—1972. 4
木田 康夫 事務官 1970. 9—1980. 4
河合 文平 事務長 1971. 4—1974. 4
西野 博 会計掛長 1972. 4—1973. 6
文字 健二 庶務掛長 1972. 4—1975. 4
川合 教博 会計掛長 1973. 6—1976. 4
森田 修 事務長 1974. 4—1977. 4
吉田 孝弘 庶務掛長 1975. 4—1979. 4
西村 朗 会計掛長 1976. 4—1978. 4
人見 輝雄 事務長 1977. 4—1980. 4
重松 (友杉) 茉莉子 事務補佐員
1966. 2—1966. 4
笠原 (海田) 礼子 //
1966. 2—1967.11
小松 (百々) チエ子 //
1966. 2—1971. 4
奥田 (田上) 翠 //
1966. 4—1968. 3

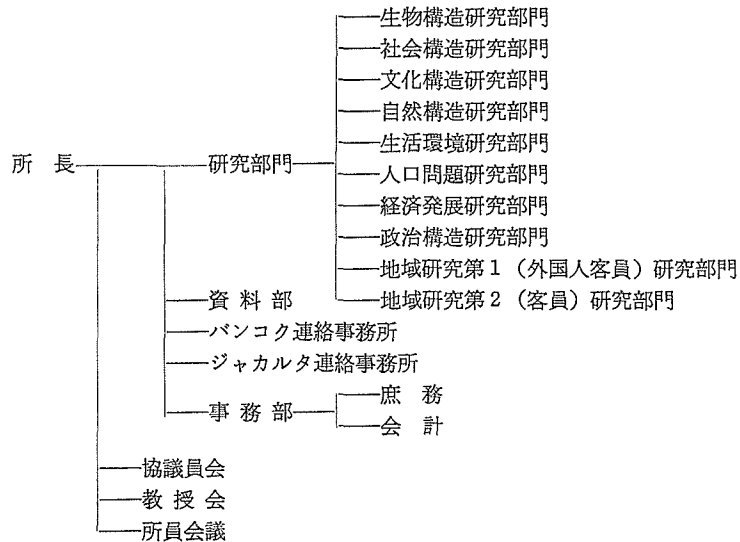
井上 孝子	//	1967. 4—1967. 9	内木十起子	//	1972. 4—1973. 9
橋本（谷本）由生枝	//	1967. 4—1969. 4	高橋（長坂）みどり	//	1972. 4—1973. 5
山崎 和子	//	1968. 4—1969. 8	伊豆蔵（小牧）裕子	//	1973. 4—1974. 10
今中（海田）陽子	//	1969. 4—1974. 10	馬場（安成）登起子	//	1973. 5—1978. 3
新宮（原田）敬子	//	1969. 4—1971. 3	高橋（河合）春美	//	1973. 6—1974. 3
堀（平井）倭佐子	//	1964. 4—1977. 6	西垣（板垣）真子	//	1973. 7—1975. 10
市古（山内）泰子	//	1970. 4—1973. 1	石川（水野）はるな	//	1974. 11—1977. 10
葛城（村田）登代子	//	1970. 4—1971. 5	上田（江森）真理子	//	1975. 4—1977. 3
堀江まち子	//	1971. 5—1973. 6	井上由紀栄	//	1975. 4—1977. 10
辻 典子	//	1971. 6—1972. 1	津田 充代	//	1975. 11—1979. 3

第2章 機構と組織

(1) 機 構

1980年度現在，東南アジア研究センターは，10研究部門（客員研究部門2を含む）および1資料部からなり，また東南アジア地域の現地調査を円滑に行なうための海外連絡事務所として，タイ国にバンコク連絡事務所を，インドネシアにジャカルタ連絡事務所を設置している。事務部は庶務・会計の2掛に分かれ，それぞれ業務を担当している。また，本センターの議決機関・協議機関として，協議員会，教授会，所員会議が設けられている。

以上を表示すれば次の通りである。



(2) 協 議 員

協議員会は，センターの運営に関する最高議決機関であり，センターの所長，教授および助教授1名並びに関係学部・研究所より選任された教授または助教授に対しセンター所長が委嘱した協議員によって構成されている。

1980年度の協議員は次の通りである。

東南アジア研究センター協議員 (1980年6月1日現在)

文学部	助教授	応地利明
法学部	教授	勝田吉太郎
理学部	教授	岩槻邦男
医学部	教授	西占貢
薬学部	教授	田端守
工学部	教授	港種雄
農学部	教授	丸山利輔
教養部	助教授	小林恒明
人文科学研究所	教授	吉田光邦
結核胸部疾患研究所	教授	寺松孝
木材研究所	教授	島地謙
防災研究所	教授	奥田節夫
経済研究所	教授	森口親司
霊長類研究所	教授	川村俊蔵
東南アジア研究センター	所長	渡部忠世
同	教授	石井米雄
同	教授	市村真一
同	教授	小林和正
同	教授	高谷好一
同	教授	矢野暢
同	教授	前田成文
同	教授 (併任)	安場保吉
同	助教授	福井捷朗

(3) 職員

センターの職員は、(イ) 研究部、(ロ) 資料部 (図書室, 編集室, 計算機室), (ハ) 事務部に分かたれる。1980年7月1日現在の職員は、次の通りである。

(イ) 研究部

所長	渡部忠世	作物学
教授	石井米雄	東南アジア史, 南方上座部仏教比較論
	市村真一	後進国発展論
	渡部忠世	作物学
	小林和正	人口学

	高 谷 好 一	自然地理学
	矢 野 暢	政治発展論
	前 田 成 文	文化人類学
(併任)	安 場 保 吉	経済発展論
助 教 授	坪 内 良 博	社会構造の比較
	吉 原 久仁夫	経済発展論
	海 田 能 宏	農業水文学
	福 井 捷 朗	農業立地学
	江 崎 光 男	経済発展の計量分析
	三 谷 恭 之	東南アジア言語学
	土 屋 健 治	インドネシア現代史
	古 川 久 雄	土壌地理・生成
	加 藤 剛	社会学
助 手	田 中 耕 司	作物学
	桜 井 由躬雄	ベトナム社会経済史
	安 成 哲 三	気象学
	松 下 敬一郎	人口論
客員教授	口 羽 益 生	社会人類学
外国人 研 究 員	丘 立 本	東南アジア史
	Sajogyo	農村社会学
	R. A. L. H. Gunawardana	農業社会経済史

(ロ) 資 料 部

編 集 室	助 手	鈴 木 静 夫
		奥 野 有 子
図 書 室	助 手	北 野 康 子
		岩 本 祥 子
計 算 機 室	助 手	安 田 聖

(ハ) 事 務 部

事 務 長		藤 田 欣 也
庶 務 掛	掛 長	村 上 嗣 郎
		米 沢 真理子
		村 田 慶之亮
		山 本 重 夫
		二 股 房 子
		作 野 加代子

会 計 掛	掛 長	渡 辺 孝 三
		紺 谷 優
		坂 本 猛 司
		金 谷 ちはる

(4) 海外連絡事務所

(イ) バンコク連絡事務所

バンコク連絡事務所（所在地，3 Soi 25 Sukhumvit Road, Bangkok, Thailand）は、1963年10月に開設されて以来、5度にわたって駐在地の変更があったが、この間、のべ29名が駐在、任に当った。

歴代の連絡事務所駐在員は、次の通りである。

本岡	武	1963年10月～1964年3月
飯島	茂	1964年4月～1964年5月
相良	惟一	1964年6月～1964年9月
本岡	武	1964年10月～1965年1月
飯島	茂	1965年1月～1965年6月
寺松	孝	1965年7月～1965年8月
飯島	茂	1965年8月～1965年9月
本岡	武	1965年10月～1966年3月
飯島	茂	1966年3月～1966年6月
石井	米雄	1966年6月～1967年4月
福井	捷朗	1967年4月～1969年4月
海田	能宏	1969年4月～1970年3月
三谷	恭之	1970年3月～1971年6月
安場	保吉	1971年6月～1972年5月
福井	捷朗	1972年5月～1972年9月
水野	浩一	1972年9月～1973年3月
辻井	博	1973年4月～1974年4月
海田	能宏	1974年4月～1974年5月
辻井	博	1974年5月～1974年10月
海田	能宏	1974年10月～1976年10月
石井	米雄	1976年10月～1976年12月
海田	能宏	1976年12月～1977年10月
山田	勇	1977年10月～1977年11月

矢野 暢	1977年11月～1978年1月
桜井由躬雄	1978年1月～1978年11月
山影 進	1978年11月～1979年4月
吉原久仁夫	1979年4月～1979年7月
水野 浩一	1979年7月～1979年9月
三谷 恭之	1979年9月～

(ロ) ジャカルタ連絡事務所

ジャカルタ連絡事務所（所在地、Jalan Kartanegara 60, Kebayoran Baru, Jakarta, Indonesia）は、1970年10月に所在地に開設され、以来のべ17名が駐在の任に当たった。

歴代の連絡事務所駐在員は、次の通りである。

西原 正	1970年5月～1972年4月
飯田 経夫	1972年5月～1973年3月
西村 博行	1973年5月～1973年11月
矢野 暢	1973年11月～1974年2月
坪内 良博	1974年2月～1974年4月
野上 裕生	1974年4月～1975年5月
土屋 健治	1975年4月～1975年7月
坪内 良博	1975年7月～1976年6月
前田 成文	1976年6月～1976年9月
山田 勇	1976年9月～1976年10月
小林 和正	1976年10月～1977年3月
前田 成文	1977年4月～1979年3月
土屋 健治	1979年3月～1979年4月
石井 米雄	1979年4月～1979年6月
古川 久雄	1979年6月～1979年10月
土屋 健治	1979年10月～1980年9月
加藤 剛	1980年9月～

(5) 研究担当教官

当センターは、東南アジア研究に関心をもつ学内各学部・研究所の教官に、研究担当教官として参加を委嘱している。

1980年度において、これらの学内研究担当教官は、156名を数えるが、その学部、研究所等の内訳は、以下の通りである。

研究担当教官

教育学部	1名	法学部	5名
理学部	6	医学部	8
医学部附属病院	2	薬学部	4
工学部	17	農学部	51
農学部附属演習林	1	教養部	12
化学研究所	1	人文科学研究所	3
結核胸部疾患研究所	7	木材研究所	12
食糧科学研究所	1	防災研究所	11
ウイルス研究所	1	経済研究所	2
霊長類研究所	10	体育指導センター	1
		計	156

(6) 学外研究協力者

当センターは、総合的に地域研究を実施するため、東南アジア地域の研究に関心をもつ全国各地の大学・研究機関等の研究者に、研究協力を仰いでいる。

1980年度において、これら研究協力者は、152名を数えるが、その専科別内わけは、次の通りである。

学外研究協力者

総合	34名	人類学	10名
社会学	9	歴史	10
政治	10	農学	11
地理	9	医学・薬学	10
理学	9	経済	10
農経および人口論	13	水文その他	9
言語	8	計	152

第3章 研究活動

(1) 出版

東南アジア研究センターにおけるさまざまな研究活動の成果は、センターが刊行する出版物を通じて発表されている。

センターでは、1963年以來『東南アジア研究』（年4回刊行）を出版しているほか、和文・英文の叢書、リプリント・シリーズ、ディスカッション・ペーパー等を刊行している。これらの叢書及び論稿は、第5章出版目録に、その一覧を掲げてあるので、御参照いただきたい。

(2) 調査・研究

センターの研究活動は個別研究と共同研究に大別される。現在のセンター所員の主要な個別研究は、第4章「研究スタッフ」における現在の研究テーマの項に見る通りである。共同研究は様々なものが行われるが、自然科学者と人文社会科学者の共同による総合的研究が重視される。

現地調査

個別研究、共同研究とも主として現地調査に基いて行われ、共同研究にはセンター所員のみならず、学内および学外の研究者にも広く協力を求め研究参加を委嘱している（学内研究担当教官、学外研究協力）。

東南アジアおよびその周辺地域の現地調査研究のためにセンターが派遣した研究者は、1963年度から1980年度（5月まで）の間に延べ547人に及んでいる。その研究分野は、宗教学、人類学、社会学、歴史学、言語学、人口学、教育学、経済学、政治学、農業経済学、農学、農業土木学、土壌学、地質学、古生物学、生物学、森林生態学、医学、薬学、等々多岐にわたっており、またその多くは総合的な共同研究の一部として派遣されたものである。

共同研究

1979年度末までに終結あるいは現在進行中の共同研究のうち比較的規模の大きいものには、以下の共同研究がある。（*印は、プロジェクトとしては完了したもの）。

*1. タイ地域研究

次のマレーシア地域研究とともに、センター発足以来「コア・プロジェクト」としてセンター研究活動の中心的な共同研究であったもので、農業経済学、人類学、社会学、政治学の各専門家のタイ国における現地調査研究を中心に、他の人文社会科学および自然科学の個別研究とも関連して行われた総合的な共同研究である。

*2. マレーシア地域研究

同じく当初センターの「コア・プロジェクト」であったもので、社会学者、人類学者が農学、土壌学、農業土木学、医学等の専門家の協力をえて行ったマレーシア稲作社会の現地調査研究である。1967年以降マレーシア大学との共同研究も行われた。

*3. 南スマトラの経済調査

LEKNAS（インドネシア共和国社会経済研究所）との共同研究として実施され、南スマラの地域経済・農家経済の特徴を明らかにするとともに、地域発展に必要なデータの提出を目的とした共同研究である。

*4. 工業化が首都近郊農村に与える影響

現在の工業化が首都近郊の農村社会にどのような社会的・経済的影響を与えるかについて、タイ・マレーシア・インドネシア・フィリピンにおいて人類学者と各国の専門家が共同研究を行ったもの。

*5. 東南アジアの自然と人間

近代化の過程において東南アジア熱帯地域の社会変容が気候、地形、植生、土壌などの環境条件にどのように規定されるかという問題の解明を目的とした自然科学者と社会科学者の共同研究。

*6. タイ国低地土壌の生産力調査

土壌学者と地質学者がタイ国各地域の低地で土壌・地質を資料蒐集、分析し、各地域の土壌の生産力に関する評価を行ったもの。

*7. 東南アジアの民族独立運動

1941～57年における東南アジア諸国の民族独立運動の構造を、その政治思想と社会文化構造の分析を通じて明らかにしようとしたもの。

***8. メコン・デルタの農業環境調査**

メコン委員会との共同プロジェクトとして、農学・土壌学・社会学・人類学・農業経済学の各専門家が、ベトナムのメコン・デルタ地帯における自然・社会・経済と農業との関連を明らかにしようとした共同研究。

***9. イラワジ・デルタの農業環境調査**

同じく自然条件と農業との関連をビルマのイラワジ・デルタ地帯について明らかにしようとしたもの。

***10. 東マレーシアにおける潜在農業生産力調査**

土壌学・地形学・農学・農業土木および農業機械の専門家がサラワクにおいて、その潜在農業生産力の調査を行った共同研究。

***11. インドネシア経済の投入産出分析**

センターと LEKNAS の共同プロジェクトとして日本、インドネシアの両国から経済学者が参加し、インドネシア経済の投入産出表を作製、それに基づき、インドネシア経済の分析を行ったもの。

***12. 気候変化が農業生産に及ぼす影響**

International Federation of Institutes for Advanced Studies の「気候が人間に与える影響」プロジェクトの一部として、農業経済学者と農業気象学者が中心となって東南アジア、南アジア、東アジアの各地で行なった研究。

***13. ‘緑の革命’と農村開発**

東南アジア諸国における新品種・新技術普及の障害要因、農村開発における教育の役割、および障害克服のための方策の究明を目的とした自然科学者と社会科学者の学際的共同研究。

***14. 東南アジア稲作社会におけるイスラームの役割**

インドネシア稲作社会におけるイスラームの役割に関して、社会学者を中心に地質学、農学、農業経済学など多分野の専門家が、環境・技術・経済・社会・文化など種々の角度から総合的に解明しようとする共同研究。関連プロジェクトに17及び25。

***15. 東南アジアにおける人口圧力、家族周期と社会構造**

インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピンおよび日本の農村についての比較研究で、

家族の人口学的再生産の結果と農地の所有・相続等との関係を人口の留村と離村とに焦点をあてて研究しようとするもので、1980年度も進行中である。

***16. アジア地域における文化摩擦**

文部省科学研究費（特定研究）による共同研究の一部をなすもので、1979年度に次の3つのプロジェクトが終了した。

(1) 異民族支配と文化摩擦

ビルマ・タイ・マラヤおよび日本に対するビクトリア朝英国人の考え方を中心として、植民地支配のアジア人に対する見方と、それより生ずる文化摩擦を解明しようとするものである。

(2) 日本人の南方関与と文化摩擦

日本人の南方関与に関する一次資料の蒐集と、社会・経済・心理的要因に関連して、文化摩擦の理論から日本人の南方関与の様式を分析しようとするもの。

(3) 経済発展と文化摩擦

主要アジア諸国における、外国資本・技術による経済発展がもたらす文化摩擦と社会的緊張の解明とその解決策の模索を目的とする共同研究である。

***17. 熱帯多雨気候下におけるイスラーム社会の展開過程**

南スマトラの自然と社会に関する当センターとシュリヴィジャヤ大学の共同調査計画。

***18. 緯度を異にする世界諸地域の主食作物の生産力評価、特に再現性の実証に関する研究**

昭和53年度に製作した人工気象装置の制御性能を目標とする栽培環境の再現性能を調査し、本装置によって各種作物の本来の生育地における温湿度条件が再現でき、その生産力を十分に引き出しうることが確認された。

***19. 熱帯アジアにおけるクロッピング・システム作物生産、食糧構造の比較研究**

自給的農業の実態を詳しく調査し、在来農法の合理性、伝統的食糧構造の多様性などを農学的な側面から明らかにするために、インド、スリランカ、インドネシアで村落レベル、あるいは農家レベルでの調査を実施した。

***20. ビルマ、アッサムにおける野生イネの分布と栽培イネの生態型分化の調査**

昭和53年度にインド、ビルマで実施した現地調査での観察結果と、現地で採集した野生

イネや栽培イネの形質調査、古煉瓦中の粃殻の形態調査などをとりまとめ、同地域における栽培イネの変遷に関する報告書を刊行した。

21. 間作、混作および輪作の諸形態の研究

間作、混作などの作付様式ならびに輪作方式を実験圃場に作出し、それらの物質生産特性、群落構造、エネルギー収支などを解析的に調査した。また、構成作物の収量成立過程を発育追跡法により明らかにした。1980年度も進行中である。

22. 熱帯アジアにおける水田の分類と評価

熱帯アジアの水田のもつ特性を、個々の要素の単なる重ね合わせによるのではなく、総観的にあるいは景観的に、10万から25万分の1の縮尺で分類し、かつ評価する方法論をつくり出すことをねらいとしている。ランドサットのようなリモート・センシングデータと現地踏査を有効に併用する方法をとっている。1980年度も進行中である。

23. 低地開拓史の研究

アジアの低地は稲作地であるという前提のもとに、主要低地の開拓史を勉強している。1979年以来、揚子江、珠江、メコン、ガンジス等が取りあげられている。可能なら、アジア型低地開拓の基本型を作り出そうというもの。1980年度も進行中である。

24. 東南アジア海域世界の総合研究

本総合研究は、東南アジア海域世界という新しい視座に立って歴史の中における海洋の意味を多角的にとらえようとするものである。1980年度も進行中である。

25. 熱帯島嶼域における人の移動に関わる環境形成過程の研究

熱帯島嶼域において人の移動がもたらす自然環境の変容と、それにともなう農業技術、社会組織の環境への適応とを総合的に調査し、流動する水界稲作民の環境形成過程を解明する。1980年度より進行中である。

26. 稲作の国際比較

東南アジアと比較して、日本の稲作を検討するというのがねらい。佐賀平野、木曾川輪中、蒲原平野を調査対称に選び、日本稲作の自然立地、技術、社会・経済史の特徴を模索する。1980年度も進行中である。

27. 日本農耕におけるオーストロネシア的要素

日本の農耕には朝鮮半島要素、江南要素、南島要素の混合がある。ここでは、南島要素

がいかなるかたちで伝播し、現存するかを八重山等をフィールドに解明しようとする。
1980年度より進行中である。

共同研究計画

なお、センターの研究計画委員会は、1980年度より5カ年計画で「東南アジア世界の形成過程に関する総合的研究」と題する学術的研究を実施する予定。この計画は、人文・自然系を中心とする「熱帯モンスーン・エコシステムにおける農業の発展と地域間交渉の展開」と題するA計画と、社会系を中心とするB計画「小型家産制国家の社会基盤と経済発展」というふたつの研究計画より成る国際共同研究計画である。

(3) 国際会議・シンポジウム

東南アジア地域研究に関して内外の研究者とより広く意見を交換するため、これまでに次の8つのシンポジウムが、センターの主催または他機関との共催で開かれた。

1. マラヤ稲作シンポジウム (京都, 1964年9月)

農林省, 海外技術協力団との共催により, 60余名の専門家が参加, マラヤを中心に東南アジアの稲作に関する多数の専門的な問題が討論された。

出版: *Rice Culture in Malaya* (CSEAS Symposium Proceedings I), Kyoto, 1965.
『東南アジア研究』2巻3号: マラヤ稲作シンポジウム特集号 (1965)。

2. 東南アジアにおける日本の将来 (京都, 1965年6月)

最初のセンター主催の国際シンポジウムで, 各国より21名の政治学者が参加, 当時, 東南アジア諸国が直面した諸問題を, 日本の役割に焦点を当てつつ討議された。

出版: Masamichi Inoki (ed.), *Japan's Future in Southeast Asia* (CSEAS Symposium Proceedings II), Kyoto, 1966.

3. 東南アジアにおける水資源の利用 (京都, 1965年9月)

農林省, 海外技術協力団との共催により, 約60名の専門家が参加, 東南アジアの水利開発計画, 水文, 灌漑, 排水と農業などの専門的・技術的問題が討論された。

出版: 『東南アジア研究』3巻4号: 水資源利用に関するシンポジウム特集 (1966).
Yoshikazu Fujioka (ed.), *Water Resource Utilization in Southeast Asia* (CSEAS Symposium Proceedings III), Kyoto, 1966.

4. 東南アジア医学シンポジウム (京都, 1966年10月)

厚生省, 海外技術協力団との共催により, 約100名の専門家が参加, 寄生虫・ウイルス

性疾患・性病・結核の4部会に分かれて東南アジアの医学的問題が討論された。

出版：『東南アジア研究』4巻4号：東南アジア医学シンポジウム特集号（1967）。
Noboru Higashi (ed.), *Medical Problems in Southeast Asia* (CSEAS Symposium Series IV), Kyoto, 1968.

5. 東南アジア農業技術シンポジウム（京都，1967年6月）

主としてセンターの派遣により現地調査を行った農学関係者が参加したシンポジウムで、東南アジアにおける農業技術改良の問題点とその対策が討議された。

出版：『東南アジア研究』5巻4号：東南アジア農業技術シンポジウム特集号（1968）。

6. 東南アジア経済発展（京都；大阪；東京，1972年10月）

東南アジアおよび東アジア諸国における戦後の経済発展に関する国際シンポジウムで、東南アジアおよび日本を含む東アジアより30名の経済学者が参加、10編の報告と討論がなされた。

出版：市村真一編、『東南アジアの経済発展』東南アジア研究双書10，創文社，1975。
Shinichi Ichimura (ed.), *Economic Development of East and Southeast Asia* (CSEAS Monograph Series E-7), University of Hawaii Press, 1975.

7. 出生推移に関するシンポジウム（京都，1975年12月）

センターと米国ホノルルの East-West Population Institute の共催による国際シンポジウムで、東アジア・東南アジア・米国・日本より21名の専門家が参加、東南アジアと東アジアにおける出生力の推移とその要因が討論された。

出版：Lee-Jay Cho and Kazumasa Kobayashi (eds.), *Fertility Transition of the East Asian Populations*, University of Hawaii Press, forthcoming.

8. アジア・サブ・リンク・プロジェクト・シンポジウム（京都，1979年3月）

東南アジア・東アジアより33名の経済学者が参加、各国の計量モデルについて12編の報告と討論がなされた。

出版：『東南アジア研究』17巻2号，3号，4号：アジア・サブ・リンク・プロジェクト・シンポジウム特集号（1979）。

（4）国際交流

センターにおける研究活動の推進とその寄与を深めるため、種々の形で外国の研究者、専門家との交流にも力が注がれている。

外国人研究者の招聘

1976年度より客員研究員の制度をセンターに設け、主として東南アジア諸国の研究者を招聘し、滞在中センター研究スタッフの一員として共同研究あるいは意見の交換を行なっている。そのほかにも随時、外国人研究者の訪問、滞在を受け入れ便宜を計っている。以下は1963—1980年度の間一定期間センターにおいて研究を行った外国人研究者のリストである。

A. 外国人研究員

Gerard Diffloth	1976—77	モン・クメール比較言語学	University of Chicago (米国)
Likhit Dhiravegin	1976	タイ国および日本の近代化	Thammasat University (タイ)
Sorasith Vacharotayan	1976	熱帯土壌の生産力	Kasetsart University (タイ)
Edita A. Tan	1977	アジアの金融市場	University of the Philippines (フィリピン)
Charnvit Kasetsiri	1977—78	東南アジア史	Thammasat University (タイ)
Kyaw Soc	1977—78	ビルマ産の植物	Moulmein College (ビルマ)
Narong Thiramongkol	1978—79	地形発達史	Chulalongkorn University (タイ)
Hadiarto Mangunegoro	1978	病理生理学・肺機能の研究	Persahabatan Hospital, Jakarta (インドネシア)
Kusnadi	1978—79	結核制御に関する研究	Indonesia 結核協会 (インドネシア)
Thak Chaloehtiarana	1978—79	タイ王国現代政治史	Thammasat University (タイ)
Leslie España Bauzon	1979—80	東南アジア近世史	University of the Philippines (フィリピン)
Boonyawart Lumpaopong	1979	土壌肥沃度に関する研究	Chiangmai University (タイ)
Mattulada	1979—80	社会文化人類学に関する研究	Hasanuddin University (インドネシア)
張鐔 (Chan Tan)	1979—80	気象学	Peking University (中国)
丘立本 (Qiu Li Ben)	1980	東南アジア史	The Chinese Academy of Social Sciences (中国)
Sajogyo	1980	農村社会学	Bogor Agricultural University (インドネシア)
R. A. L. H. Gunawardana	1980—81	アジア農業社会経済史	University of Peradeniya (スリランカ)

B. その他の外国人学者

J. H. Badgley	1964—65	東南アジアにおける国際政治	Johns Hopkins School of Advanced International Studies (米国)
---------------	---------	---------------	---

D. A. Wilson	1968	タイ国の政治	University of California, Los Angeles (米国)
J. E. Bardach	1968	インドネシアの漁業, メコン開発問題	University of Michigan (米国)
J. S. Stargardt	1970	東南アジア史	Victorian Research Institute (オーストラリア)
Thee Kian Wie	1972	南スマトラの社会経済調査	LEKNAS (インドネシア)
J. L. Tamba	1972—74	地域開発計画	Sriwidjaja University (インドネシア)
Thomas B. Wiens	1974	アジアの経済発展	University of Oregon (米国)
Mikhail Nosov	1975	日本のアジア政策	National Research Institute of the World Economy and International Relations (ソ連)
Bernard K. Gordon	1977—78	東アジア・太平洋地域の国際政治	University of New Hampshire (米国)
Jonker Leonard Tamba	1978—79	インドネシアの社会発展の研究	LEKNAS (インドネシア)
Vladimir G. Leschke	1978	東南アジアにおける国際関係	Institute of World Economy and International Relations USSR Academy of Sciences (ソビエト)
Varunee Thiramongkol	1978—79	地形発達史学	Chulalongkorn University Coastal Morphology and Sedimentation (タイ)
Wilhelm Krelle	1979	西ドイツと日本及びアジア諸国との貿易の計量分析	Universität Bonn (西ドイツ)
Chatthip Nartsupha	1979	タイ経済史についての共同研究	Chulalongkorn University (タイ)
Götz Uebe	1979	日本経済の成長パターンとの国際比較とくに日本, ドイツの比較	Technische Universität München (西ドイツ)
Kittipongse Sumipan	1979—80	「日本における小規模農業開発のための金融システム制度」に関する共同研究	NRC (タイ)
Lee Jay Cho	1980	東南アジア人口の長期動向に関する共同研究	East-West Center (米国)
Sajogyo	1980	インドネシアにおける農村開発に関する社会学的研究	Bogor Agricultural University (インドネシア)
Pudjiwati Sajogyo	1980	農村社会における女性の役割に関する研究	Bogor Agricultural University (インドネシア)

Martin Bronfenbrenner	1980	東南アジアにおける所得分配に関する研究	Duke University (米国)
Ruth T. McVey	1980	インドネシアとタイの歴史に関する研究	School of Oriental and African Studies, University of London (英国)

外国研究機関への派遣

1963—1980年度の間、次のセンター所員が外国の大学、研究機関に教授および研究のために派遣された。

坪内 良博	1968—69	発展途上国の人口問題	Princeton University (米国)
山田 勇	1968—70	熱帯森林生態学	Lembaga Biologi Nasional (インドネシア)
吉原久仁夫	1969	日本の経済発展	University of Michigan (米国)
同	1970—71	東南アジアの経済発展	University of the Philippines (フィリピン)
高谷 好一	1971	デルタの第四期学的研究	University of Texas (米国)
安場 保吉	1971—72	東南アジア経済	Thammasat University, Chulalongkorn University (タイ)
海田 能宏	1971—72	水資源工学	University of California, Riverside (米国)
吉原久仁夫	1973—74	東南アジアの経済発展	University of Singapore (シンガポール)
辻井 博	1973—74	タイの農業経済発展	Chulalongkorn University, Kasetsart University (タイ)
石井 米雄	1973—75	上座部仏教サンガの比較	SOAS, University of London (英国)
安場 保吉	1975	経済史	Australian National University (オーストラリア)
福井 捷朗	1975—76	水田の分類	Agricultural University Wageningen (オランダ)
江崎 光男	1975—76	フィリピン経済発展	University of the Philippines (フィリピン)
土屋 健治	1975—77	インドネシア民族主義運動	Leidse Universiteit, Leiden (オランダ)
吉原久仁夫	1976—77	日本と東南アジアの経済発展	Stanford University (米国)
山影 進	1978—79	ASEAN に関する研究	University of Malaya (マレーシア)
江崎 光男	1978—79	ESCAP 地域の経済問題の数量的分析研究	ESCAP (タイ)
坪内 良博	1979—80	発展途上国の人口に関する研究	The Population Studies Center of the University of Michigan (米国)
土屋 健治	1979—80	インドネシアの近代史に関する研究	University of Indonesia (インドネシア)
市村 真一	1980	計量経済学に関する研究	Institut für Gesellschafts-und Wirtschaftswissenschaften der Universität Bonn (西ドイツ)
松下敬一郎	1980—81	人口経済学的研究	The Population Studies Center of the University of Michigan (米国)

留学生の派遣と受け入れ

このほかにセンターは東南アジア研究を志す研究者の養成と国際交流の目的で、センターの若手研究者、京都大学の大学院生、およびその他の学生、若手研究者を欧米と東南アジアに留学生として派遣あるいは留学の便宜を計った。また、東南アジア諸国の学生をセンターの研修員として受け入れ、その指導に当たった。受け入れた外国人研究生（研修員）は次の通りである。

Pav Sarocurng	1969—70	東南アジア近代史（インドシナ半島を中心として） （カンボジア）
金 炯萬	1971—72	東南アジアにおける都市化の問題（韓国）
David BRIAN IWAASA (岩浅)	1973—74	経済発展論 国費外国人留学生（カナダ）
陳 朝陽	1974—75	東南アジアにおける華僑の経済活動について（台湾）
George L. Hicks	1974—75	東南アジア経済の発展に関する研究（オーストラリア）
侯 家國	1974—75	中共の社会主義建設調整時期における経済政策（台湾）
Thomas B. Wiens	1974	中国の経済と農村問題（U.S.A.）
Pannila Ananda	1976—77	日本とスリランカの仏教比較研究 国費外国人留学生 （スリランカ）
Heru Santosa	1976—77	インドネシアの地域開発計画に関する研究 国費外国人 留学生（インドネシア）

(5) 研究会

センターでは、定期的な研究例会のほか、内外の研究者を招いて、随時、特別研究会を行なっている。そのほかにも、テーマ別に組織された研究会が、いくつか行なわれている。以下は、1975年より1980年7月末までにセンターで行なわれたこれらの研究会の一覧である。

東南アジア研究例会

1975年度

- 5月22日 坪内 良博（センター）
「東南アジア村落論」
- 6月12日 口羽 益生（竜谷大学文学部）
「バリ島の稲作と村落」
- 6月26日 前田 成文（センター）
「ブギス・マカサル族の Siri' について」
- 7月10日 水野 浩一（センター）
「大陸部から見た島嶼部」

- 7月24日 矢野 暢（センター）
「東南アジアにおける国家権力の類型—封建制・家産制・藩主制」
- 9月25日 青山 秀夫（京都大学名誉教授）
「歴史における宗教と文化—ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理』を手がかりとして」
- 10月9日 原 忠彦（東京外大 AA 研）
「イスラームと環境」
- 10月23日 石井 米雄（センター）
「上座部仏教のエコロジー」
- 11月27日 口羽 益生（竜谷大学文学部）
「民俗文化と宗教」
- 12月1日 高谷 好一（センター）
「山・平野・海—その環境的考察」
- 1月22日 安場 保吉（センター）
「伝統社会の工業化：経済学のアプローチ」
- 2月12日 森村 勝（中央大学）
「民族資本の形成と経営者層」
- 2月26日 吉原久仁夫（センター）
「外国資本と技術の伝達」
- 3月11日 犬飼 一郎（京都産業大学）
「労働力形成と教育訓練」
- 3月25日 水野 浩一（センター）
「近郊農村の変貌」
- 1976年度
- 4月22日 Gerard Diffloth（センター, Visiting Fellow）
“Mon-Khmer Languages in Malaysia and in the Rest of Southeast Asia”
- 6月3日 Likhit Dhiravegin（センター, Visiting Fellow）
“Contemporary Thai Politics”
- 6月10日 田辺 繁治（国立民族学博物館）
「ランナータイの農村」
- 6月24日 三谷 恭之（センター）
「南中国におけるタイ語について」
- 7月1日 前田 成文（センター）
「Amparita—南スラウェシにおける—コミュニティ・スタディー—」
- 7月8日 杉山 晃一（東北大学日本文化研究施設）
「祖霊祭祀と死者供養—北部タイの—農村における事例研究」
- 9月30日 久馬 一剛（センター）
「東南アジアのデルタの農業」

- 10月14日 Sorasith Vacharotayan (センター, Visiting Fellow)
 “The Role of Kasetsart University in the Thai National Development”
- 10月28日 大矢 雅彦 (早稲田大学)
 「バングラデシュの地形分類と日本の援助計画」
- 11月11日 海田 能宏 (センター)
 「メコン農業の将来」
- 11月25日 Gerard Diffloth (センター, Visiting Fellow)
 “Relation between the Animals and Human Being in Semai Society”
- 12月9日 市村 真一 (センター)
 「緑の革命と農村開発」
- 12月23日 山田 勇 (センター)
 「東南アジアの森林構造」
- 1月13日 辻井 博 (センター)
 「アジアにおける気象の農業生産におよぼす影響」
- 1月27日 坪内 良博 (センター)
 「都市環境における対人関係—ジャカルタの事例から—」
- 2月10日 石井 米雄 (センター)
 「タイ国における国家と宗教」
- 2月24日 中嶋 千尋 (京大農学部)
 「米産・米食国における経済発展に伴う食糧自給率の低下仮説について」
- 3月10日 高谷 好一 (センター)
 「イラワジ・デルタの稲作」
- 3月24日 福井 捷朗 (センター)
 「サラワクの稲作」
- 1977年度
- 6月20日 本岡 武 (センター)
 「FAO に勤務して」
- 7月11日 土屋 健治 (センター)
 「ヨーロッパにおけるインドネシア研究」
- 9月12日 Edita A. Tan (センター, Visiting Fellow)
 “Some Economic Implications of Major Issues in Japanese Higher Education”
- 9月26日 Charnvit Kasetsiri (センター, Visiting Fellow)
 “Peasant Rebellions in Ayudhya”
- 10月24日 福井 捷朗 (センター)
 「農業開発のための土地評価方法論をめぐって」
- 11月28日 速水佑次郎 (東京都立大学経済学部)
 “Evolution of Landtenure System in a Philippines Village”
- 2月6日 海田 能宏 (センター)

- 「メコン委員会から帰って」
- 2月27日 Bernard K. Gordon (センター, Guest Professor)
 “International Politics in East Asia: Implications for the Foreign Policies of Japan and the USA”
- 3月13日 Kyaw Soe (センター, Visiting Fellow)
 “Some Aspects on the Natural Life Resources of Burma”
- 1978年度
- 7月10日 渡部 忠世 (センター)
 「アジア大陸における栽培稲の変遷と伝播」
- 8月14日 Hadiarto Mangunegoro (センター, Visiting Fellow)
 “Some Aspects of Health Care and Service in Indonesia in Comparison with Japan”
- 9月25日 Suthy Prasartset
 “Socio-Economic Origins and Ideas of Thai Industrial Entrepreneurs”
- 11月6日 V. G. Lescke (センター, Guest Scholar)
 「アジア安全保障の問題と見通し」
- 11月13日 Germelino M. Bantisa (国際稲作研究所 研究員)
 “Socio-economic Structure and Labor Utilization Pattern in Two Philippine Villages”
- 2月19日 J. L. Tamba (センター, Guest Scholar)
 “Income Distribution in Indonesia”
- 3月7日 Haji Kusnadi (センター, Visiting Fellow)
 “Tuberculosis Control in Indonesia”
- 1979年度 (本年度より「東南アジア世界を考える」シリーズ発足)
- 4月9日 矢野 暢 (センター)
 「『東南アジア』の意味論」
- 5月7日 高谷好一 (センター)
 「チャオプラヤデルタ開発史」
- 7月2日 市村 真一 (センター)
 「東南アジアの合弁企業における緊張と摩擦」
- 7月16日 Thak Chaloehtiarana (センター, Visiting Fellow)
 “Dimensions of Power, Legitimacy and Leadership in the Thai Social Order”
- 9月17日 小林 和正 (センター)
 「ジャワの人口増加について」
- 9月25日 坪内 良博 (センター)
 「南スマトラにおける土地利用と集落史」
- 10月22日 安場 保吉 (センター)
 「タイ経済の変貌」
- 10月29日 Mattulada (センター, Visiting Fellow)

“The Involvement of South Sulawesi in the Independent Revolution of Indonesia, 1945–1950”

- 12月3日 Boonyawart Lumpaopong (センター, Visiting Fellow)
“Multiple Cropping in Northern Thailand”
- 12月10日 Leslie E. Bauzon (センター, Visiting Fellow)
“The Sugar Haciendas of Negros Island, Philippines, 1850–1900”
- 3月5日 石井 米雄 (センター)
「現代上座部仏教をめぐる諸問題」

1980年度

- 6月16日 加藤 剛 (センター)
「東南アジアにおける都市と農村の関係について—ミンナカバウの事例—」
- 6月30日 安場 保吉 (センター)
「東南アジア貿易の構造変化と ASEAN の経済政策」

現地調査報告会

1975年度

- 5月15日 野上 裕生 (理学部)
「海外調査における問題点」
- 6月5日 満久 崇麿 (木材研究所), 石原 茂久 (木材研究所)
「東南アジアの木材事情」
- 2月19日 辻井 博 (センター), 長谷川史郎 (大阪府立大学)
「パキスタン・インド・バングラデシュから帰って」

1976年度

- 4月8日 前田 成文 (センター)
「インドネシアから帰って」
- 5月13日 Likhit Dhiravegin (センター, Visiting Fellow)
“The Peoples Republic of China, An Impressionistic View”

特別研究会

1975年度

- 6月14日 Gerald Meier (Stanford University)
“Problems of Trade and Employment in Developing Countries”
- 6月21日 奥平 竜二 (外務省)
「最近のビルマにおける学術研究事情」
- 12月1日 George Mcturnan Kahin (Cornell University)
“Studies for South East Asian Countries in U.S.A.”

- 3月16日 Vernon W. Ruttan (Agricultural Development Council, Singapore)
 “Agricultural Development of South East Asian Countries”
- 1976年度
- 7月16日 Daw Kin Yi (Taunggyi University, Burma)
 “Birth and Death among the Kachin”
- 1977年度
- 10月3日 L. J. Pons (Agricultural University of the Netherlands, Wageningen)
 “Past, Present and Future of the Dutch Contributions to the Reclamation and Improvement of Lowland of the World”
- 1978年度
- 5月24日 Donald K. Emmerson (University of Wisconsin)
 “Comments on the North-South International Economic Order: Lifeboat Ethics, Resource Politics and Asia”
- 6月26日 Bernard K. Gordon (University of New Hampshire)
 “Foreign Policy Options in a Time of Change”
- 12月15日 Pan Yotopoulos (Visiting Fellow)
 “What Has Orthodox Development Economics Learned From Future (sic.) Experience”
- 2月5日 安田 聖 (センター)
 「電子計算機の現状とプログラム・パッケージについて」
- 1979年度
- 10月15日 吉田 修 (医学部)
 「東南アジア諸国との医学研究のあり方」
- 11月5日 Peter S. J. Cheng (Singapore Univ.)
 “On Southeast Asian Studies”
- 11月2日 Chatthip Nartsupha (センター, Guest Scholar)
 “A Peasant Revolt of 1924 in Northeast Thailand”
- 11月26日 N. C. Brady (IRRI)
 「アジアの稲作の諸問題と IRRI」
- 3月6日 Sein Tin (Ministry of Planning and Finances of Burma G.)
 “Public Expenditures in Burmese Economy, 1963–1979”
- 3月24日 Sajogyo (Bogor Agricultural Univ.)
 “Agrarian Problems in Indonesia”
 Pudjiwati Sajogyo (Bogor Agricultural Univ.)
 “Studying Rural Women in West Java”

1980年度

- 4月16日 Lee-Jay Cho (センター, Guest Scholar)
“Own-Children Approach to Demographic Estimation: Application to Southeast Asia”
- 5月26日 張 鐔 (センター Visiting Fellow)
安成 哲三 (センター)
「熱帯大気循環の経年変動と東南アジア地域における稲作収量の変動」
- 7月7日 速水佑次郎 (東京都立大学)
「アジア農村組織の変貌—フィリピンの米収穫制度の変化をめぐって」
- 7月14日 Martin Bronfenbrenner (センター, Guest Scholar)
“Trade between High-wage and Low-wage Countries: Its Distributional Consequences”

「東南アジア平野開拓史」研究会

1977年度

- 第1回 5月19日 高谷 好一 (センター), 石井 米雄 (センター)
「イラワジデルタ (ビルマ)」
- 第2回 6月16日 桜井由躬雄 (センター)
「紅河デルタ (ベトナム)」

1978年度

- 第3回 7月3日 土屋 健治 (センター)
「クリフォード・ギアツの ‘Agricultural Involution’ をめぐって」
- 第4回 3月9日 シンポジウム
「東南アジアデルタ開発史」
石井 米雄 (センター), 高谷 好一 (センター)
「チャオプラヤデルタ」
高田 洋子 (津田塾大学)
「メコンデルタ」
伊東 利勝 (東京外国語大学 AA 研究所)
「イラワジ上デルタ」
大野 徹 (大阪外国語大学)
「イラワジ下デルタ」
斯波 義信 (大阪大学), 本田 治 (大阪大学)
「江南デルタ」
- 第5回 3月20日 シンポジウム「江南デルタの水利と水利共同体」
川勝 守 (九州大学)
「明代江南デルタの水利と水利共同体」
森田 明 (大阪市立大学)
「清代江南デルタの水利と水利共同体」

1979年度（本年度より「東南アジア低地開拓史」と改称）

第6回 7月28日～7月31日 シンポジウム「江南デルタ開拓史」

西嶋 定生（東京大学）

「火耕水耨をめぐって」

福井 捷朗（センター）、天野元之助、米田賢次郎（滋賀大学）、山田 勇（センター）

「コメント」

川勝 守（九州大学）

「宋時代の圩田・畝田をめぐって」

長瀬 守（筑波大学）、高谷 好一（センター）

「コメント」

斯波 義信（大阪大学）「占城稲をめぐって」

渡部 忠世（センター）、天野元之助

「コメント」

濱島 敦俊（北海道大学）

「明清代の分圩をめぐって」

森田 明（大阪市立大学）、海田 能宏（センター）

「コメント」

第7回 11月14日～11月16日 シンポジウム「華南の農業と共同体」

本田 治（大阪大学）

「ひん海諸田の開拓」

天野元之助

「華南の在来農法」

斯波 義信（大阪大学）

「福建の開拓史」

森田 明（大阪市立大学）

「広東の囲基について」

天野元之助

「華南農業の生産関係」

天野元之助

「華南の村落制度」

第8回 11月29日 天野元之助、福武 直、渡部 忠世（センター）

「鼎談『華南の農業と農村』」

第9回 2月22日～2月23日 シンポジウム「ガンジス流域の稲作農村」

長崎 暢子（東京大学）

「ベンガル農村の土地制度の変遷」

福武 直

「西ベンガル稲作農村の社会構造」

石田 寛（広島大学）

「ガンジス流域の土地利用」

1980年度

- 第10回 5月29日～5月30日 シンポジウム「ガンジス流域の古典村落と農業」
田中 耕司（センター），安成 哲三（センター）
「ガンジス流域の自然環境」
岩本 裕（創価大学）
「ヴェーダ及びブラーフマナ文献にあらわれた古代インドの村落と生活」
山崎 元一（国学院大学）
「マウリヤ朝前後ガンジス流域の農村と村落」
小西 正捷（法政大学）
「考古学よりみたるガンジス中下流域」

「アジアの自然誌」研究会

1977年度

- 第1回 7月13日 安成 哲三（センター）
「シュルパ族の一年」
第2回 9月28日 高谷 好一（センター）
「ネパールの生態史」
第3回 10月20日 山田 勇（センター）
「アジアの生態系」
第4回 1月17日 高谷 好一（センター）
「マレー半島の稲作」

1978年度

- 第5回 6月30日 安成 哲三（センター）
「南西モンスーン」
第6回 7月14日 Thawatchai Santisuk（理学部）
“Vegetation and Ground Cover in Thailand”
第7回 3月6日 田端 英雄（理学部）
「ネパールの植生」
第8回 3月6日 小林 茂（東京都立大学）
「ネパール中部山村における農業システムと環境破壊」

1979年度

- 第9回 6月21日 吉井 良夫（名誉教授）
「サンダカン1年半」
第10回 6月26日 山田 勇（センター）
「南スマトラの森林植生と焼畑」

- 第11回 1月17日 田中 耕司（センター）
「ビルマ乾季稲作の諸相」
- 第12回 2月8日 張 鐸 (Visiting Fellow)
“Preliminary Study of Climatic Variation of the Last 5,000 Years in China”

「海域世界の総合研究」研究会

1979年度

- 第1回 12月7日 永積 昭（東京大学）
「マラッカ海峡周辺の海上貿易」
鈴木 恒之（東京女子大学）
「アチュー西海岸の商取り引き」
大木 昌（名古屋商科大学）
「西スマトラからマラッカ海峡へ」
加藤 剛（センター）
「ミナンカバウの海岸商人の世界」
- 第2回 12月20日 Leslie Bauzon (Visiting Fellow センター)
Mindanao and Sulawesi “The Islam Connection”
- 第3回 2月21日 大木 昌（名古屋商科大学）
「続・西スマトラからマラッカ海峡へ」
鈴木 恒之（東京女子大学）
「バンテン王国支配下におけるランボン地方社会の変容」
- 第4回 3月26日 山本 達郎（国際キリスト教大学）
「鄭和下西洋考」
生田 滋（東洋文庫）
「コメント」

1980年度

- 第5回 7月11日～7月13日 シンポジウム「マラッカ海峡をめぐる政治権力と商業の諸形態」
和田 久徳（お茶の水大学）
「15世紀マラッカ国の政治・経済構造」
生田 滋（東洋文庫）
「ポルトガル時代以降のマラッカとその貿易」
前田 成文（センター）
「Amanna Gappa をめぐって—ブキスの水界」
大木 昌（名古屋商科大学）
「スマトラ東海岸における河口権力の経済的基盤」
生田 滋（東洋文庫）
「ヨーロッパ史料からみた16・7世紀のアチェ王国」
白石 さや（コーネル大学院）

「ヒカヤット・アチェにみるアチェ王国の成立」
鈴木 恒之（東京女子大学）
「17世紀から19世紀にかけてのアチェ王国の内国政治」

「人の移動プロジェクト」研究会

1979年度

- 10月3日 Mattulada (センター, Visiting Fellow)
A General History of Bugis in Sulawesi
- 10月23日 古川 久雄 (センター)
「スラウェシの地形分類」
- 11月21日 Mattulada (センター, Visiting Fellow)
Social Stratification in South Sulawesi
- 12月12日 Mattulada (センター, Visiting Fellow)
Bugis Migration

1980年度

- 6月2日 野沢 謙 (霊長類研究所)
「東南アジアの家畜—諸家畜の遺伝的特性と野性原種との関係について」
尾本 恵市 (東京大学)
「集団遺伝学的にみたフィリピン原住民の人種的起源」

「稲作の国際比較」研究会

1980年度

- 7月2日 久保 安雄氏 (西蒲原土地改良区誌編纂室)
「蒲原地域の舟農業期」
- 7月3日 松原 義次氏 (名古屋芸術大学)
「輪中の掘上田農業」
宮地 米蔵氏 (福岡大学)
「有明海北岸低地の農業水利」

特定研究「文化摩擦」＜異民族支配と文化摩擦＞研究会

1977年度

- 第1回 4月28日 石井 米雄 (センター)
「今後の研究の進め方について」
- 第2回 6月2日 石井 米雄 (センター)
「Helen Trager, *Burma Through Alien Eyes* ……………」
- 第3回 7月7日 坪内 良博 (センター)
「Michael Symes, *An Account of an Embassy to the Kingdom of Ava* にあらわれた18世紀末の英国人のビルマ観」

- 第4回 9月29日 坪内 良博（センター）
「Hiram Cox, *Journal of a Residence in the Burman Empire* にあられた20世紀初頭の英国人のビルマ人観」
- 第5回 10月20日 坪内 良博（センター）
「“Michael Symes, *Journal of his Second Embassy to the Court of Ava in 1802*” にあられた19世紀初頭のイギリス人のビルマ観」
- 第6回 12月15日 石井 米雄（センター）
「異民族支配と文化摩擦の視点について」

1978年度

- 第1回 6月29日 大野 徹（大阪外国語大学）
「ビルマ年代記にあられた英国人観」
- 第2回 9月13日 橋本 満（文学部）
「James C. Scott, *The Moral Economy of the Peasant* をめぐって」
- 第3回 1月30日 口羽 益生（龍谷大学）
「19世紀マレー半島における英人支配と土着の反応」
- 第4回 2月21日 高谷 好一（センター）
「文化摩擦の生態学的基礎」

1979年度

- 第1回 7月6日 石井 米雄（センター）
「19世紀東南アジアにおける文化摩擦研究の視点」

特定研究「文化摩擦」＜日本の南方関与と文化摩擦＞研究会

1977年度

- 第1回 5月14日 矢野 暢（センター）
「南方関与研究の方法論」
- 第2回 6月11日 土屋 健治（センター）
吉井牛太郎（旧シンガポール在住者）、中村 孝志（天理大学）
「〈南方関与〉の吟味」
- 第3回 7月9日 吉川 洋子（京都産業大学）
「近代日本人のフィリピン進出の一局面」
- 第4回 9月17日 石居 競彦（アジア・ユースセンター）
「蘭領インド（ジャワ）への日本人進出—ある日本人の生涯」
- 第5回 10月15日 吉川 洋子（京都産業大学）
「フィリピンへの日本人進出史の一局面」
- 第6回 11月12日 原 誠（同志社大学）
「日本人キリスト者三浦謙の『南方関与』」
- 第7回 12月10日 吉川 利治（大阪外国語大学）

- 第8回 1月25日 「タイ国のおやとい外国人について」
中村 孝志（天理大学）
「台湾総督府南方関係資料について」

1978年度

- 第1回 4月22日 矢野 暢（センター）
「昭和53年度の研究構想」
- 第2回 5月27日 矢野 暢（センター）
「大正期『南進論』の特質」
- 第3回 6月10日 高橋 三郎（教養部）
「近代日本の『庶民』像—その研究動向—」
- 第4回 7月8日 吉川 洋子（京都産業大学）
「フィリピン現地調査の成果」
- 第5回 9月9日 安場 保吉（センター）
「近代日本経済史入門」
- 第6回 10月14日 小島 勝（教育学部・院）
「戦前の日本人小学校の歴史—マニラ・シンガポールを中心に—」
- 第7回 11月11日 土屋 健治（センター）
「ジャワに於ける<近代の超克>主義について」
- 第8回 12月9日 吉川 利治（大阪外国語大学）
「明治期のアジア主義とタイ国」
- 第9回 1月20日 片山 邦雄（神戸商科大学）
「初期台湾銀行の南方政策—柳生頭取の南方観を中心として—」
長岡新次郎（外務省・外交史料館）
「台湾総督府外事部について」
- 第10回 3月10日 土屋 健治（センター）
「蘭領東インドにおける日本人の進出—オランダ現地実態調査報告—」

1979年度

- 第1回 6月3日 矢野 暢（センター）
「本年度研究計画について」
「『南進論』の形成過程」
- 第2回 9月22日 土屋 健治（センター）
「蘭領東インドにおける日本人の活動について—オランダ実態調査報告(2)—」
- 第3回 11月17日 吉川 利治（大阪外国語大学）
「タイ現地調査報告」
吉川 洋子（京都産業大学）
「フィリピン現地実態調査報告」

特定研究「文化摩擦」＜アジア地域の経済発展と文化摩擦＞研究会

1977年

- 第1回 5月7日 市村 真一（センター）
「研究計画についての概念」
- 第2回 6月18日 水野 浩一（センター）
「文化摩擦への関心」
- 第3回 7月22日 西原 正（防衛大学校）
「軍部と文化摩擦の問題—インドネシアを中心に」
- 第4回 10月1日 坂下 昇（大阪大学）
「都市化と文化摩擦」
- 第5回 12月3日 鈴木 光男（東京工業大学）
「多人種共存社会における棲みわけについてのゲーム論的考察」
- 第6回 1月21日 猪木 武徳（大阪大学）
「LDCにおける市場の形成をはばむもの—G. Akerlof の理論の検証のころみ」
- 第7回 3月16日 市村 真一（センター）
「近代経営と東南アジア社会」

1978年度

- 5月22日・23日 研究打ち合わせ会
- 第1回 6月17日 市村 真一（センター）
「合弁企業に対する Survey の方法について」
- 第2回 8月12日 「在外企業経営体験者との自由討議懇談会」
- 第3回 9月1日 「在外企業の直面する諸困難についての自由討議懇談会」
- 第4回 10月12日 「シンポジウムおよび海外調査の計画」
- 第5回 11月25日 「海外調査の計画（アンケート等）」
- 第6回 2月3日 「質問表集計と分析の統計的方法について」
- 第7回 3月10日 「在外邦人、企業の現地調査の調整」

1979年度

- 第1回 5月12日 「サーベイの結果についての討議」「分析方法」
- 第2回 6月18日 「第1次・第2次集計結果の検討と今後の統計的解析の進め方」（於神田学士会館）
- 第3回 7月24日 「質問表回収結果の討議と統計的解析方法の検討」
- 第4回 11月10日 「12月の会議の報告打合せ」
- 第5回 1月5・6日 「報告者執筆の打合せ」
- 第6回 2月23日 「追加最終調査の回答報告」
「第一次報告書の内容の検討」
「経理報告」

その他の研究会

1978年度

- 12月12日 シンポジウム「東南アジアの社会経済変動—クリフォード・ギヤーツの所説をめぐって—」
加納 啓良 (アジア経済研究所)
白石 隆 (東京大学)
村井 吉敬 (上智大学)
- 2月9日～10日 第2回熱帯農業京都セミナー(於 京大会館)
市村 真一(センター)
「アジアの社会発展と農業問題」
飯田 経夫(名古屋大学)
コメント
西村 博行(農学部)
「農村発展と農業技術の展開」
口羽 益生(龍谷大学)
コメント
服部 四郎(農林省)
「熱帯農業開発における技術的側面」
田中 明(北海道大学)
コメント
- 3月5日～6日 「世界生産力調査分析計画打合せ会」
組織者 小林和正(センター)

1979年度

- 2月15日～16日 シンポジウム「FAO: 土地評価の枠組」
組織者 福井捷朗(センター)
- 3月10日～12日 シンポジウム「アジアにおける南北問題」
村松 稔(公衆衛生院)
「人口増加の趨勢—世界における多様性」
小川 直宏(日本大学)
「人口と所得」
逸見 謙三(東京大学)
「一次産品問題」
篠原三代平(成蹊大学)
「開発戦略と技術移転」
小島 清(一橋大学)
「東南アジアへの直接投資」
難波 正義(石油公団)
「石油における南北問題」

藤岡真佐夫（日本輸出入銀行）
「債務累積と国際金融」
西山 健彦（外務省）
「わが国の経済協力と東アジア」

（6） 東南アジアセミナー

東南アジアセミナーは、東南アジアの自然・地理・歴史・民族・文化・社会・人口・政治・経済等について概説し、専門的研究に必要な基礎的知識を付与するため、集中的な講義及び演習を行なうことを目的とし、1976年から、毎年1回、開催されているものである。以下、1977年度から1980年度のセミナーの日程、講義題目、講師の一覧を掲げる。

1977年度 東南アジアセミナー日程及び講師

テーマ I. 東南アジアの稲作社会

第1日 8月5日（金）

「言語と民族」	東南アジア研究センター	三谷 恭之
「文明の形成過程」	//	石井 米雄
「多民族社会の国民形成」	//	土屋 健治
「基礎社会と外来文化」	//	桜井由躬雄

第2日 8月6日（土）

「社会構造の諸類型」	東南アジア研究センター	坪内 良博
「伝統文化と社会組織」	//	水野 浩一
「諸文化の比較：方法論1」	//	水野 浩一
「諸文化の比較：方法論2」	//	坪内 良博

第3日 8月8日（月）

HRAF 実習「稲作民族の生活と文化」	東南アジア研究センター	石井 米雄, 水野 浩一, 坪内 良博, 三谷 恭之, 他
---------------------	-------------	----------------------------------

第4日 8月9日（火）

HRAF 実習「稲作民族の生活と文化」	//	同 上
---------------------	----	-----

テーマ II. 東南アジアの稲作と立地環境

第1日 8月17日（火）

「気候」	東南アジア研究センター	久馬 一剛
「地形と水文1」	//	高谷 好一
「地形と水文2」	//	高谷 好一
「土壌」	//	久馬 一剛

第2日 8月18日(木)

「稲作の起源：展開と立地環境」	農学部	渡部 忠世
「稲作社会の歴史的発展と立地環境」	東南アジア研究センター	高谷 好一
「稲作農村の開発と立地環境1」	//	福井 捷朗
「稲作農村の開発と立地環境2」	//	福井 捷朗

第3日 8月19日(金)

野外討論「東南アジアから見た日本の稲作」	東南アジア研究センター	久馬 一剛, 高谷 好一, 福井 捷朗
----------------------	-------------	------------------------

第4日 8月10日(土)

野外討論「東南アジアから見た日本の稲作」	東南アジア研究センター	同 上
----------------------	-------------	-----

テーマ III. ミュルダールとアジア

第1日 8月26日(金)

「ミュルダール：アジア研究の背景1」	東南アジア研究センター	安場 保吉
「ミュルダール：アジア研究の背景2」	//	安場 保吉
「アジアのドラマ分析視角1」	//	安場 保吉
「アジアのドラマ分析視角2」	//	安場 保吉

第2日 8月27日(土)

「経済の実態1」	東南アジア研究センター	吉原久仁夫
「経済の実態2」	//	吉原久仁夫
「人口問題1」	//	小林 和正
「人口問題2」	//	小林 和正

第3日 8月28日(日)

「工業と労働力1」	東南アジア研究センター	安場 保吉
「工業と労働力2」	//	安場 保吉
「教育問題1」	//	市村 真一
「教育問題2」	//	市村 真一

第4日 8月29日(月)

「計画化1」	東南アジア研究センター	矢野 暢
「計画化2」	//	矢野 暢
「軟性国家論1」	//	矢野 暢
「軟性国家論2」	//	矢野 暢

1978年度 東南アジアセミナー日程及び講師

テーマ 東南アジアの自然、文化、社会

第1日 8月16日(水)

「自然構造1」	東南アジア研究センター	高谷 好一
---------	-------------	-------

「自然構造 2」	〃	高谷 好一
「モンスーン 1」	〃	安成 哲三
「モンスーン 2」	〃	安成 哲三
第 2 日 8 月 17 日 (木)		
「風化と土壌景観 1」	農学部	古川 久雄
「風化と土壌景観 2」	〃	古川 久雄
「畑作と稲作 1」	東南アジア研究センター	福井 捷朗
「畑作と稲作 2」	〃	福井 捷朗
第 3 日 8 月 18 日 (金)		
「森と焼畑 1」	東南アジア研究センター	山田 勇
「森と焼畑 2」	〃	山田 勇
「稲作の歴史 1」	〃	渡部 忠世
「稲作の歴史 2」	〃	渡部 忠世
第 4 日 8 月 21 日 (月)		
「言語の系統と民族 1」	東南アジア研究センター	三谷 恭之
「言語の系統と民族 2」	〃	三谷 恭之
「焼畑耕作民の生活—大陸部 1」	〃	水野 浩一
「焼畑耕作民の生活—大陸部 2」	〃	水野 浩一
第 5 日 8 月 22 日 (火)		
「焼畑耕作民の生活—島嶼部 1」	東南アジア研究センター	坪内 良博
「焼畑耕作民の生活—島嶼部 2」	〃	坪内 良博
「農民の社会と文化—大陸部 1」	〃	水野 浩一
「農民の社会と文化—大陸部 2」	〃	水野 浩一
第 6 日 8 月 23 日 (水)		
「農民の社会と文化—島嶼部 1」	東南アジア研究センター	坪内 良博
「農民の社会と文化—島嶼部 2」	〃	坪内 良博
「伝統文化と完教の構造 1」	大阪大学人間科学部	梶原 景昭
「伝統文化と宗教の構造 2」	〃	梶原 景昭
第 7 日 8 月 24 日 (木)		
「民族主義の展開 1」	東南アジア研究センター	土屋 健治
「民族主義の展開 2」	〃	土屋 健治
「国民形成の基本構造 1」	〃	土屋 健治
「国民形成の基本構造 2」	〃	土屋 健治
第 8 日 8 月 25 日 (金)		
「政治文化の特質 1」	東南アジア研究センター	矢野 暢
「政治文化の特質 2」	〃	矢野 暢
「経済構造の変化 1」	〃	安場 保吉

「経済構造の変化2」	〃	安場 保吉
第9日 8月28日(月)		
「農業発展と食糧問題1」	農学部	西村 博行
「農業発展と食糧問題2」	〃	西村 博行
「国際河川の開発—メコンの自然と社会1」	東南アジア研究センター	海田 能宏
「国際河川の開発—メコンの自然と社会2」	〃	海田 能宏
第10日 8月29日(火)		
「国際河川の開発—メコンプロジェクト1」	東南アジア研究センター	海田 能宏
「国際河川の開発—メコンプロジェクト2」	〃	海田 能宏
「貿易, 工業化, 外資1」	〃	吉原久仁夫
「貿易, 工業化, 外資2」	〃	吉原久仁夫
第11日 8月30日(水)		
「人口と都市化1」	東南アジア研究センター	小林 和正
「人口と都市化2」	〃	小林 和正
「所得分配1」	〃	江崎 光男
「所得分配2」	〃	江崎 光男
第12日 8月31日(木)		
「世界のなかの東南アジア1」	東南アジア研究センター	市村 真一
「世界のなかの東南アジア2」	〃	市村 真一
討論1	東南アジア研究センター教官	西村 博行, 古川 久雄
討論2	東南アジア研究センター教官	

1979年度 東南アジアセミナー日程及び講師

テーマ I. 言語と歴史

第1日 8月1日(水)		
「東南アジアの言語」	東南アジア研究センター	三谷 恭之
「東南アジア史概説」	〃	石井 米雄
「タイ国史概説: 稲作と国家形成をめぐる」	〃	石井 米雄
第2日 8月2日(木)		
「ベトナム村落史研究の試み」	東南アジア研究センター	桜井由躬雄
「東南アジアの仏教」	〃	石井 米雄
「東南アジアの宗教イスラーム」	〃	坪内 良博

テーマ II. 自然と農業

第1日 8月3日(金)		
「東南アジアの自然景観」	東南アジア研究センター	高谷 好一
「森と焼畑」	〃	山田 勇

第2日 8月6日(月)			
「モンスーン」	東南アジア研究センター	安成 哲三	
「畑作と稲作」	〃	福井 捷朗	
第3日 8月7日(火)			
「稲作の発達」	農学部	田中 耕司	
「稲作農業の水利用」	東南アジア研究センター	海田 能宏	
第4日 8月8日(水)			
「気候変動と湿潤熱帯の農業」	東南アジア研究センター	福井 捷朗	
「国際河川の開発(メコンの自然・農業・プロジェクト)」	〃	海田 能宏	

テーマ III. 政治と経済

第1日 8月9日(木)			
「国民形成の構造」	東南アジア研究センター	土屋 健治	
「政治文化の特質」	〃	矢野 暢	
第2日 8月12日(日)			
「国際関係の展開」	東南アジア研究センター	山影 進	
「農業発展と食糧問題」	農学部	西村 博行	
第3日 8月13日(月)			
「工業化と貿易」	東南アジア研究センター	安場 保吉	
「生活水準と所得分配」	〃	市村 真一	
第4日 8月14日(火)			
「外資の役割」	東南アジア研究センター	吉原久仁夫	
「人口と都市化」	〃	小林 和正	

テーマ IV. 民族と文化

第1日 8月15日(水)			
「東南アジアの民族と文化：総論」	東南アジア研究センター	前田 成文	
「比較と展望(I) 東南アジア世界の基本的性格」	〃	前田 成文	
「ケーススタディー(I) マレー」	〃	坪内 良博	
「ケーススタディー(II) ブギス」	〃	前田 成文	
第2日 8月16日(木)			
「ケーススタディー(III) ミナンカバウ」	東南アジア研究センター	加藤 剛	
「比較と展望(II) 近代化と東南アジアの社会変容」	〃	加藤 剛	
「総合討論」	〃	渡部 忠世, 他	

1980年度 東南アジアセミナー日程及び講師

テーマ I. 東南アジア農業の自然的基盤

第1日 7月18日(金)		
「概説」	東南アジア研究センター	高谷 好一
第2日 7月19日(土)		
「モンスーン」	東南アジア研究センター	安成 哲三
「火耕水耨」	〃	福井 捷朗
第3日 7月21日(月)		
「オカボから浮稲まで」	東南アジア研究センター	田中 耕司
「メコンをデザインする」	〃	海田 能宏
第4日 7月22日(火)		
「スンダシュelfの低湿地」	東南アジア研究センター	古川 久雄
「熱帯の火山灰土壌」	〃	〃

テーマ II. 東南アジアのこころと美

第1日 7月32日(水)		
「東南アジアのこころ」	東南アジア研究センター	鈴木 静夫
「東南アジアの人と生活」	〃	前田 成文
「タイのこころと文学」	大阪外国語大学	吉川 利治
第2日 7月24日(木)		
「インドネシアのこころと文学」	東南アジア研究センター	加藤 剛
「ビルマのこころと文学」	大阪外国語大学	南田みどり
「東南アジアの建築美」	明石工業高等専門学校	野口 英雄
第3日 7月25日(金)		
「東南アジアとイスラーム」	東南アジア研究センター	口羽 益生
「東南アジアと仏教」	〃	石井 米雄
第4日 7月26日(土)		
「東南アジアと儒教」	〃	桜井由躬雄
「東南アジア文献概説」	〃	北野 康子, 前田 成文 加藤 剛, 石井 米雄 桜井由躬雄

テーマ III. 東南アジアの政治と経済

第1日 7月28日(月)		
「人口」	東南アジア研究センター	小林 和正
「政治」	〃	矢野 暢
「経済」	〃	安場 保吉

「国際関係」	東京大学	山影 進
第2日 7月29日(火)		
「ASEANの政治学」	//	山影 進
「ASEANの経済学」	東南アジア研究センター	安場 保吉
「タイはなぜ独裁か」	//	矢野 暢
「南北問題Ⅰー背景と潮流」	//	江崎 光男
第3日 7月30日(水)		
「南北問題Ⅱー主要な論点」	//	//
「工業化と商業資本の役割」	//	吉原久仁男
「農家と農業の営み」	農学部	西村 博之
第4日 7月31日(木)		
「人口抑制政策はうまくいっているか」	東南アジア研究センター	小林 和正
“Notes on Economic Development and the Size Distribution of Income, with Special Reference to Southeast Asian Countries”	Visiting Scholar	Martin Bronfenbrenner
「総合討論」	東南アジア研究センター	渡部 忠世

(7) 資料蒐集

東南アジアの研究を深化、発展させるために各種の資料蒐集が重要なことはいうまでもない。センターでは、資料部が中心となって、これらの資料を蒐集しているが、その内容は、図書、マイクロフィルム、統計、地図に大別される。各々の概要は、下記の通りである。

図 書

当センターでは、1965年に図書室が開設されて以来、東南アジアの自然・社会・文化に関する各種文献と雑誌との蒐集をすすめてきたが、その結果、1979年度末現在、22,582冊(内、洋書1,659冊、和漢書5,989冊)の書籍と約117種の継続購入雑誌を蔵するにいたった。図書室の開館日は、月曜から土曜までであり「東南アジア研究センター図書利用規程」にもとづいて、閲覧、貸し出し等の業務を行っている。

マイクロフィルム

センターでは、1971年以降、インタードキュメンテーションセンターが製作した「インドネシア関係文献マイクロフィッシュ」を継続的に購入している。このマイクロフィッシュは、米国コーネル大学及びオランダ王立言語・民俗・文化研究所所蔵のインドネシア関

係の諸資料（新聞、雑誌、書籍、官報等）からなり、現在までに、すでに製作されたもののうち、約半数（5万フィッシュ）を蒐集している。今後とも、この蒐集を継続していく予定である。

統 計

統計は東南アジア・東アジア諸国の政府刊行物、国連等国際機関出版物を中心に約2,900点を保有している。このうち、日本を除く東アジアと東南アジア関係が約半数である。統計の大部分は戦後に刊行されたものであるが、国際機関と日本関係のものは若干戦前の刊行物が含まれている。

地 図

所有する地図は東南アジア地域を中心に、インド、バングラデシュ、スリランカ、ネパール、パキスタン、中国、朝鮮、オーストラリア、太平洋諸島及び日本周辺と、ほぼ南アジアから東アジア全域をおおっている。製作年代も、戦前のものから近年の航空測量によるものまで、多岐にわたっており、現在約1万2千枚余に及んでいる。この中には、旧陸地測量部による南アジア、東アジアの2万5千分の1、5万分の1地形図等、歴史的にみても貴重なコレクションもある。また、数は少ないが、東南アジア各国の土地利用図、地質図、植生図などの主題図も含まれている。この他、最近は、地球資源衛星 LANDSAT による空中写真も、東南アジア全域について購入する計画が進められている。

第4章 研究スタッフ

センター・スタッフの略歴、主要な業績、現在の研究テーマは、以下の通りである。なお、各スタッフ（五十音順）は、(1)研究部門、(2)客員研究部門、(3)資料部の順で紹介され、1は学歴、2は学位、3は専攻、4は主要著書・論文、5は現在の研究テーマを示す。また、(4)旧研究スタッフの欄では、かつてセンターの研究部門に所属された方々（五十音順）を対象に、1現職と2主要著書・論文が示されている。

(1) 研究部門

石井 米雄

1. 東京外国語大学第7部第3類、昭和30年中退。
2. 京都大学法学博士
3. 東南アジア史・南方上座部仏教比較論
4. (1) 『上座部仏教の政治社会学—国教の構造』創文社、1975年。
(2) 『タイ国—ひとつの稲作社会』（編著）創文社、1975年。
(3) 『インドシナ文明の世界』講談社、1977年。
(4) 『戒律の救い：小乗仏教』淡交社、1969年。
5. タイ・ラオス・カンボジアにおけるサングの比較研究

市村 真一

1. 京都大学経済学部、昭和24年卒業。
2. マサチューセッツ工科大学 Ph. D., 経

済学博士

3. 計量経済学・経済発展論
4. (1) “Toward a General Non-Linear Dynamic Theory of Economic Fluctuations,” in K. K. Kurihara (ed.), *Post-Keynesian Economics*, Rutgers University Press, 1954.
(2) 『日本経済の構造』創文社、1957年。
(3) *The Regional Economic Survey of South Sumatra*, (with Thee Kian-Wee), LIPI, Jakarta, 1975.
(4) “Econometric Models of East and Southeast Asian Developing Economies and Asian LINK Model,” 『東南アジア研究』17巻2号、1979年。
5. (1) 東南アジア諸国と日本及びアメリカとの経済関係
(2) 日本企業の東南アジア進出と技術移転

江崎 光男

1. 東京大学教養学部、昭和41年卒業。
2. ハーバード大学 Ph. D.
3. 計量経済学・経済発展論
4. (1) “Growth Accounting of the Philippines: A Comparative Study of the 1965 and 1969 Input-Output Tables,” *Philippine Economic Journal*, Vol. XIV, No. 4, 1975.
(2) “Growth Accounting of the Philippines: The Demand-for-Output

Side,”『東南アジア研究』15巻1号，1977年。

(3) “Growth Accounting of Postwar Japan: The Input Side,”『季刊理論経済学』29巻3号，1978年。

(4) “Linking National Econometric Models of Japan, U. S. A. and the East and Southeast Asian Countries-A Pilot Study,”『東南アジア研究』17巻2号，1979年。

(5) 『日本経済のモデル分析』創文社，1977年。

5. (1) 東南アジア経済成長の量的国際比較
- (2) 南北問題

海田 能宏

1. 京都大学農学部，昭和37年卒業。
2. 京都大学農学博士
3. 農業水文学
4. (1) “Hydrography of Rice Land in the Vietnamese Part of the Mekong Delta”，『東南アジア研究』12巻2号，1974年。
- (2) “Agro-Hydrologic Regions of the Chao Phraya Delta,” in S. Ichimura (ed.), *Southeast Asia: Nature, Society and Development*, University Press of Hawaii, 1976.
- (3) “Pa Mong Optimization and Downstream Effects Study: Pa Mong Downstream Effects on Hydrology and Agriculture in Cambodia”, Report of Mekong Secretariat, MKG/41, 1977.
- (4) 「メコンをデザインする」『水と土

と生態』共立出版，1980年。

5. モンスーンアジアの稲作と水利

加藤 剛

1. 一橋大学社会学部，昭和41年卒業。
2. コーネル大学 Ph. D.
3. 社会人類学
4. (1) “Social Change in a Centrifugal Society: The Minangkabau of West Sumatra” unpublished Ph. D. dissertation, Cornell University.
- (2) “Change and Continuity in the Minangkabau Matrilineal System” *Indonesia*, No. 25 (April) 1978.
- (3) 「西部スマトラ・ミナンカバウの社会構造—母系制を中心として—」早稲田大学社会科学研究所・インドネシア研究部会編『インドネシア—その文化社会と日本—』早稲田大学出版部，1979年。
- (4) “Rantau Pariaman: The World of Minangkabau Coastal Merchants in the Nineteenth Century,” *Journal of Asian Studies*, Vol. 39, No. 4, 1980.
- (5) 「矛と盾—ミナンカバウ社会にみるイスラームと母系制の関係について—」『東南アジア研究』18巻2号，1980年。
5. (1) ミナンカバウ母系制社会の変容
- (2) インドネシアの大都市にみる出稼ぎ人の生態

小林 和正

1. 東京帝国大学理学部，昭和18年卒業。
2. 理学博士
3. 人口学
4. (1) 『アジア人口学入門』(共著)，アジ

ア経済研究所, 1978年。

(2) 『人口』(人類学講座第11巻), 雄山閣, 1979年。

(3) *Fertility Transition of the East Asian Populations* (共編), University Press of Hawaii, 1979.

(4) 「数理モデルによる年齢別人口構造の比較」『アジア諸国の人口構造と労働力』(第3章), アジア経済研究所, 1980年。

5. 人口増加の地域分析

桜井由躬雄

1. 東京大学文学部, 昭和42年卒業。

2. 東京大学文学修士

3. ベトナム社会経済史

4. (1) 「永盛均田例の研究」『史学雑誌』84巻7号, 1976年。

(2) 「嘉隆均田例の分析」『東南アジア研究』14巻4号, 1977年。

(3) 「19世紀初期ヴェトナム村落内土地占有状況の分析」『東南アジア—歴史と文化』6号, 1976年。

(4) 「雑田問題の整理—古代紅河デルタ開拓試論」『東南アジア研究』17巻1号, 1979年。

(5) 「10世紀紅河デルタ開拓試論」『東南アジア研究』17巻4号, 1980年。

5. 紅河デルタ稲作の歴史的発展

高谷 好一

1. 京都大学理学部, 昭和33年卒業。

2. 京都大学理学博士

3. 自然地理学

4. (1) “Physiography of Rice Land in

the Chao Phraya Basin of Thailand”

『東南アジア研究』第9巻3号, 1971年。

(2) “Rice Cropping Pattern in Southern Asian Delta”, 『東南アジア研究』13巻2号, 1975年。

(3) 「水田の景観学的分類試案」『農耕の技術』1号, 1978年。

(4) 「南スマトラ, コムリン川流域の稲作景観」『東南アジア研究』17巻3号, 1979年。

(5) 「チャオプラヤ・デルタの開拓」『東南アジア研究』17巻4号, 1980年。

5. 稲作生態史

田中 耕司

1. 京都大学農学部, 昭和44年卒業。

2. 京都大学農学修士

3. 作物学

4. (1) 「ビルマ中央平原の作物分布」『東南アジア研究』14巻2号, 1976年。

(2) 「高橋梁下における稲作風害の一例」『近畿作物・育種談話会報』21号, 1976年。

(3) 「混作の様式と技術に関する栽培学的研究」『日本作物学会紀事』47巻, 別号2, 1978年。

(4) 『日本農業全集 第7巻』(校注, 現代語訳, 解題) 農山漁村文化協会, 1979年。

5. 熱帯アジアにおける水田・畑の作付体系と作付様式に関する研究

土屋 健治

1. 東京大学教養学部, 昭和41年卒業。

2. 東京大学国際学修士

3. インドネシア政治思想史
4. (1) “The Taman Siswa Movement—Its Early Eight Years and Javanese Background”, *Journal of Southeast Asian Studies*, Singapore, Vol. 6, No. 2, 1975.
- (2) 「『原住民委員会』をめぐる諸問題—支配と抵抗の様式に関連して—」『東南アジア研究』15巻2号, 1977年。
- (3) 「ジャワ知識人の西欧認識をめぐる諸問題 (1913年～1922年)」『東南アジア研究』15巻4号, 1978年。
- (4) 「インドネシア政治思想研究序説 (I)～(III)」『アジア経済』20巻5号～7号, 1979年。
- (5) 『東南アジアハンドブック』改訂版 (共著, 松本重治監修) 講談社, 1980年。
5. インドネシア政治の文化的了解

坪内 良博

1. 京都大学文学部, 昭和35年卒業。
2. 京都大学文学博士
3. 社会学
4. (1) 『離婚—比較社会学的研究』(共著) 創文社, 1970年。
- (2) 『マレー農村の研究』(共編著) 創文社, 1976年。
- (3) 『核家族再考—マレー人の家族圏』(共著) 弘文堂, 1977年。
- (4) *Three Malay Villages: A Sociology of Paddy Growers in West Malaysia* (共編著), The University Press of Hawaii, 1979.
5. 東南アジアの社会と人口

福井 捷朗

1. 京都大学農学部, 昭和36年卒業。
2. 京都大学農学博士
3. 農業生態学
4. (1) 「サラワク低地の土地利用と未利用」『東南アジア研究』17巻4号, 1980年。
- (2) 「気候変動と湿潤地帯の農業」『科学』49巻3号, 1979年。
- (3) “Climate Variability and Agriculture: The Humid Tropics,” in *Proceedings World Climate Conf. Geneva, Feb., 1979*, WMO, 1980.
- (4) 「土地評価の枠組 (第1部), 同 (第2部), 同 (第3部), 同 (第4部), 同 (第5部)」『ペドロジスト』22巻2号, 23巻1号, 23巻2号, 1980年。
- (5) “Ch. 17. An Agro-environmental Consideration,” in M. Kuchiba *et al.* (eds.), *Three Malay Villages*, University Press of Hawaii, 1979.
5. 農業生態系としての稲作の類型化とその定量的測定

古川 久雄

1. 京都大学農学部, 昭和38年卒業。
2. 京都大学農学博士
3. 土壌学
4. (1) 「近畿地方低地部における土壌の分布則および分布単位に関する事例研究」『ペドロジスト』20巻1号, 1976年。
- (2) 『カラスライド集・日本の土壌』(共著) 農山漁村文化協会, 1977年。
- (3) “Chemical, Mineralogical and Micromorphological Properties of

Glaebules in Some Tropical Lowland Soils”『東南アジア研究』14巻3号, 1976年。

(4) “Manual for Field Soil Records” Discussion Paper No. 103, CSEAS, Kyoto University, 1979.

(5) 「南スマトラ低地部の土壌」『東南アジア研究』17巻3号, 1979年。

5. 熱帯低湿地の土壌

前田 成文

1. 京都大学文学部, 昭和38年卒業。
2. シカゴ大学 Ph. D.
3. 文化人類学
4. (1) 『マレー農村の研究』(共編著) 創文社, 1976年。
(2) 『核家族再考—マレー人の家族圏』(共著) 弘文堂, 1977年。
(3) 「コミュニティ宗教におけるシンボリズム—南スラウェン省アンパリタにおける事例」『東南アジア研究』14巻3号, 1976年。
(4) “The Malay Family as a Social Circle”『東南アジア研究』16巻2号, 1978年。
5. (1) ブギスの社会構造と文化
(2) 東南アジアにおける macrocosm と microcosm

松下敬一郎

1. 京都大学農学部, 昭和51年卒業。
2. 京都大学農学修士
3. 人口経済学
4. (1) 「マルサスの人口思想」(卒業論文), 1976年。

(2) 「完結出生力調査による戦後日本の出生力低下の要因分析」(修士論文), 1978年。

(3) “Economic Analysis of Age at First Marriage” (mimeo), 1980.

5. 結婚年齢の経済分析

三谷 恭之

1. 京都大学文学部, 昭和37年卒業。
2. コーネル大学 Ph. D.
3. 東南アジア言語学
4. (1) “Descriptive and Comparative Studies of the Khamet Phonology,” in S. Ichimura (ed.), *Southeast Asia: Nature, Society and Development*, University Press of Hawaii, 1976.
(2) “Palaung Dialects: A Preliminary Comparison”『東南アジア研究』15巻2号, 1977年。
(3) “Phonological Studies of Lawa: Description and Comparison,” Ph. D. Dissertation, Cornell University, 1978.
(4) “Vowel Correspondences between Riang and Palaung,” in T. L. Thongkum *et al.* (eds.), *Studies in Tai and Mon-Khmer Phonetics and Phonology in Honour of Engénie JA. Henderson*, 1979.
(5) “Languages of South Sumatra,” in Y. Tsubouchi *et al.* (eds.), *South Sumatra: Man and Agriculture*, 1980.
5. モン・クメール語比較研究

安場 保吉

1. 東京大学教養学部, 昭和28年卒業。
2. ジョーンズ・ホプキンス大学 Ph. D.

3. 経済発展論・比較経済史

4. (1) *Birth Rate of the White Population in the United States: 1800-1860*, Johns Hopkins University Press, 1962.

(2) 『経済成長論』筑摩書房, 1980年。

(3) “Anatomy of the Debate on Japanese Capitalism,” *Japanese Econ. Studies*, Vol. 2, No. 1, 1975.

(4) 「東南アジアにおける石油危機」『東南アジア研究』14巻4号, 1977年。

(5) 「ASEAN 経済政策の分析」渡部忠世編『東南アジア世界—実像の検証』創文社, 1980年。

5. (1) タイの経済発展

(2) ASEAN の工業化と地域協力

(3) 資源問題と日本の南進

(4) アジア諸国の転換点

安成 哲三

1. 京都大学理学部, 昭和46年卒業。

2. 京都大学理学修士

3. 気象学

4. (1) “Spectral Analysis of Monsoonal Precipitation in the Nepal Himalaya,” *Seppyo* (日本雪氷学会誌), No. 38, special issue, 1976.

(2) “Stationary Waves in the Southern Hemisphere Mid-latitude Zone Revealed from Average Brightness Charts,” *Jour. Met. Soc. Japan* (日本気象学会誌), Vol. 55, No. 3, 1977.

(3) “Characteristics of Monsoonal Precipitation around Peaks and Ridges in Shorong and Khumbu Himal,” *Seppyo*, No. 40, Special issue, 1978.

(4) “Cloudiness Fluctuations associated with the Northern Hemisphere Summer Monsoon,” *Jour. Met. Soc. Japan*, Vol. 57, No. 3, 1979.

(5) “A Quasi-stationary Appearance of 30 to 40 Day Period in the Cloudiness Fluctuations during the Summer Monsoon over India,” *Jour. Met. Soc. Japan*, Vol. 58, No. 3, 1980.

5. モンスーンの変動に関する研究

矢野 暢

1. 京都大学法学部, 昭和34年卒業。

2. 京都大学法学博士

3. 政治発展論

4. (1) 『タイ・ビルマ現代政治史研究』創文社, 1968年。

(2) 『「南進」の系譜』中公新書, 1975年。

(3) 『東南アジア学への招待』(編著) 日本放送出版協会, 1977年。

(4) 『日本の南洋史観』中公新書, 1979年。

(5) 『東南アジア世界の論理』中央公論社, 1980年。

5. (1) タイ国の現代政治史

(2) 東南アジアの国家構造

(3) 近代日本の南方関与

吉原久仁夫

1. カリフォルニア州立大学経済学部, 昭和37年卒業。

2. カリフォルニア大学 Ph. D.

3. 経済発展論

4. (1) *Foreign Investment and Domestic Response: A Study of Singapore's Industri-*

alization, Eastern Universities Press, Singapore, 1976.

(2) *Japanese Investment in Southeast Asia*, University Press of Hawaii, Honolulu, 1978.

(3) "A Study of Philippine Manufacturing Corporations", *The Developing Economies*, Sept., 1971.

(4) "Demand Functions: An Application to Japanese Expenditure Pattern," *Econometrica*, April, 1969.

(5) *Japanese Economic Development: A Short Introduction*, Oxford University Press, Tokyo, 1979.

5. 東南アジアにおける工業化と商業資本

渡部 忠世

1. 京都大学農学部, 昭和24年卒業。
2. 農学博士
3. 熱帯作物学
4. (1) *Glutinous Rice in Northern Thailand*, Yokendo, 1967.
- (2) "Identification of Cultivated Plants in Central Nepal, and Some Observations," (with Y. Torigoe) *Monumenta Serindica*, No. 1, 1977.
- (3) 『食用作物学概論』(共著) 農文協, 1977年。
- (4) 『稲の道』日本放送出版協会, 1977年。
- (5) 『道の文化』(共著) 講談社, 1979年。
5. (1) 東南アジア農業の展開
- (2) 東南アジアにおける食構造

(2) 客員研究部門

口羽 益生

1. 龍谷大学文学部, 昭和28年卒業。
 2. 京都大学文学修士, コーネル大学 M. A.
 3. 社会学・文化人類学
 4. (1) "Paddy Farming and Social Structure in a Malay Village," *The Developing Economies*, Vol. 2, No. 1, 1967.
 - (2) 「水稻作農村パダンラランーその自然条件と二期作化について」『東南アジア研究』9巻4号, 1972年。
 - (3) 『マレー農村の研究』(共編著) 創文社, 1976年。
 - (4) "Continuity and Change in Traditional Cultures," in *Dialogue, Southeast Asia and Japan, Symposium on Cultural Exchange*, The Japan Foundation, 1977.
 - (5) *Three Malay Villages: A Sociology of Paddy Growers in West Malaysia* (co-ed.), (Tr. by P & S. Hawkes), University of Hawaii Press, 1979.
 5. 東南アジア農村の組織と宗教
- 丘 立本 (Qiu-Li-Ben)
1. 北京大学歴史学部, 昭和36年卒業。
 2. 中国社会科学院副研究員
 3. 歴史学
 4. (1) 『第一次世界大戦史』(共), 中国人民大学出版社, 北京, 1979年。
 - (2) 「從列寧關於保衛祖國的論述看第二世界捍衛民族独立的正義性」『人民日報』,

北京, 1978年1月18日。

5. 東南亜歴史・西方殖民政策比較研究

R. A. L. H. Gunawardana

(R. A. L. H. グナワルダナ)

1. セイロン大学歴史学科, 1960年卒業。
2. ロンドン大学 SOAS Ph. D.
3. スリランカ社会経済史
4. (1) *Robe and Plough: Monasticism and Economic Interest in Early Medieval Sri Lanka*, Monographs of the Association for Asian Studies, No. 35, University of Arizona Press, 1979.
(2) "Irrigations and Hydraulic Society in Early Medieval Ceylon," *Past and Present*, No. 53, 1971.
(3) "The Sinhala Consciousness in History and Historiography," paper presented to conference on Sinhala-Thamil relations, Colombo, 1979.
5. スリランカ農業の歴史的課題 (とくに灌漑と土地所有)

Sajogyo (サヨギョ)

1. インドネシア大学農学部, 1955年卒業。
2. インドネシア大学農学博士
3. 農村社会学
4. (1) 『ラムポンワイスカムポン地区における自然発生的移民社会』(インドネシア語), 大学出版局, 1958年。(1965年オランダ語訳, 1967年英訳)。
(2) "Adoption of High Yielding Rice Varieties by Java's Farmers," in R. T. Shad (ed.), *Technical Change in Asian Agriculture*, ANU Press, Canberra,

1973.

- (3) "Rural Development Programs in Indonesia: Village Community Solidarity and Other Goals," in Inayatullah (ed.), *Approaches to Rural Development in Asia*, Kualalumpur, ACDAP, 1979.
(4) 『インドネシアにおける世帯収入と食物摂取量』(インドネシア語), LIPI, 1978年。
5. インドネシアの農村開発

(3) 資料部

北野 康子

1. 長崎大学学芸学部, 昭和36年卒業。
 2. ハワイ大学 Master of Library Studies
 3. 図書館学
 4. (1) *The Bibliography of Bibliographies of the Pacific* (typewritten), Honolulu: Graduate School of Library Studies, University of Hawaii, 1969.
(2) 「発展途上国の経済ナショナリズムと経済統合に関する文献目録」専門図書館協議会経済分科会・資料研究会海外事情グループ編『アジア経済資料目録』第20巻, 第3号, 1978年。
(3) *Women in Southeast Asia: a Bibliography* (typewritten), Presented to National Women's Education Center, 1979.
 5. 東南アジアに関する書誌情報
- 鈴木 静夫
1. 南山大学文学部, 昭和32年卒業。

2. 南山大学文学修士
3. 英文学
4. 『愛憎変革の東南ア』毎日新聞社, 1977年。
5. 東南アジアの現代政治

安田 聖

1. 同志社大学工学部, 昭和45年卒業。
2. 同志社大学工学修士
3. 情報科学
4. (1) 「社会・人文系のための統計パッケージ」『同志社法学』, 148号 (29巻3号) 1977年。
- (2) 「長波長ホログラフィーにおける超解像」『同志社大学理工学研究報告』18巻3号, 1977年。
- (3) “Linking National Econometric Models of Japan, U.S.A. and the East and Southeast Asian Contries”『東南アジア研究』17巻4号, 1980年。

(4) 旧研究スタッフ

飯島 茂

1. 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授
2. (1) 『ネパールの農業と土地制度』アジ研/東大出版会, 1957年。
- (2) 『カレン族の社会・文化変容』創文社, 1973年。
- (3) 『祖霊の世界—アジアのひとつの見方』日本放送出版協会, 1973年。
- (4) 『アジア文明の原像』(編)日本放送出版協会, 1979年。
- (5) “Ethnic Identity and Sociocultu-

ral Change Among the Sgaw Karen in Northern Thailand,” Charles F. Keys (ed.), *Ethnic Adaptation and Identity—The Karen on the Thai Frontier with Burma*, Philadelphia: ISHI, 1979.

荻野 和彦

1. 京都大学農学部林学科助教授
2. (1) 「芦生演習林のスギ伏条稚樹」『京大演報』No. 50, 1978年。
- (2) 「芦生演習林の天然スギ林の植生」『京大演報』No. 49, 1977年。
- (3) 「生態系—森林を中心として」『生物科学講座』8, 1977年。
- (4) “A Beech Forest at ASHIU—Biomass, its Increment and Net Production,” *JIBPSYN THESIS*, Vol. 16, 1977.
- (5) “Human Influence on the Occurrence of Deciduous Forest Vegetation in Thailand,”『京大農学部紀要』108, 1976年。

久馬 一剛

1. 京都大学農学部農芸化学科土壌学研究室教授。
2. (1) “A Method of Fertility Evaluation for Paddy Soils,” Part 1–3, *Soil Sci. and Plant Nutr.*, Vol. 19, No. 1, 1973.
- (2) “A Method of Capability Evaluation for Upland Soils,” Part 1–5, *Soil Sci. and Plant Nutr.*, Vol. 23, No. 2–4, 1977.
- (3) *Paddy Soils in Tropical Asia, Their*

Material Nature and Fertility (with K. Kawaguchi), Univ. Press of Hawaii, 1977.

(4) “Mineral Composition of Rice Soils,” *Soils and Rice*, IRRI, 1978.

(5) 「水田土壌の分類」川口桂三郎編『水田土壌学』講談社，第4章，1978年。

辻井 博

1. 京都大学農学部農林経済学科講師

2.(1) 「タイ国ライス・プレミアム政策の実証的経済分析」『東南アジア研究』13巻3号，1975年。

(2) “A Quantitative Model of the International Rice Market and Analysis of the National Rice Policies with Special Reference to Thailand, Indonesia, Japan, and the United States,” paper presented at Agricultural Sector Analysis Regional Seminar No. 2, Cebu City, Philippines, November 6–9, 1977, Singapore University Press, Forthcoming.

(3) “Effect of Climatic Fluctuation on Rice Production in Continental Southeast Asia—A Proposal of a Multidisciplinary Approach—,” in K. Takahashi & M. M. Yoshino (eds.), *Climatic Change and Food Production*, University of Tokyo Press, 1978.

(4) “Impacts of New Rice Technology on Thai Delta Villages,” *South East Asian Studies*, Kyoto University, Vol. 16, No. 3, 1978; also in *Ecology, New Technology, and Rural Development in*

Thailand and Malaysia, Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University, pp. 101–122, March, 1979.

(5) 「タイの食糧・農業生産—1960年代以降—」川野重任編『アジアの食糧生産—開発と需給—』アジア経済研究所，1980年。

瀬戸口烈司

1. 京都大学霊長類研究所助手

2.(1) 「哺乳動物の社会進化についての試論—古生物学の立場から—」『季刊人類学』6巻2号，1975年。

(2) “Paleontology and Geology of the Badwater Creek Area, Central Wyoming. Part 11. Late Eocene Marsupials,” *Ann. Carnegie Mus.*, Vol. 45, 1975.

(3) “Paleontology and Geology of the Badwater Creek Area, Central Wyoming. Part 13. The Late Eocene Insectivora and Dermoptera” (with L. Krishtalka), *Ann. Carnegie Mus.*, Vol. 46, 1977.

(4) 「中生代哺乳類の進化と霊長類の進化」加藤他編『形質・進化・霊長類』（今西錦司博士古稀記念論文集）中央公論社，1977年。

(5) “Paleontology and Geology of the Badwater Creek Area, Central Wyoming. Part 16. The Cedar Ridge Local Fauna (Late Oligocene),” *Bull. Carnegie Mus. Nat. Hist.*, No. 9, 1978.

水野 浩一（1979年逝去）

2.(1) 『タイ農村の社会組織』創文社，

1980年。

(2) Social System of Don Daeng Village: A Community Study in Northeast Thailand, Discussion Papers No. 12-22, CSEAS, Kyoto University, 1971.

(3) “Comparative Analysis of Rural Development: Rice-Growing Villages in Thailand and Malaysia”『東南アジア研究』15巻3号, 1977年。

本岡 武

1. 追手門学院大学経済学部長, 京都大学名誉教授。
- 2.(1) 『農地開発論』農業技術資料刊行会, 1949年。
(2) 『東南アジア農業開発論』東南アジア研究センター, 1969年。
(3) 『インドネシアの米』創文社, 1975年。

山影 進

1. 東京大学教養学部助教授。
- 2.(1) 「カスケード型国際構造の中の日本」(林雄二郎, 吉井博明と共同執筆)『世界経済評論』, 17巻9号, 1973年。
(2) “Interdependence of the ASEAN

Region”『東南アジア研究』15巻2号, 1977年。

(3) “Interdependence and Conflict” Discussion Paper No. 105, CSEAS, Kyoto University, 1979.

(4) 「ASEAN 成立過程の分析」『東南アジア研究』18巻1号, 1980年。

(5) 「ASEAN における政治協力の制度化」渡部忠世編『東南アジア世界—実像の検証』創文社, 1980年

山田 勇

1. 農林水産省関西森林木育種場育種課育種研究室。
- 2.(1) “Forest Ecological Studies of the Montane Forest of Mt. Pangrango, West Java (III) Litter Fall of the Tropical Montane Forest near Cibodas”『東南アジア研究』14巻2号, 1976年。
(2) 『熱帯の有用樹種』(共著) 農林水産省熱帯農業センター, 1978年。
(3) 「東南アジアにおける日本人の行動」『探検・地理・民族誌, 今西錦司博士古稀記念論文集』中央公論社, 1978年。
(4) 「南スマトラ低湿地の森林植生」(共著)『東南アジア研究』17巻3号, 1979年。

第5章 出版目録

以下は、1980年度末現在に、センターが刊行した (1) 東南アジア研究叢書 (和文・英文)、(2) シンポジウム報告書、(3) 『東南アジア研究』、(4) リプリント・シリーズ、(5) ディスカッション・ペーパーの一覧である。

1. 東南アジア研究叢書

A. 英文叢書

- E- 1. SATO, Takashi. 1966. *Field Crops in Thailand*. Kyoto: CSEAS.
- E- 2. WATABE, Tadayo. 1967. *Glutinous Rice in Northern Thailand*. Kyoto: CSEAS.
- E- 3. TAKIMOTO, Kiyoshi, ed. 1968. *Geology and Mineral Resources in Thailand and Malaya*. Kyoto: CSEAS.
- E- 4. KAWAGUCHI, Keizaburo; and KYUMA, Kazutake.
1969. *Lowland Rice Soils in Thailand*. Kyoto: CSEAS.
- E- 5. KAWAGUCHI, Keizaburo; and KYUMA, Kazutake.
1969. *Lowland Rice Soils in Malaya*. Kyoto: CSEAS.
- E- 6. MAEDA, Kiyoshige. 1967. *Alor Janggus, a Chinese Community in Malaya*. Kyoto: CSEAS.
- E- 7. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1975. *The Economic Development of East and Southeast Asia*. Honolulu: University Press of Hawaii.
- E- 8. NISHIHARA, Masashi. 1976. *The Japanese and Sukarno's Indonesia; Tokyo-Jakarta Relation, 1951-66*. Honolulu: University Press of Hawaii.
- E- 9. ICHIMURA, Shinichi, ed. 1977. *Southeast Asia: Nature, Society and Development*. Honolulu: University Press of Hawaii.
- E-10. KAWAGUCHI, Keizaburo; and KYUMA, Kazutake.
1977. *Paddy Soils in Tropical Asia*. Honolulu: University Press of Hawaii.
- E-11. YOSHIHARA, Kunio. 1978. *Japanese Investment in Southeast Asia*. Honolulu: University Press of Hawaii.
- E-12. ISHII, Yoneo, ed. 1978. *Thailand: A Rice-Growing Society*. Honolulu: University Press of Hawaii.
- E-13. CHO, Lee-Jay; and KOBAYASHI, Kazumasa, eds.
1980. *Fertility Transition of the East Asian Populations*. Honolulu: University Press of Hawaii.
- E-14. KUCHIBA, Masuo; TSUBOUCHI, Yoshihiro; and MAEDA, Narifumi.
1979. *Three Malay Villages: A Sociology of Paddy Growers in West*

Malaysia. Honolulu: University Press of Hawaii.

E-15. CHO, Lee-Jay; SUHARTO, S.; McNICOLL, G.; and MAMAS, S. G. M.

1980. *Population Growth of Indonesia: An Analysis of Fertility and Mortality Based on the 1971 Population Census*. Honolulu: University Press of Hawaii.

B. 和文叢書

- J-1. 棚瀬 襄爾. 1966. 『他界観念の原始形態』京都：京都大学東南アジア研究センター.
- J-2. 矢野 暢. 1968. 『タイ・ビルマ現代政治史研究』京都：京都大学東南アジア研究センター.
- J-3. 本岡 武. 1968. 『東南アジア農業開発論』京都：京都大学東南アジア研究センター.
- J-4. 坪内 良博; 坪内 玲子. 1970. 『離婚』創文社.
- J-5. 飯島 茂. 1971. 『カレン族の社会・文化変容』創文社.
- J-6. STORZ, H. 1974. 『ビルマ地誌・歴史・経済』野上裕生訳. 創文社.
- J-7. 市村真一編. 1974. 『東南アジアの自然・社会・経済』創文社.
- J-8. 石井米雄編. 1975. 『タイ国一ひとつの稲作社会』創文社.
- J-9. 石井 米雄. 1975. 『上座部仏教の政治社会学』創文社.
- J-10. 本岡 武. 1975. 『インドネシアの米』創文社.
- J-11. 市村真一編. 1975. 『東南アジアの経済発展』創文社.
- J-12. 口羽 益生; 坪内 良博; 前田 成文. 1976. 『マレー農村の研究』創文社.
- J-13. 西原 正. 1976. 『東南アジアの政治的腐敗』創文社.
- J-14. ECKSTEIN, A. 1979. 『中国の経済発展』市村真一他訳. 創文社.

2. シンポジウム報告書

- 1. *Rice Culture in Malaya*. Kyoto: CSEAS. 1965.
- 2. *Japan's Future in Southeast Asia*. Kyoto: CSEAS. 1966.
- 3. *Water Resource Utilization in Southeast Asia*. Kyoto: CSEAS. 1966.
- 4. *Medical Problems in Southeast Asia*. Kyoto: CSEAS. 1968.

3. 『東南アジア研究』所収論稿（第1巻～第17巻，1963年～1980年）

1. 東南アジア全般

- 1. 赤井 重恭. 1966. 「東南アジア諸国における作物の病害覚書」4(3): 187-193.
- 2. ————. 1968. 「東南アジア諸国における作物の病害」5(4): 60-70.
- 3. 安芸 蛟一. 1965. 「東南アジアにおける水利開発の問題について」3(1): 52-64.
- 4. ————. 1966. 「水資源問題の一考察」3(4): 5-8.
- 5. 足利 惇氏. 1965. 「宗教と近代化」3(2): 2-6.

6. 出口 勝美. 1966. 「東南アジアにおけるデルタの開発と水利用—特に技術的要因と水資源開発—」 3(4): 20-26.
7. 江崎 光男. 1974. 「援助の Two-Gap 分析について」 12(1): 91-104.
8. ————. 1979. *Linking National Econometric Models of Japan, U.S.A., and the East and Southeast Asian Countries —A Pilot Study—*. 17(2): 178-200.
9. 富士岡義一. 1968. 「かんがい排水による東南アジア農業開発」 5(4): 135-145.
10. 藤原利一郎. 1963. 「中国資料から見た東南アジアの歴史」 1(2): 46-54.
11. 藤吉 慈海. 1964. 「南方仏教の戒律の聖典」 2(1): 119-125.
12. 福岡 誠行. 1969. 「東南アジアの植物地理—スイカズラ科の分布を中心にして—」 6(4): 272-285.
13. 船越 昭生. 1966. 「東南アジア華僑調査旅行を終えて」 3(5): 144-151.
14. 古川 久雄; HANDAWELLA, James; 久馬 一剛; 川口桂三郎. 1976. *Chemical, Mineralogical and Micromorphological Properties of Glaebules in Some Tropical Lowland Soils*. 14(3): 365-388.
15. 濱田 秀男. 1964. 「栽培稲の起源」 1(3): 66-71.
16. 原 誠. 1978. 「日本人キリスト者三浦襄の『南方関与』—信徒のキリスト教受容に関する一考察—」 16(1): 32-77.
17. 長谷川 浩. 1968. 「育種とそさいの問題点」 5(4): 89-90.
18. 服部 共生. 1968. 「地形と水田土壌と水稻の収量」 5(4): 29-33.
19. 平沢 興. 1963. 「東南アジア旅行の報告」 1(2): 2-12.
20. 市村 真一. 1979. *Econometric Models of East and Southeast Asian Developing Economies and Asian Link Model*. 17(2): 169-177.
21. ————. 1979. 「アジアの社会発展と農業問題」 17(2): 313-335.
22. 飯島 茂. 1965. 「シンポジウム《東南アジアと日本》世界平和推進国内会議に出席して」 3(2): 107-110.
23. ————. 1968. 「東南アジアにおける焼畑農業」 5(4): 80-85.
24. ————. 1977. 「東南アジア社会の原像—その文化人類学的考察—」 15(3): 334-346.
25. 猪木 正道. 1965. 「シンポジウム『東南アジアにおける日本の将来』」 3(2): 93-97.
26. 石倉 秀次. 1968. 「東南アジアの農業における害虫問題」 5(4): 71-79.
27. ————. 1968. 「熱帯農業研究の推進と農業技術援助上の二、三の問題点」 5(4): 195-199.
28. 岩村 忍; 矢野 暢. 1963. 「Human Relation Area Files について」 1(2): 64-66.
29. 鎌倉 昇. 1963. 「後進国貿易の停滞性」 1(1): 26-30.
30. 川口桂三郎. 1964. 「東南アジアの水田土壌に関する調査研究 (予報)」 2(1): 43-52.
31. 川口桂三郎; 久馬 一剛. 1974. *Paddy Soils in Tropical Asia—Part 1. Description of Fertility Characteristics—*. 12(1): 3-24.
32. ————. 1974. *Paddy Soils in Tropical Asia—Part 2. Description of Fertility Characteristics—*. 12(2): 177-192.
33. ————. 1975. *Paddy Soils in Tropical Asia—Part 3. Correlation and Regression Analysis of the Soil Data—*. 13(1): 45-57.

34. ————. 1975. Paddy Soils in Tropical Asia, Part 4—Soil Material Classification—. 13 (2): 215-227.
35. ————. 1975. Paddy Soils in Tropical Asia—Part 5. Soil Fertility Evaluation—. 13(3): 385-401.
36. ————. 1976. Paddy Soils in Tropical Asia—Part 6. Characteristics of Paddy Soils in Each Country—. 14(3): 334-364.
37. 河津 一儀. 1967. 「東南アジアにおける魚毒植物とその有効成分」5(1): 166-170.
38. ————. 1968. 「東南アジアにおける魚毒植物とその有効成分」5(4): 125-127.
39. 木村 康一. 1964. 「東南アジアの生薬に関する調査」2(1): 53-71.
40. 貴島 恒夫. 1968. 「東南アジアの木材」5(4): 103-108.
41. 喜多村 浩. 1965. 「アジア経済開発の見通し」3(3): 102-107.
42. 小林 達治. 1965. 「東南アジアの水田土壌における窒素固定性微生物」3(3): 166-172.
43. 小林 達治; 高橋 英一. 1966. 「東南アジアの水田土壌における窒素固定微生物の分布」4(3): 168-177.
44. 久保田 豊. 1966. 「東南アジアの排水問題」3(4): 9-11.
45. 口羽 益生. 1975. 「東南アジアにおける村落の構造—特に双系制について—」12(4): 478-488.
46. 久馬 一剛. 1968. 「土地生産力可能性の評価に関する諸問題」5(4): 26-28.
47. ————. 1969. 「東南アジアにおける赤色土壌の類別, 分布および生成について」7(2): 163-176.
48. ————. 1970. 「熱帯土壌中の鉄質形成物—特に結核と瘤塊について—」7(4): 571-581.
49. ————. 1971. Climate of South and Southeast Asia according to Thornthwaite's Classification Scheme. 9(1): 136-158.
50. ————. 1972. Numerical Classification of the Climate of South and Southeast Asia. 9(4): 502-521.
51. ————. 1973. Soil Water Regime of Rice Lands in South and Southeast Asia. 11(1): 3-13.
52. 久馬 一剛; 川口桂三郎. 1966. Major Soils of Southeast Asia and the Classification of Soils under Rice Cultivation. 4(2): 100-122.
53. LENT, John A. 1979. Historical and Problem Analysis of Southeast Asian Mass Communication Research. 17(1): 131-156.
54. 前川 暢夫. 1967. 「東南アジア諸国の結核の現状」4(5): 184-193.
55. 牧野 忠夫. 1968. 「東南アジアの畜産について」5(4): 177-179.
56. ————. 1968. 「農業技術協力について」5(4): 199-202.
57. 松尾 嘉郎. 1968. 「東南アジア水田土壌の肥沃度分析法に関する研究」6(3): 2-112.
58. 南 勲. 1964. 「東南アジアにおける広域水利計画の予備調査報告」2(2): 30-51.
59. ————. 1968. 「東南アジアにおける水利開発技術に関する一考察」5(4): 157-159.
60. 美濃口 玄. 1967. 「東南アジアにおけるむし歯の問題」4(4): 53-59.
61. 美濃口 玄; 天野 義彦. 1966. 「熱帯地域における歯牙弗素症発症閾について」4(2): 78-86.
62. 美濃口 玄; 小野 尊睦; 佐藤 匠; 天野 義彦. 1967. 「熱帯地域における歯牙弗素症発症

関に関する研究—雨季における調査成績および乾季との比較—」5(2): 125-151.

63. 水野 寿彦. 1977. 「東南アジアにおける陸水の研究」14(4): 593-610.
64. 宮山平八郎. 1968. 「東南アジア農業開発に対処するわが国大学の諸問題」5(4): 202-206.
65. 本岡 武. 1963. 「地域研究とはなにか」1(1): 5-19.
66. ————. 1964. 「地域研究についての反省」1(4): 71-81.
67. ————. 1966. 「東南アジアの地域概念」3(4): 12-14.
68. ————. 1966. 「東南アジアにおける政治的・経済的・社会的要因と水資源開発」3(4): 15-19.
69. ————. 1966. 「熱帯東南アジア自然および自然資源保護会議」4(1): 140-147.
70. ————. 1966. 「『東南アジアにおける民主主義と開発にかんするセミナー』に参加して」4(2): 177-181.
71. ————. 1968. 「東南アジア農業開発における技術協力」5(4): 182-190.
72. ————. 1971. 「発展途上国農業教育援助について—FAO/UNESCO/ILO 農業教育・科学・訓練合同諮問委員会第2回会議より—」9(3): 467-476.
73. ————. 1978. 「農業開発論の課題」16(1): 157-176.
74. 中村 孝志. 1964. 「オランダの東南アジア研究」2(1): 94-106.
75. 中田 淳一. 1964. 「東南アジアにおける法学教育の現状」2(2): 95-98.
76. 西田 龍雄. 1963. 「ヨーロッパにおける東南アジア諸言語の研究について」1(2): 67-72.
77. 西川 義正. 1968. 「東南アジアにおける畜産」5(4): 168-176.
78. 西村 英一; 久保寺 章; 岸本 兆方; 尾池 和夫. 1964. 「東南アジア地域における地震活動と火山活動」1(3): 24-54.
79. 新田 あや; 小島 一郎. 1974. 「東南アジアにおける生薬の比較研究(第Ⅴ報)」12(2): 254-266.
80. 新田 あや; 吉田 集而; 小島 一郎. 「東南アジアにおける生薬の比較研究(第Ⅵ報)—動物を基原とする中薬について(2)—」12(4): 507-524.
81. 小倉 武一. 1968. 「東南アジア農業についての技術協力とその体制」5(4): 193-195.
82. 大戸 元長. 1968. 「農業技術協力の問題点」5(4): 206-209.
83. 太田 弘毅. 1978. 「南方軍軍政総監部の組織と任務—『執務規程』と『軍政令』を中心に—」16(1): 103-118.
84. 大谷 滋. 1968. 「東南アジアの木材資源利用」5(4): 115-118.
85. 岡 正雄. 1965. 「アジア・アフリカ言語文化研究所について」3(2): 88-92.
86. 岡部 四郎. 1979. 「熱帯農業開発における技術的側面—わが国における熱帯農業研究の課題—」17(2): 364-379.
87. 恩田 宗. 1968. 「東南アジアの農業開発と日本の援助」5(4): 191-192.
88. 小野 尊睦; 天野 義彦; 佐藤 匠. 1967. 「東南アジアにおける ベテルと口腔ガン」5(2): 152-161.
89. SABATER, Luisa E. 1979. *Econometric Models of Selected Countries in Asia.* 17(3): 546-585.
90. 相良 惟一. 1963. 「アメリカ合衆国出張に関する報告」1(1): 73-77.

91. ————. 1965. 「東南アジア諸国比較教育行政機構論」 3(1): 2-14.
92. 相良 惟一; 猪木 正道; 岩村 忍. 1964. 「過去3か年における米国アジア学会年次総会報告」 1(4): 98-102.
93. 斎藤 一男. 1968. 「農業技術協力についての若干の問題」 5(4): 214-215.
94. 斎藤 一夫. 1978. 「東南アジア米輸出国の農業発展—理論的説明の精緻化・補強の観点から—」 15(4): 495-509.
95. 佐藤 孝. 1967. 「東南アジアのヤシ」 5(2): 2-47.
96. ————. 1968. 「東南アジアの畑作物の開発について」 5(4): 38-48.
97. ————. 1968. 「熱帯の飼料作物について」 5(4): 179-181.
98. 瀬戸口烈司. 1970. 「東南アジアの哺乳動物相の変遷についての研究情況と今後の課題 (I)」 8(1): 91-112.
99. ————. 1970. 「東南アジアの哺乳動物相の変遷についての研究情況と今後の課題 (II)」 8(2): 252-266.
100. ————. 1970. 「東南アジアの哺乳動物相の変遷についての研究情況と今後の課題 (III)」 8(3): 378-400.
101. 四手井綱英. 1968. 「東南アジアの林業」 5(4): 91-102.
102. 志村 喬. 1963. 「東南アジアの茶」 1(2): 55-63.
103. 曾田 長宗. 1967. 「東南アジアにおける衛生事情」 4(4): 7-15.
104. 須藤良太郎. 1968. 「東南アジアにおけるかんがい排水事業のすすめ方について」 5(4): 154-156.
105. 高橋 英一. 1968. 「東南アジアの水稲施肥に関する一考察」 5(4): 15-25.
106. 高橋 旨象; 貴島 恒夫. 1973. Decay Resistance of Sixty-Five Southeast Asian Timber Specimens in Accelerated Laboratory Tests. 10(4): 525-541.
107. 高村 礼. 1965. 「稲作技術協力の今後の問題点」 2(3): 193-202.
108. 高村 泰雄. 1968. 「熱帯水田の温度環境について」 5(4): 86-89.
109. 高谷 好一. 1975. Rice Cropping Patterns in Southern Asian Delta. 13(2): 256-281.
110. ————. 1977. Rice Growing Societies of Asia: an Ecological Approach. 15(3): 442-451.
111. 高谷 好一; 伊藤 義一. 1976. Vertical Zoning of Monsoon Asia by Agricultural Landuse: A Progress Report. 14(1): 99-122.
112. 武田 健策. 1968. 「東南アジアにおける農業水利開発に関する二, 三の問題」 5(4): 150-154.
113. 多紀 保彦. 1975. Geographic Distribution of Primary Freshwater Fishes in Four Principal Areas of Southeast Asia. 13(2): 200-214.
114. Tarling, NICHOLAS. 1964. Some Comments on South East Asian Studies in Australia. 2(2): 99-103.
115. 寺松 孝. 1965. 「結核に関する海外技術協力セミナーに出席して」 3(1): 134-136.
116. ————. 1967. 「開発途にある国々に対するわが国の医療協力のあり方」 5(2): 162-166.
117. 鳥居 泰彦. 1976. 「東南アジアの経済発展と労働市場—観察事実と農工間労働移動理論の誤謬—」 14(1): 3-28.

118. 坪内 良博. 1980. 「低地開拓史の視点 (序文)」17(4): 593-596.
119. 土屋 健治. 1978. 「外務省外交史料館所蔵の東南アジア関係史料」16(1): 94-102.
120. 上田弘一郎. 1963. 「竹から見た東南アジア」1(1): 44-54.
121. ————. 1966. 「熱帯地方産竹類の生理生態学的研究と問題点」4(3): 154-167.
122. ————. 1968. 「東南アジアの竹資源とその開発」5(4): 109-115.
123. 上野 益三. 1964. 「東南アジアにおける陸水生物学的研究」2(2): 52-66.
124. ————. 1966. *Freshwater Zooplankton of Southeast Asia*. 3(5): 94-109.
125. 白井 二尚; 本岡 武; 棚瀬 襄爾. 1963. 「諸外国における東南アジア研究」1(1): 65-72.
126. 若松 栄一. 1967. 「海外医療協力の実情」4(4): 16-32.
127. 渡部 忠世. 1965. 「熱帯アジアにおける農業研究機関の現状」2(4): 76-85.
128. 渡辺 弘之. 1966. 「熱帯地方における森林土壌動物の研究について」3(5): 138-143.
129. 山田 登. 1965. 「東南アジア稲作の問題点」2(3): 176-189.
130. 山口 真一. 1967. *Landslides in Southeast Asia*. 5(3): 181-186.
131. 山影 進. 1977. *Interdependence of the ASEAN Region—The Transaction Analysis of Trade Flows, 1950, 1960, 1970—*. 15(2): 213-225.
132. 矢野 暢. 1978. 「大正期『南進論』の物質」16(1): 5-31.
133. 安場 保吉. 1977. 「東南アジアにおける石油危機」14(4): 573-588.
134. 安田 聖; DANIEL, Susan B.; 市村 真一. 1980. *On Linking National Econometric Models of Japan, U.S.A., and the East and Southeast Asian Countries*. 17(4): 765-783.
135. 安田 富次. 1968. 「東南アジアの農業開発と農業機械」5(4): 165-167.
136. 安尾 正元. 1968. 「技術協力としての土壌調査その他の問題」5(4): 36-37.
137. ————. 1968. 「諸外国の農業援助政策の動向」5(4): 209-213.
138. 吉田 光邦. 1963. 「イスラムの暦と年中行事覚書」1(1): 20-25.
139. 吉井 良三. 1965. 「東南アジアにおける生物研究のあり方について」3(2): 86-87.
140. 吉村 寿人. 1976. 「ヒトの熱帯馴化に関する生理学的研究」13(4): 602-640.

2. ビルマ

1. BADGLEY, John H. 1965. *The Theravada Polity of Burma*. 2(4): 52-75.
2. 藤吉 慈海. 1963. 「ビルマの仏教について」1(2): 13-21.
3. 原田 正春. 1964. 「ビルマ語述部要提」2(2): 81-94.
4. JONES, Robert B. 1964. 「タイ語・ビルマ語の学習について」2(1): 107-110.
5. 海恵 宏樹. 1964. 「ビルマ仏教の輪廻説」1(3): 11-23.
6. 桂 満希郎. 1964. 「ティンディム・チン語研究」1(4): 29-40.
7. 工藤 成樹. 1964. 「ビルマ人の生活における仏教」1(3): 2-10.
8. MATISOFF, James A. 1972. *Tangkhu Naga and Comparative Tibeto-Burman*. 10(2): 271-283.
9. 三谷 恭之. 1977. *Palaung Dialects: A Preliminary Comparison*. 15(2): 193-212.

10. 西田 龍雄. 1964. 「ビルマ語とロロ諸語」1(4): 13-28.
11. ————. 1969. 「ロロ・ビルマ語比較研究における問題」6(4): 198-219.
12. 奥平 龍二. 1979. 「ビルマの『ダムマダッ』(慣習法典)について」17(1): 99-130.
13. 大野 徹. 1964. 「ビルマの社会主義への道(国家革命評議会) —解説と邦訳—」1(3): 80-85.
14. ————. 1968. 「ビルマ共産党の現状」6(3): 156-168.
15. ————. 1969. 「ビルマにおける賤民社会の発生とその現状」7(2): 209-216.
16. ————. 1969. 「ビルマにおけるカレン民族の独立闘争史(その1)」7(3): 363-390.
17. ————. 1970. 「ビルマにおけるカレン民族の独立闘争史(その2)」7(4): 546-570.
18. ————. 1970. 「ビルマにおけるカレン民族の独立闘争史(その3)」8(1): 64-90.
19. ————. 1970. 「ビルマ国軍史(その1)」8(2): 218-251.
20. ————. 1970. 「ビルマ国軍史(その2)」8(3): 347-377.
21. ————. 1971. 「ビルマ国軍史(その3)」8(4): 534-565.
22. ————. 1971. 「パガン, ピンヤ, インワ時代のビルマ人仏教徒の功德」9(1): 19-45.
23. ————. 1971. 「パガン, ピンヤ, インワ時代のビルマ人仏教徒の呪詛」9(2): 176-193.
24. ————. 1971. 「パガン, ピンヤ, インワ時代のビルマの社会」9(3): 310-327.
25. ————. 1972. 「コンバウン時代のビルマの神判」10(1): 32-59.
26. ————. 1973. 「ビルマの壁画—パガン時代を中心として—」11(3): 360-381.
27. ————. 1974. 「ビルマの壁画(Ⅱ)—パガン時代を中心として—」12(1): 78-90.
28. ————. 1976. 「ビルマの壁画(Ⅲ)—ニャウンヤン時代を中心として—」14(2): 270-285.
29. ————. 1976. 「ビルマの壁画(Ⅳ)—コンバウン時代を中心として—」14(3): 442-460.
30. POLLAK, Oliver B. 1976. *Candour and Confidentiality: Textual Criticism of Two Greek Letters on Anglo-Burmese Relations, 1838.* 14(2): 302-306.
31. 佐藤 幸治. 1965. 「ビルマ・タイ等における Satipatthana による人格形成について」3(1): 15-21.
32. 田中 耕司; 渡部 忠世. 1976. 「ビルマ中央平原の作物分布」14(2): 286-301.
33. TUN, Than. 1976. *Saraswati of Burma.* 14(3): 433-441.
34. ————. 1977. *North-South Alignment of Burma's Old Walls.* 14(4): 589-592.
35. 宇和川正人. 1966. 「Bengal 湾に発生するサイクロン」3(4): 69-76.
36. WITHEV, Joseph A. 1978. *The Burmese Pwè: British Newspaper Accounts (1899-1921).* 15(4): 573-580.
37. 藪 司郎. 1970. 「ビルマ語における数の範疇について—複数助詞の用法を中心に—」7(4): 504-526.

3. タ イ

1. 赤木 攻. 1975. 「タイ国の法体系に関する一考察(Ⅰ)—伝統的の法体系の存続—」13(3): 441-454.
2. ————. 1976. 「タイ国の法体系に関する一考察(Ⅱ)—伝統的の法体系の存続—」13(4): 588-601.

3. ————. 1978. Research Note and Data on "Pocketbook" Publication in Thailand, 1973-1976. 16(3): 473-523.
4. 赤井 重恭; 大口 富三. 1967. 「タイ国で観察したイネの葉枯現象とその病原菌」 5(1): 171-174.
5. ————. 1976. 「イネの葉枯れ, 穂枯れ現象とそれらを原因する病原菌—II. タイ・マレーシアおよび台湾産籾病穂からの分離菌—」 14(1): 147-156.
6. 秋浜 友也; 渡部 忠世. 1970. Geographical Distribution and Ecotypic Differentiation of Wild Rice in Thailand. 8(3): 337-346.
7. ALEKSEEV, M. N.; 高谷 好一. 1967. An Outline of the Upper Cenozoic Deposits in the Chao Phraya Basin, Central Thailand. 5(2): 106-124.
8. 浅山 亮二; 上野 一也. 1964. 「眠科学を通じて見たタイ国内事情」 1(4): 82-88.
9. 綾部 恒雄. 1971. 「タイ国の教育と Dek Wat —バンケム村の調査を中心として—」 9(2): 227-235.
10. ————. 1973. 「タイ農村における集団の形態—ワット委員会・学校委員会の機能分析を中心として—」 10(4): 583-594.
11. BRAILEY, Nigel J. 1973. Chiangmai and the Inception of an Administrative Centralization Policy in Siam (I). 11(3): 299-320.
12. ————. 1974. Chiangmai and the Inception of an Administrative Centralization Policy in Siam (II). 11(4): 439-469.
13. CHAIPRAVAT, Olarn; MEESOOK, Kanitta; and GANJARERNDDEE, Siri. 1979. The Bank of Thailand Model of the Thai Economy. 17(2): 201-249.
14. CHALOEMITARANA, Thak. 1978. Reflections on the Sarit Regime and the Process of Political Change in Thailand—Some Conceptual and Theoretical Reassessments—. 16(3): 400-410.
15. 富士岡義一. 1966. 「タイ国のかんがい排水事業と今後の課題」 4(2): 123-136.
16. 富士岡義一; 海田 能宏. 1967. 「タイ国バンコク平原のかんがい排水について」 5(3): 138-166.
17. 藤吉 慈海. 1965. 「タイ国仏教の現状調査」 3(3): 130-139.
18. ————. 1966. 「東南アジアの仏教調査報告—タイ・ラオス・マレーシア—」 4(3): 178-186.
19. 福井 捷朗. 1967. 「タイ国の水田における窒素の季節的変動」 4(5): 85-94.
20. ————. 1969. Rice Culture in the Central Plain of Thailand (III) —A Review of Rice Experiments in Thailand—. 7(3): 301-333.
21. ————. 1971. Environmental Determinants Affecting the Potential Dissemination of High Yielding Varieties of Rice—A Case Study of the Chao Phraya River Basin—. 9(3): 348-374.
22. 福井 捷朗; 高橋 英一. 1969. Rice Culture in the Central Plain of Thailand —Subdivision of the Central Plain and the Yield Components Survey of 1966—. 6(4): 292-320.
23. ————. 1969. Rice Culture in the Central Plain of Thailand (II) —Yield Components

- Survey in the Saraburi-Ayutthaya Area, 1967—. 7(2): 177-190.
24. ————. 1970. Rice Culture in the Central Plain of Thailand (IV)—Response to Nitrogen of Some Native Varieties under Field Conditions—. 8(1): 46-63.
 25. ————. 1971. Rice Culture in the Central Plain of Thailand (V) —Possibility of Higher Yield viewed from the Yield Component Surveys in Farmers' Field—. 8(4): 518-533.
 26. 福井 捷朗; 服部 共生. 1974. Agricultures of Six Villages in Central Thailand and Central Java. 12(3): 308-321.
 27. 福岡 誠行. 1970. Contributions to the Flora of Southeast Asia—III. *Hedyotis* (Rubiaceae) of Thailand—. 8(3): 305-336.
 28. 服部 共生. 1969. Mineral Composition of Clay Fraction in Some Quaternary Deposits in the Chao Phraya Basin, Central Thailand. 6(4): 241-246.
 29. ————. 1970. Some Properties of Soils and Substrata in the Lampang Basin. 7(4): 527-545.
 30. ————. 1971. The Quaternary Stratigraphy in the Northern Basin of the Central Plain, Thailand. 9(3): 398-419.
 31. ————. 1972. Some Properties of Brackish Sediments along the Chao Phraya River of Thailand. 9(4): 522-532.
 32. ————. 1972. Some Properties of Recent Sediments in the Bangkok Plain of Thailand. 10(2): 321-334.
 33. ————. 1975. Clay Mineral Compositions of the Soils and Substrata of Some Quaternary Outcrops in the Saraburi and Lop Buri Area of the Central Plain of Thailand. 13(3): 481-492.
 34. 服部 共生; 古川 久雄; 川口桂三郎. 1965. 「タイ国水田土壌の粘土鉱物にかんする 2, 3 の考察」3(3): 151-160.
 35. 服部 共生; 渡部 忠世; IYAPONGSE, Ponpit; 川口桂三郎. 1968. 「北部タイにおける土壌の特性と水稻の収量」6(2): 93-108.
 36. 東 昇. 1966. 「いわゆるタイ出血熱の病原体チクングニアウィルスの増殖に関する電子顕微鏡学的研究」4(1): 88-94.
 37. 東中 秀雄. 1965. 「タイの測地事業—重力測定を主として—」3(1): 129-133.
 38. 本多 義昭; 木島 正夫. 1976. 「タイ国生薬の抗菌性—とくに皮膚疾患に用いられる生薬の抗菌性—」14(1): 140-146.
 39. 堀 清記; 斎藤 昇; 吉村 寿人. 1976. 「熱帯住民の高温環境への適応に関する試論—タイ住民のケース・スタディー—」14(1): 123-131.
 40. 市川健二郎. 1970. 「張蘭巨と激動期のタイ華僑」8(3): 292-304.
 41. 市村 真一; 水野 浩一; 坪内 良博; 浅野 俊夫; YAMKLINFUNG, Prasert; RABIBHADANA, Akin; SAKDEJAYONT, Yut; MUBYARTO; SINGARIBUN, Masuri. 1974. The Socio-Economic Behavior of Peasants in Central Java and Central Thailand—A summary Report—. 12(3): 322-343.

42. 飯島 明子. 1976. 「タイにおける領事裁判権をめぐる一保護民問題の所在」 14(1): 71-98.
43. 飯島 茂. 1965. 「タイ国北部における山地カレン族の文化変容—予報 1—」 2(4): 2-19.
44. ————. 1966. 「タイ国北西部におけるカレン族の平地民化」 3(5): 40-71.
45. ————. 1967. 「カレン族の農民化過程における家族儀礼」 5(2): 80-92.
46. ————. 1969. 「カレン族社会の農民型再編成—山村と平地村の比較研究を中心に—」 6(4): 2-23.
47. 石井 米雄. 1964. 「タイ語文献について(1)」 1(4): 2-12.
48. ————. 1964. 「タイ語文献について(2)」 2(1): 13-24.
49. ————. 1964. 「タイ語文献について(3)」 2(2): 67-80.
50. ————. 1965. 「タイ語文献について(4)」 2(4): 38-51.
51. ————. 1967. 「タイの奴隷制に関する覚え書」 5(3): 167-180.
52. ————. 1968. 「タイの徭役制度の一考察—『三印法典』を中心として—」 6(1): 36-54.
53. ————. 1968. 「アユタヤ王朝の統治範囲を示す『三印法典』中の 3 テキスト」 6(2): 135-164.
54. ————. 1969. 「三印法典について」 6(4): 155-178.
55. ————. 1970. 「国家と宗教にかんする一考察—ラーマ 1 世における仏教の『擁護』—」 7(4): 442-461.
56. ————. 1971. 「国家と宗教にかんする一考察(Ⅱ)—スコータイにおける大寺派上座部仏教の受容をめぐる諸問題—」 9(1): 2-18.
57. ————. 1972. 「国家と宗教にかんする一考察(Ⅲ)—タイ仏教における Ecclesia の成立とその意義—」 10(2): 197-213.
58. ————. 1972. 「タイにおける千年王国運動について」 10(3): 352-369.
59. ————. 1973. 「タイ国における『教法試験』について」 10(4): 542-560.
60. ————. 1973. 「タイ国における国民統合と仏教サンガの役割」 11(3): 338-359.
61. ————. 1977. 「タイ国における《イスラームの擁護》についての覚え書」 15(3): 347-361.
62. 石井 米雄; 坪内 良博. 1970. 「タイ国における出家行動の地域的変異についての—考察」 8(1): 2-15.
63. 石崎 潑雄. 1972. 「フィリピン, タイ, インドネシアにおける強風について」 10(1): 121-130.
64. 岩田 慶治. 1963. 「北部タイにおける稲作技術」 1(2): 22-38.
65. ————. 1964. 「北部タイにおける村落社会の解体と再編成過程」 2(2): 2-29.
66. 岩槻 邦男. 1969. 「タイ国のシダ植物」 6(4): 257-271.
67. ————. 1975. 「タイ国のシダ植物相と植物地理」 13(2): 282-294.
68. 岩槻 邦男; 福岡 誠行. 1967. 「タイ国植物調査小史」 4(5): 172-179.
69. JONES, Robert B. 1964. 「タイ語・ビルマ語の学習について」 2(1): 107-110.
70. 海田 能宏. 1968. 「タイ国メナムデルタのかんがい排水方式について」 5(4): 159-164.
71. ————. 1971. An Analysis of the Effect of Environmental Factors on Paddy Rice Yields—A Case Study from the Northern Region of the Greater Chao Phraya Project—. 9(2): 254-282.
72. ————. 1973. A Subdivision of the Chao Phraya Delta in Thailand Based on Hydrogra-

- phical Conditions—Water Conditions in Deltaic Lowland Rice Fields (I)—. 11(3): 403-413.
73. ————. 1974. Pioneer Settlements and Water Control Development in the West Bank of the Lower Chao Phraya Delta—Water Conditions in the Deltaic Lowland Rice Fields (II)—. 11(4): 512-524.
74. 海田 能宏; 松本 英二; SUTHITAVIL, Sayant; 高谷 好一; THAVATCHAI, Satrusajang. 1974. Environmental Conditions of Three Representative Villages in Thailand. 12(3): 291-299.
75. 刈米 達夫. 1964. 「タイ国生薬視察報告」2(1): 72-77.
76. 加藤 宏; 壺岐 国男; 松居 正治. 1966. 「タイ Nam Kam 開発計画」3(4): 169-181.
77. 加藤 清; 笠原 嘉. 1967. 「日タイ比較精神医学概観」5(3): 98-114.
78. 桂 満希郎. 1966. 「アカ語アルー村方言の音素」4(1): 122-132.
79. ————. 1968. 「ラフ・ナ語の音素体系—ラフ・ナ語の記述—」6(3): 113-137.
80. ————. 1969. 「アカ語の音韻構造および形態構造の概略」6(4): 220-240.
81. ————. 1969. Notes on Some Phonological Aspects of Northern Thai. 7(2): 148-162.
82. ————. 1970. An Outline of the Structure of the Akha Language (Part 1)—Introduction and Phonemics—. 8(1): 16-35.
83. KEYES, Charles F. 1974. A Note on the Ancient Towns and Cities of Northeastern Thailand. 11(4): 497-506.
84. 木村 学而. 1966. 「タイにおけるかんがい開発の経済性をめぐる二、三の考察」3(4): 192-201.
85. 北川 尚史. 1967. 「タイ国に苔類を求めて」4(5): 180-183.
86. ————. 1968. Studies on the hepaticae of Thailand III. The genus *Leucolejeunea*. 6(3): 138-143.
87. 北原 淳. 1976. 「タイの地租改正について」14(1): 49-70.
88. ————. 1978. 「タイ伝統的社会的土地所有について—『三印法典』を中心として—」16(3): 447-472.
89. 清水 敬次. 1967. 「タイ国税制と税務行政」5(3): 50-65.
90. 小林 達治. 1968. 「タイ、マラヤの水田土壤中における窒素固定微生物」5(4): 33-36.
91. 木島 正夫. 1968. 「タイ国生薬の考察Ⅰ」6(2): 165-174.
92. ————. 1968. 「タイ国生薬の考察Ⅱ」6(3): 169-179.
93. ————. 1969. 「タイ国生薬の考察Ⅲ」7(1): 76-96.
94. ————. 1969. 「タイ国生薬の考察Ⅳ」7(3): 391-411.
95. ————. 1970. 「タイ国生薬の考察Ⅴ」7(4): 582-599.
96. ————. 1973. 「タイ国における中薬[Ⅰ]」11(3): 414-432.
97. ————. 1974. 「タイ国における中薬[Ⅱ]」11(4): 545-557.
98. 木島 正夫; 永井 吉澄. 1969. 「スマトラならびにシャム安息香について」7(1): 40-48.
99. 木島 正夫; 田端 守; PECHARAPLY, Daroon. 1973. 「タイ国の民間医と民間薬」11(2): 238-255.

100. 木島 正夫; 本多 義昭; 玉田 誠宏. 1977. 「タイ国材類生薬について(Ⅰ)—構造の特性—」 15(1): 110-128.
101. 木島 正夫; 田端 守; 平岡 昇; PECHARAPLY, Daroon. 1977. 「タイとインドに共通する薬用植物の効用に関する文献的比較調査」 15(2): 255-262.
102. 栗本 一男. 1967. 「フィリピン, マレーシアおよびタイにおける教育上の諸問題」 4(5): 161-171.
103. 前川 暢夫. 1965. 「タイ国における結核の現状—結核化学療法の立場から—」 3(1): 95-104.
104. 松尾新一郎. 1965. 「タイ国における地下水開発の構想とそれに伴う土質改良について」 3(2): 47-61.
105. 松浦 義行; 大山 良徳; 村井 淳志. 1974. A Comparative Study on Physical Fitness of Children of Three Nations; Japanese, Thai and Indonesian. 12(3): 383-400.
106. 南 勲. 1965. 「東北タイにおけるメコン河諸支流の流量特性」 2(4): 91-97.
107. ————. 1965. 「タイ国における広域年間水収支にかんする一考察(1963年)」 3(3): 90-101.
108. ————. 1966. 「Chao Phraya 河における塩水浸入と河川流量」 3(4): 77-82.
109. 三谷 恭之. 1963. 「タイ諸語比較研究の展望」 1(2): 39-45.
110. ————. 1965. 「カメート語音素体系の記述と比較言語学的考察」 3(3): 22-51.
111. ————. 1966. 「ラワ語ボールワン方言の基本体系」 4(2): 40-62.
112. ————. 1972. 「ラワ語語彙資料」 10(1): 131-168.
113. ————. 1972. 「ラワ語音韻論の研究」 10(2): 174-196.
114. ————. 1977. 「タイ・カダイ諸語の言語年代学的考察」 15(3): 421-429.
115. 水野 浩一. 1965. 「東北部タイの米作農村における農地所有と家族の諸形態」 3(2): 7-35.
116. ————. 1965. 「宗教儀礼の機能的体系—タイ国東北部の一部落ドーン・デーンター」 3(3): 2-21.
117. ————. 1967. 「東北タイ農村の経済生活」 5(3): 2-28.
118. ————. 1968. 「階層構造の分析—タイ国東北部の稲作農村—」 6(2): 2-18.
119. ————. 1969. 「東北タイの村落組織」 6(4): 24-40.
120. ————. 1974. 「工業化と村落の変貌(Ⅰ)—中部タイのオム・ノイ村—」 11(4): 470-484.
121. ————. 1974. 「工業化と村落の変貌(Ⅱ)—中部タイのオム・ノイ村—」 12(1): 25-48.
122. ————. 1974. 「工業化と村落の変貌(Ⅲ)—中部タイのオム・ノイ村—」 12(2): 211-231.
123. ————. 1977. Comparative Analysis of Rural Development—Rice-Growing Villages in Thailand and Malaysia—. 15(3): 398-420.
124. ————. 1978. Comparative Analysis of Rural Development: Rice-Growing Villages in Thailand and Malaysia. 16(2): 87-90.
125. ————. 1978. Change and Development of Two Rice-Growing Villages in Thailand —Don Daeng and Khok Chyak—. 16(3): 353-377.
126. 百瀬 静男. 1968. Prothallia of the Ferns from Thailand. 6(1): 73-167.
127. 森下 薫. 1965. 「タイ国における寄生虫問題」 3(3): 52-69.

128. 森山徐一郎. 1965. 「タイ, マレーシアの鉱業について」 2(4): 86-90.
129. 本岡 武. 1964. 「京都大学東南アジア研究センターバンコック連絡事務所について」 1(3): 90-98.
130. ————. 1965. 「タイ国における農地問題と農地制度改革」 2(4): 20-37.
131. ————. 1966. 「タイの経済発展と農業」 3(5): 2-39.
132. ————. 1966. 「タイ農業における生産基盤の整備—とくに末端水利組織と土地改良協同組合との関係について—」 4(3): 91-130.
133. 村井 淳志. 1976. 「タイの栄養事情」 14(1): 132-139.
134. 村田 源. 1971. Contributions to the Flora of Southeast Asia—IV. A List of Labiatae known from Thailand—. 8(4): 489-517.
135. ————. 1976. Contributions to the Flora of Southeast Asia—VI. Additions and Corrections to the Knowledge of Labiatae in Thailand (1)—. 14(2): 177-193.
136. 村田 源; 松本 英二. 1974. Natural Vegetation and Physiography of the Central Plain of Thailand. 12(3): 280-290.
137. 村田 翼夫. 1978. Education and Rural Development: A Comparative Study of Thai and Malay Villages. 16(2): 98-115.
138. 中嶋 千尋. 1975. 「タイ米輸出制度の経済理論的分析」 13(3): 339-357.
139. 中島暢太郎. 1975. 「東南アジアの気候の特性について(2) —ラオス・タイ・マレーシア・シンガポールの大雨—」 13(2): 308-336.
140. 中野 和敬. 1978. An Ecological Study of Swidden Agriculture at a Village in Northern Thailand. 16(3): 411-446.
141. 西田 龍雄. 1964. 「ビルマ語とロロ諸語」 1(4): 13-28.
142. ————. 1965. 「タイ国北部の言語調査について」 3(3): 117-129.
143. ————. 1966. 「ビス語の研究—タイ国北部におけるビス族の言語の予備的研究—」 4(1): 65-87.
144. ————. 1966. 「ビス語の系統」 4(3): 42-68.
145. ————. 1967. 「ビス語の系統(続)」 4(5): 52-68.
146. ————. 1967. 「リス語の研究—タイ国ターク県におけるリス族の言葉の予備報告—」 5(2): 48-79.
147. ————. 1968. 「リス語比較研究 I」 6(1): 2-35.
148. ————. 1968. 「リス語比較研究(続)」 6(2): 19-47.
149. ————. 1969. 「ロロ・ビルマ語比較研究における問題」 6(4): 198-219.
150. 西村 博行. 1976. 「稲作経営における農業の技術・経済的知識の普及—メコン・デルタとチャオプラヤ河, ピン河流域における比較調査—」 14(3): 389-407.
151. ————. 1977. 「稲作経営における収益性要因の比較分析—メコン・デルタ, チャオプラヤ河流域とわが国(滋賀県)の農業経営調査結果より—」 15(3): 295-306.
152. 西尾 雅七. 1964. 「タイ国の公衆衛生」 2(1): 86-93.
153. 西占 貢; 戸田円二郎. 1965. Clinical and Pathological Observation of Reactional Cases of Leprosy in Thailand. 3(1): 105-123.

154. 野田 明義. 1966. 「南タイ Pattani 開発計画」3(4): 182-191.
155. 荻野 和彦. 1967. 「タイの気候区分にかんする一考察—とくに湿潤度の判定について—」5(3): 66-97.
156. ————. 1969. 「森林の一次生産力調査における必要最小面積のさだめかたにかんする一試案—タイ国熱帯林のばあい—」6(4): 286-291.
157. 荻野 和彦; SABHASRI, Sanga; 四手井綱英. 1964. The Estimation of the Standing Crop of the Forest in Northern Thailand. 1(4): 89-97.
158. 荻野 和彦; RATANAWONGS, Duongkeo; 堤 利夫; 四手井綱英. 1967. 「タイ国森林の第一次生産力」5(1): 121-154.
159. 大山 良徳. 1973. 「タイおよびインドネシアにおける青少年の体力に関する調査報告」11(1): 148-163.
160. 大山 良徳; 村井 淳志; 松浦 義行. 1976. 「児童の体力差に関する分析的研究—日本・タイ・インドネシア児童相互間の比較—」14(1): 29-48.
161. 大井次三郎. 1971. Contributions to the Flora of Southeast Asia—V. Gramineae and Cyperaceae of Thailand—. 9(2): 194-219.
162. 岡田誠太郎. 1967. 「タイ国の癩, 特に小児癩に関する現地調査」4(4): 33-52.
163. 岡田誠太郎; CHAROENBHAKDI, Anan; KETTANURAK, Chaisiri; 西占 貢. 1966. 「タイにおける児童のレプロミン反応に関する研究」4(1): 95-110.
164. 岡田誠太郎; 西占 貢; VICHIEH, Khien Krai; KETTANURAK, Chaisiri; PRASERTSARAVUT, Phairoj; RAMASOOTA, Teera; SAMPATTAVANIJA, Surasak. 1970. 「タイ国のらい接触児童における光田抗原および Dharmendra 抗原による皮内反応の研究について」8(3): 401-417.
165. 佐川弥之助. 1967. 「タイ国肺結核患者の肺機能障害について」5(3): 115-121.
166. 佐藤 幸治. 1965. 「ビルマ・タイ等における Satipatthana による人格形成について」3(1): 15-21.
167. 佐藤 孝. 1964. 「タイ国における畑作物」1(4): 41-53.
168. ————. 1968. 「タイ国畑作農業の直面している諸問題について」6(2): 175-180.
169. 沢田 敏男. 1968. 「タイ国における広域水利」5(4): 128-134.
170. 瀬野 錦蔵; 小林 純; 湯原 浩三. 1964. 「タイ国河川の化学成分の溶出機構」1(3): 55-65.
171. 清水 建美. 1970. Contributions to the Flora of Southeast Asia—II. Impatiens of Thailand and Malaya—. 8(2): 187-218.
172. 白木 博次. 1967. 「タイ国における2, 3の眼科疾患について」4(4): 60-76.
173. SINANUWONG, Somsri; 高谷 好一. 1974. Saline Soils in Northeast Thailand—Their Possible Origin as Deduced from Field Evidence—. 12(1): 105-120.
174. ————. 1974. Distribution of Saline Soils in the Khorat Basin of Thailand—preliminary findings—. 12(3): 365-382.
175. SMITINAND, Tem; 清水 建美; 小山 博滋; 福岡 誠行. 1970. Contributions to the Flora of Southeast Asia—I. Taxonomy and Phytogeography of Some Temperate Species in Thailand—. 8(2): 171-186.

176. SUNDHAROVAT, Swai; 野上 裕生. 1972. Key to the Selected Genera of Fusuline. 10(3): 433-450.
177. SUPAJANYA, Thiva; and VALLIBHOTAMA, Srisakra. 1972. The Need for an Inventory of Ancient Sites to Anthropological Research in Northeastern Thailand. 10(2): 284-297.
178. 田川 基二; 岩槻 邦男. 1965. On a Small Collection of Thailand Ferns. 3(3): 70-89.
179. ————. 1967. Enumeration of Thai pteridophytes collected during 1965-66. 5(1): 23-120.
180. 高橋 英一. 1967. 「タイ, マラヤ, カンボジアにおける稲作施肥をみて」 5(1): 155-165.
181. 高谷 好一. 1969. Topographical Analysis of the Southern Basin of the Central Plain, Thailand. 7(3): 293-300.
182. ————. 1971. Two Brackish Clay Beds along the Chao Phraya River of Thailand. 9(1): 46-57.
183. ————. 1971. Physiography of Rice Land in the Chao Phraya Basin. 9(3): 375-397.
184. ————. 1972. Quaternary Outcrops of the Southern Part of the Central Plain of Thailand. 10(2): 298-320.
185. ————. 1972. Physiography of Rice Land in Peninsular Thailand. 10(3): 422-432.
186. ————. 1973. The Plant Height of Rice in Delta —A Case Study in the Chao Phraya Delta of Thailand—. 11(2): 267-276.
187. ————. 1980. 「チャオプラヤ・デルタの開拓」 17(4): 633-657.
188. 高谷 好一; 友杉 孝. 1972. 「東北タイの“丘陵上の水田” —特に, その“産米林”の存在について」 10(1): 77-85.
189. 高谷 好一; 松本 英二. 1974. “Fai” and “Bo” Type Rice Culture on the Marginal Plain of Thailand. 11(4): 507-511.
190. 瀧本 清. 1965. 「タイ, マレーシアの地質鉱床」 3(1): 65-81.
191. 田辺 繁治. 1972. 「タイ旧制度化の国家領域に関する一考察」 10(2): 246-270.
192. ————. 1973. 「Chao Phraya デルタの運河開発に関する一考察 (I) —Ayutthaya 朝より Ratanakosin 朝四世王治世まで—」 11(1): 14-48.
193. ————. 1973. 「Chao Phraya デルタの運河開発に関する一考察 (II) —19世紀末葉における変容過程—」 11(2): 191-222.
194. ————. 1980. Farming Technology in the Deep Flooding Area of the Chao Phraya Delta: A Case Study in Ayutthaya. 17(4): 658-707.
195. 寺松 孝. 1965. 「タイ国における肺結核の現状—肺結核外科を中心として—」 3(1): 82-94.
196. 友杉 孝. 1966. 「Chao Phraya デルタのかんがい排水開発の歴史的発展過程」 3(4): 147-156.
197. 土屋 圭造. 1979. 「農村発展と農業技術の展望—タイと韓国を中心として—」 17(2): 340-359.
198. 辻井 博. 1973. 「伝統的米輸出国の農業生産性を規定する諸要因と緑の革命—タイ国における米生産の生産関数による分析を中心として—」 10(4): 503-524.
199. ————. 1975. 「タイ国ライス・プレミアム政策の実証的経済分析」 13(3): 358-384.

200. ————. 1978. Impacts of New Rice Technology on Thai Delta Villages. 16(3): 378-399.
201. 堤 利夫. 1964. 「タイ国の森林の植生とその土壌」1(4): 54-70.
202. ————. 1968. 「タイ国の森林植生とその土壌について」5(4): 118-125.
203. 堤 利夫; 菅 誠; KHEMANARK, Choob. 1966. 「タイ国森林土壌における物質量とその循環」4(2): 137-176.
204. ————. 1967. 「タイ国の森林土壌における物質量とその循環—無機養分について—」4(5): 95-126.
205. UDYANIN, Kasem; and SUWANAGUL, Kasem. 1965. Development of Thai Administration. 3(3): 108-116.
206. 上野 一也. 1967. 「タイ国における眼科疾患」4(4): 77-83.
207. 渡部 忠世. 1964. 「タイ国の水稲栽培技術について」2(1): 25-42.
208. ————. 1967. 「北タイにおける水稲の単位面積当り収量と収量の構成」4(5): 69-84.
209. ————. 1968. 「東南アジアにおける水稲増収上の二、三の問題点—特にタイ国を対象として—」5(4): 49-59.
210. 渡部 忠世; 秋浜 友也. 1968. Morphology of Rice Grains Recovered from Ruins in Thailand. 6(2): 89-92.
211. 渡部 忠世; 秋浜 友也; 木下 収. 1970. The Alteration of Cultivated Rice in Thailand and Cambodia. 8(1): 36-45.
212. 渡辺 弘之; SAICHUAE, Pairath; 四手井綱英. 1966. On the Biomass of Soil Animals Found in Various Types of Forests in Thailand. 4(1): 133-139.
213. 渡辺 弘之; SAICHUAE, Pairath. 1967. 「タイ国における森林の土壌動物相に関する一研究」4(5): 127-160.
214. 矢野 暢. 1963. 「タイ国政治の連続性と不連続性」1(1): 31-43.
215. ————. 1965. A Socio-Anthropological Survey in Songkhla Province: A Preliminary Report. 3(1): 140-143.
216. ————. 1967. 「南タイの土地所有—タイ・イスラム村落におけるケース・スタディー」4(5): 2-31.
217. ————. 1970. 「南タイにおける通婚圏の形成」7(4): 462-491.
218. ————. 1970. 「南タイ農民の村外居住体験について—タイ・イスラム村落におけるケース・スタディー」8(2): 138-170.
219. ————. 1971. 「南タイ農村の経済生活—タイ・イスラム村落での実態調査—」8(4): 442-488.
220. ————. 1974. 「南タイ農村の発展史的把握 (I) —派生村形成の社会過程—」12(1): 49-65.
221. ————. 1975. 「タイにおける『革命団布告』の政治機能—73年『10月政変』の背景についての一考察—」12(4): 419-435.
222. 吉原久仁夫. 1973. 「ASEAN 諸国における日本の合弁企業」11(1): 77-85.
223. 吉川 利治. 1978. 「『アジア主義』者のタイ国進出—明治中期の一局面—」16(1): 78-93.
224. 吉住永三郎. 1965. 「タイ・マレーシアにおける物理探鉱」3(2): 62-73.

4. ラ オ ス

1. 藤吉 慈海. 1966. 「東南アジアの仏教調査報告—タイ・ラオス・マレーシア—」 4(3): 178-186.
2. 猪木 正道. 1965. 「インドシネ三国の印象」 3(3): 173-181.
3. 向井 滋; 港 種雄; 中広 吉孝; 金山 清一. 1972. 「インドネシアの錫およびニッケル鉱業について」 9(4): 615-632.
4. 中島暢太郎. 1975. 「東南アジアの気候の特性について (2) —ラオス・タイ・マレーシア・シンガポールの大雨」 13(2): 308-336.

5. カンボジア

1. 藤吉 慈海. 1969. 「カンボジアの仏教」 6(4): 179-197.
2. 服部 共生; 久馬 一剛; 川口 桂三郎; 古川 久雄. 1969. 「カンボジアの水田土壌作土の粘土鉱物組成と土壌の風化の程度」 7(1): 49-57.
3. 猪木 正道. 1965. 「インドシナ三国の印象」 3(3): 173-181.
4. 石沢 良昭. 1971. 「カンボジア Préangkor 期の諸 titre について」 9(1): 89-135.
5. ————. 1973. 「古代カンボジアの王権と *dron vrah* (神の区域) [I]」 10(4): 561-582.
6. ————. 1973. 「古代カンボジアの王権と *dron vrah* (神の区域) [II]」 11(1): 49-61.
7. 海田 能宏. 1979. *Effect of Mekong Mainstream Flood Regulation on Hydrology and Agriculture in the Cambodian Lowland (I): Rice Culture.* 16(4): 592-624.
8. 加藤 哲夫; 川合 尚. 1966. 「カンボジアにおける水文・気象の特徴」 3(4): 61-68.
9. ————. 1966. 「Sambor 地域におけるかんがい用水量に関する二、三の測定」 3(4): 95-102.
10. 加藤 泰丸. 1966. 「カンボジアにおける作物栽培」 3(4): 110-119.
11. 吉良 竜夫; 穂積 和夫. 1965. 「南西カンボジアの森林調査」 3(3): 140-150.
12. 松居 正治. 1966. 「カンボジア国における食糧需要と農業生産に関する一考察」 4(3): 131-153.
13. 宮崎 康生. 1966. 「Sambor 地域における作物および土地利用計画」 3(4): 120-126.
14. 坂本 恭章. 1968. 「カンボジア語標準語とプノンペン方言」 6(2): 48-78.
15. ————. 1970. *i, i, ya, yā de Khmer ancien.* 7(4): 492-503.
16. 佐藤 孝. 1963. 「農業を中心としたカンボディアの現状と将来」 1(1): 55-64.
17. 高谷 好一. 1967. *Observations on Some Pleistocene Outcrops in Cambodia.* 5(3): 127-137.
18. 高橋 英一. 1967. 「タイ, マラヤ, カンボジアにおける稲作施肥をみて」 5(1): 155-165.
19. 田中 義朗. 1966. 「カンボジアのかんがい排水施設」 3(4): 137-146.
20. 渡部 忠世; 秋浜 友也; 木下 収. 1970. *The Alteration of Cultivated Rice in Thailand and Cambodia.* 8(1): 36-45.
21. 安尾 正元. 1966. 「カンボジアにおける水・土壌・生産力」 3(4): 85-94.

6. ベトナム

1. 福井 捷朗. 1974. *An Agro-Environmental Study of the Vietnamese Part of the Mekong Delta.* 12(2): 157-176.

2. ————. 1975. 「メコンデルタの稲作の特質—その開発計画に対する Imprication—」 13(1): 112-126.
3. 猪木 正道. 1965. 「インドシナ三国の印象」 3(3): 173-181.
4. 海田 能宏. 1974. Hydrography of Rice Land in the Vietnamese Part of the Mekong Delta. 12(2): 143-156.
5. ————. 1975. 「デルタ稲作農業の自然環境とデルタの開発構図」 13(1): 58-74.
6. 川合 尚. 1975. 「メコン水系全体計画の中での位置づけ」 13(1): 161-180.
7. 松野 正. 1975. 「農業開発阻害因子としてのメコンデルタの土壌条件」 13(1): 75-87.
8. 中野秀一郎. 1968. 「南ベトナム社会の構造と過程—1954-63—」 6(1): 55-72.
9. ————. 1971. 「最近のベトナム共和国における若干の専門的・技術的職業について」 9(3): 447-466.
10. ————. 1973. 「最近のベトナム共和国における『海外留学』について—その一般的傾向と日本—」 10(4): 613-648.
11. 西村 博行. 1975. 「メコンデルタの農業経済における稲作経営分析と経営問題」 13(1): 127-145.
12. ————. 1976. 「稲作経営における農業の技術・経済的知識の普及—メコン・デルタとチャオプラヤ河, ピン河流域における比較調査」 14(3): 389-407.
13. ————. 1977. 「稲作経営における収益性要因の比較分析—メコン・デルタ, チャオプラヤ河流域とわが国(滋賀県)の農業経営調査結果より—」 15(3): 295-306.
14. 桜井由躬雄. 1977. 「嘉隆均田例の分析」 14(4): 513-539.
15. ————. 1978. 「黎朝下ヴェトナム村落における漂散農民の分析(Ⅰ)上」 15(4): 552-572.
16. ————. 1978. 「黎朝下ヴェトナム村落における漂散農民の分析(Ⅰ)下」 16(1): 136-156.
17. ————. 1979. 「雑田問題の整理—古代紅河デルタ開拓試論—」 17(1): 3-57.
18. ————. 1980. 「10世紀紅河デルタ開拓試論」 17(4): 597-632.
19. 白石 昌也. 1975. Phan Bội Châu and Japan. 13(3): 427-440.
20. ————. 1976. 「開明的知識人層の形成—20世紀初頭のベトナム—」 13(4): 559-579.
21. 菅原道太郎. 1966. 「Mekong 河流域農業開発に伴う技術的並びに経済的諸問題」 3(4): 27-31.
22. 高橋 保. 1975. 「メコンデルタにおける土地所有と経済社会開発史」 13(2): 183-199.
23. 高谷 好一. 1974. A Physiographic Classification of Rice Land in the Mekong Delta. 12(2): 135-142.
24. 武田 健策. 1966. 「Mekong 河下流域開発構想の概要」 3(4): 130-136.
25. 竹内 俊雄. 1966. 「Mekong 河流域の水文調査」 3(4): 51-60.
26. 多紀 保彦. 1975. 「デルタの魚相と内水面漁業」 13(1): 146-160.
27. ToAN, Vu. 1964. 「現代ベトナムの経済問題」 1(3): 86-89.
28. 冨田 健次. 1979. 「ベトナムの民族俗字『字喃』の構造とその淵源」 17(1): 85-98.
29. 坪内 良博; 前田 成文. 1975. 「チュー政権末期のメコンデルタ農村部におけるリーダーシップ」 13(3): 455-469.
30. 辻井 博. 1975. 「南ベトナムの米経済と米政策—統計的・実証的分析—」 13(1): 19-44.
31. ————. 1977. Rice Economy and Rice Policy in South Vietnam up to 1974 —an Economic and Statistical Analysis—. 15(3): 263-294.
32. XUAN, Vo-Tong. 1975. Rice Cultivation in the Mekong Delta—Present Situation and Potentials for Increased Production—. 13(1): 88-111.

7. マレーシア

1. 赤井 重恭; 大口 富三. 1976. 「イネの葉枯れ, 穂枯れ現象とそれらを原因する病原菌—II. タイ・マレーシアおよび台湾産羅病穂からの分離菌—」 14(1): 147-156.
2. DEEGAN, James L. 1980. Deviation from Optimum Fallow Periods for Dry Rice Fields in Sarawak: The Effects on Rice Production. 17(4): 756-764.
3. DIFFLOTH, Gérard. 1977. Towards a History of Mon-Khmer: Proto-Semai Vowels. 14(4): 463-495.
4. 藤井 啓史. 1965. 「日本人専門家による水稻育種方法の改善」 2(3): 76-82.
5. 藤本 彰三. 1974. A Case Study of Human Resources in Peasant Paddy Farming in Kelantan. 12(3): 350-364.
6. ————. 1976. An Economic Analysis of Peasant Rice Farming in Kelantan, Malaysia. 14(2): 159-176.
7. 藤本 勝次. 1965. 「マラヤにおけるムスリム行政の現状」 3(2): 82-85.
8. ————. 1966. 「マラヤにおけるイスラム教育制度」 4(2): 2-39.
9. 富士岡義一; 海田 能宏. 1968. 「マラヤのかんがい排水事業と今後の課題」 6(2): 109-134.
10. 藤原利一郎. 1969. 「明・満刺加関係の成立と発展—初期満刺加国史の一側面的考察—」 6(4): 109-129.
11. 藤吉 慈海. 1966. 「東南アジアの仏教調査報告—タイ・ラオス・マレーシア—」 4(3): 178-186.
12. 福井 捷朗. 1980. 「サラワク低地の土地利用と未利用」 17(4): 708-740.
13. 福井 捷朗; 高谷 好一. 1978. Some Ecological Observations on Rice-Growing in Malaysia. 16(2): 13-19.
14. 船越 昭生. 1969. 「古地図にあらわれたマラッカーその出現とポルトガル・オランダ支配期の都市図」 6(4): 130-154.
15. 日比野丈夫. 1964. 「マラヤ調査旅行覚え書」 1(3): 72-79.
16. ————. 1969. 「マラッカのチャイニーズ・カピタンの系譜」 6(4): 88-108.
17. ————. 1971. 「マラッカのチャイニーズ・カピタンの系譜—補則二則—」 9(1): 58-60.
18. 法貴 誠. 1977. Farming Operations and Labor Requirement for Paddy Cultivation in Sarawak, East Malaysia. 15(3): 457-471.
19. 堀内 孝次; SAMY, S. J.; PHANG, C. C. 1971. Grain Loss during Hand Harvesting in the Rice Cultivation in Kedah, West Malaysia. 9(2): 220-226.
20. 川上潤一郎. 1965. 「新品種『MALINJA』の育成」 2(3): 83-92.
21. 川瀬 英爾. 1965. 「マラヤにおける害虫と防除」 2(3): 146-152.
22. 河津 一義. 1965. 「マレーシアにおける魚毒植物の調査採集」 3(3): 161-165.
23. 木村 登. 1965. 「マラヤにおける稲作害虫の薬剤による防除」 2(3): 159-164.
24. 貴島 恒夫. 1968. 「マレーシアの木材会議」 6(1): 184-192.
25. 小林 達治. 1968. 「タイ, マラヤの水田土壌中における窒素固定微生物」 5(4): 33-36.
26. 湖山 利篤. 1965. 「マラヤにおける稲作害虫とその防除」 2(3): 138-145.

27. 口羽 益生. 1972. 「水稻作農村パダンララン—その自然条件と二期作化について—」 9(4):533-555.
28. ————. 1977. 「米の二期作化に伴うパダンララン村の変貌と継続性」 15(3): 362-383.
29. ————. 1978. Socio-Economic Changes in a Malay Padi-Growing Community (Padang Lalang) in Kedah. 16(2): 22-36.
30. 口羽 益生; 坪内 良博; 前田 成文. 1965. 「マラヤ北西部の稲作農村—農地所有の零細化について—」 3(1): 22-51.
31. 口羽 益生; 坪内 良博. 1966. 「マラヤ北西部の稲作農村—婚姻・離婚・家族の特質について—」 4(1): 2-43.
32. ————. 1967. 「マラヤ北西部の稲作農村—農業労働について—」 5(1): 2-22.
33. 国井 喜章. 1965. 「マラヤの水田線虫—イネモグリセンチュウについて—」 2(3): 153-158.
34. 栗本 一男. 1967. 「フィリピン, マレーシアおよびタイにおける教育上の諸問題」 4(5): 161-171.
35. THONG, Lee Boon. 1978. Attitudinal Correlates in Residential Location: A Case Study in Malaysia. 16(2): 159-174.
36. LENT, John A. 1974. Malaysian Indians and Their Mass Media. 12(3): 344-349.
37. ————. 1978. Malaysia's National Language Mass Media: History and Present Status. 15(4): 598-612.
38. 前田 清茂. 1966. 「マラヤ北西部における中国人集落の構造 (上)」 3(5): 72-93.
39. ————. 1966. 「マラヤ北西部における中国人集落の構造 (下)」 4(1): 44-64.
40. 前田 成文. 1966. 「エンダウ川流域の Orang Hulu (Jakun) の家族覚え書」 3(5): 156-160.
41. ————. 1967. 「マレー半島におけるジャクンの親族名称」 4(5): 32-51.
42. ————. 1967. 「マラヤにおけるジャクンの家族構成の特質」 5(3): 29-49.
43. ————. 1969. 「ジャクン (オラル・フル) の結婚と離婚」 6(4): 70-87.
44. ————. 1969. 「ジャクン・コミュニティの社会秩序」 7(3): 342-362.
45. ————. 1973. 「双系の親族組織におけるイトコ婚の一考察」 10(4): 478-502.
46. ————. 1974. 「マレー人の家族」 12(1): 66-77.
47. ————. 1978. The Malay Family as a Social Circle. 16(2): 40-68.
48. 松島 省三. 1965. 「マラヤ稲作概観とその技術援助の概要」 2(3): 6-15.
49. ————. 1965. 「マラヤの稲作における稲・土・水の関係についての数種の実験と調査」 2(3): 129-134.
50. ————. 1966. 「マレーシアにおける水と稲に関する数種の実験と調査」 3(4): 103-109.
51. 松下 進. 1967. 「マラヤ, キンタ谷の地形・地質—特にその地形発達について—」 5(2): 93-105.
52. 三宅 正紀. 1965. 「マラヤの稲作と施肥」 2(3): 121-128.
53. 水野 浩一. 1977. Comparative Analysis of Rural Development —Rice-Growing Villages in Thailand and Malaysia—. 15(3): 398-420.
54. ————. 1978. Comparative Analysis of Rural Development: Rice-Growing Villages in Thailand and Malaysia. 16(2): 87-90.

55. 望月 正己. 1965. 「マラヤのネズミ防除」2(3): 165-167.
56. 森谷 陸夫. 1965. 「マラヤの稲作栽培法概観」2(3): 30-37.
57. 森山徐一郎. 1965. 「タイ, マレーシアの鉱業について」2(4): 86-90.
58. ————. 1968. 「マレーシアにおける希土類元素資源について」6(1): 168-176.
59. 本岡 武. 1965. 「マレーシア資料収集会議に参加して」3(3): 182-186.
60. 村田 翼夫. 1978. *Education and Rural Development: A Comparative Study of Thai and Malay Villages.* 16(2): 98-115.
61. 永井 政雄. 1965. 「マラヤ土壌と肥料」2(3): 109-120.
62. 中島暢太郎. 1975. 「東南アジアの気候の特性について(2) —ラオス・タイ・マレーシア・シンガポールの大雨—」13(2): 308-336.
63. 中野秀一郎. 1977. 「現代マレーシアにおける政治的リーダーシップの史的特性分析」15(2): 153-177.
64. 新田 あや. 1975. 「東南アジアにおける生薬の比較研究(第Ⅷ報) —クチンの中薬(1)—」13(2): 295-307.
65. ————. 1976. 「東南アジアにおける生薬の比較研究(第Ⅸ報) —クチンの中薬(2)—」13(4): 641-654.
66. RUDNER, Martin. 1976. *The Structure of Government in the Colonial Federation of Malaya.* 13(4):495-512.
67. ————. 1977. *Education, Development and Change in Malaysia.* 15(1): 23-62.
68. 佐本 四郎. 1965. 「コロポ計画によるマラヤの育種事業」2(3): 93-98.
69. 佐々江洋太郎; 西川 義正. 「マレーシアにおける乳用牛の生産性」6(4): 321-338.
70. 佐藤 静夫. 1965. 「マラヤにおける稲作肥料試験結果の概要」2(3): 101-108.
71. 佐藤 隆. 1965. 「マラヤにおける二期作水稻栽培の実態」2(3): 56-63.
72. SEPIEN, Abdullah bin. 1979. *Effects of Some Management Proxies and Sociological Factors on Productivity of Rubber Smallholdings in Malaysia.* 17(1): 58-84.
73. 清水 建美. 1970. *Contributions to the Flora of Southeast Asia—II. Impatiens of Thailand and Malaya—.* 8(2): 187-217.
74. 白石 代吉. 1965. 「マラヤ稲作の回顧」2(3): 170-175.
75. 園部 逸夫. 1965. 「マレーシア憲法判例の動向」3(1): 123-128.
76. 杉本 勝男. 1965. 「マラヤにおける稲作栽培法の研究成果」2(3): 43-55.
77. 鈴鹿 恒茂; 港 種雄. 1966. 「マレー西部地域における2, 3の鉄および錫鉱床について」4(2): 87-99.
78. 高橋 英一. 1967. 「タイ, マラヤ, カンボジアにおける稲作施肥をみて」5(1): 155-165.
79. 高橋 保夫. 1965. 「マラヤにおける水稻栽培法の進歩」2(3): 38-42.
80. 高村 礼. 1965. 「稲作技術協力の今後の問題点」2(3): 193-202.
81. 高谷 好一; 福井 捷朗; 山田 勇. 1978. *Ecology of Traditional Padi Farming in West Malaysia.* 16(2): 133-158.
82. 瀧本 清. 1965. 「タイ・マレーシアの地質鉱床」3(1): 65-81.
83. 滝沢 英夫. 1965. 「西マレーシア農村の保健と医療」10(1): 86-104.

84. 坪内 良博. 1966. 「マレー人の離婚—統計的分析の試み—」 4(3): 69-90.
85. ————. 1969. 「双系的親族構造をもつマレー系諸民族の離婚について」 6(4): 41-69.
86. ————. 1969. 「マレー人の離婚が出生率に及ぼした影響について」 7(3): 334-341.
87. ————. 1972. 「クランタンの一農村におけるタバコ耕作の導入と社会・経済的変化」 9(4): 556-576.
88. ————. 1972. 「東海岸マレー農民における土地と居住」 10(1): 60-76.
89. ————. 1972. 「マレーシア東海岸の天水田地域における稲作」 10(2): 214-233.
90. ————. 1972. 「東海岸マレー農民における結婚と離婚」 10(3): 390-408.
91. ————. 1973. 「マレーシア東海岸の村落住民の収入と収入源—カンボン・ガロにおけるケース・スタディー—」 10(4): 595-612.
92. ————. 1973. 「クランタンの農村におけるポンド(寄宿宗教塾)—その変容と現状—」 11(2): 223-237.
93. ————. 1974. 「クランタンの二つの農村—町に近いむらと遠いむらとの比較—」 11(4): 485-496.
94. ————. 1975. 「マレー農村におけるイスラームと離婚」 13(1): 3-18.
95. ————. 1978. *The Changing Function of Religion among Rural Malays.* 16(2): 73-83.
96. ————. 1979. 「マレー農村ガロック再訪」 16(4): 638-658.
97. 坪内 良博; 前田 成文. 1975. 「マレー人家族における隔世代関係」 12(4): 403-418.
98. ————. 1975. 「マレー人家族における養子慣行」 13(2): 228-236.
99. 築林 昭明. 1965. 「マラヤにおける小農経営の実態—1960年センサス結果からみた—」 2(3): 16-27.
100. 築島 謙三. 1965. 「マレー人の民族意識」 3(2): 36-46.
101. ————. 1966. 「マラヤの村の自治」 4(2): 63-77.
102. 梅田 輝世. 1966. 「マラヤの女性—Kedah 州における現地調査—」 3(5): 122-137.
103. Voon, Phin-Keong. 1977. *Rural Land Ownership and Development in the Malay Reservation of Peninsular Malaysia.* 14(4): 496-512.
104. ————. 1978. *Evolution of Ethnic Patterns of Rural Land Ownership in Peninsular Malaysia: A Case Study.* 15(4): 510-529.
105. WINZELER, Robert L. 1976. *Ethnic Differences and Economic Change in a Local Malaysian Setting.* 14(3): 309-333.
106. 山田 登. 1965. 「東南アジア稲作の今後の問題点」 2(3): 176-189.
107. 山川 寛. 1965. 「マラヤの水稻品種概要」 2(3): 66-75.
108. 吉田 光邦. 1964. 「マラヤ旅行」 2(1): 78-85.
109. 吉原久仁夫. 1973. 「ASEAN 諸国における日本の合弁企業」 11(1): 77-85.
110. 吉住永三郎. 1965. 「タイ・マレーシアにおける物理探鉱」 3(2): 62-73.
111. 吉住永三郎; 谷口敬一郎; 入江 恒爾. 1966. 「マラヤにおける物理探鉱」 4(1): 111-121.

8. シンガポール

1. 小島 一郎; 多田 一郎; 吉田 集而; 新田 あや. 1972. 「東南アジアにおける生薬の比較研

- 究 (第Ⅲ報)—シンガポールの中薬 (3)—」10(2): 335-350.
2. 中島暢太郎. 1975. 「東南アジアの気候の特性について (2) —ラオス・タイ・マレーシア・シンガポールの大雨—」13(2): 308-336.
 3. 新田 あや. 1973. 「東南アジアにおける生薬の比較研究 (第Ⅳ報)—シンガポールの中薬 (4)—」11(1): 107-129.
 4. 新田 あや; 吉田 集而. 1972. 「東南アジアにおける生薬の比較研究 (第Ⅰ報)—シンガポールの中薬 (1)—」9(4): 597-614.
 5. ————. 1972. 「東南アジアにおける生薬の比較研究 (第Ⅱ報)—シンガポールの中薬 (2)—」10(1): 105-120.
 6. ————. 1973. 「東南アジアにおける生薬の比較研究 (第Ⅴ報)—シンガポールの中薬 (5)—」11(2): 256-266.
 7. 吉原久仁夫. 1973. 「ASEAN 諸国における日本の合弁企業」11(1): 77-85.
 8. ————. 1975. 「シンガポール工業化における外資系企業と民族系企業」13(2): 237-255.
 9. 吉原久仁夫; 足立恭一郎. 1974. 「日本の海外企業進出 —韓国, 台湾, 香港, シンガポール」12(2): 232-253.

9. インドネシア

1. 福井 捷朗; 服部 共生. 1974. *Agricultures of Six Villages in Central Thailand and Central Java*. 12(3): 308-321.
2. 古川 久雄. 1979. 「南スマトラ低地部の土壌」17(3): 409-424.
3. 古谷 尊彦. 1978. *Preliminary Report of Some Volcanic Disasters in Indonesia*. 15(4): 591-597.
4. 堀田 進. 1973. 「インドネシアにおけるウイルス感染症の血清疫学的研究—医学地理学的考察—」11(1): 86-106.
5. 市村 真一. 1972. 「南スマトラ州の地域経済事情—LEKNAS-KYODAI 共同調査報告Ⅰ—」10(3): 370-389.
6. 市村 真一; 水野 浩一; 坪内 良博; 浅野 俊夫; YAMKLINFUNG, Prasert; RABIBHADANA, Akin; SAKDEJAYONT, Yut; MUBYARTO; SINGARIMBUN, Masuri. 1974. *The Socio-Economic Behavior of Peasants in Central Java and Central Thailand —A summary Report—*. 12(3): 322-343.
7. 石居 太楼. 1978. 「半世紀の歩み」16(1): 119-135.
8. 石崎 潑雄. 1972. 「フィリピン, タイ, インドネシアにおける強風について」10(1): 121-130.
9. 岩槻 邦男. 1973. *Pteridophytes of Northern Sumatra—A Report of Botanical Trip in 1971—*. 11(2): 277-296.
10. 海田 能宏. 1979. 「南スマトラの自然環境区分」17(3): 400-408.
11. ————. 1979. 「南スマトラの農業変革の動向」17(3): 525-537.
12. 金山 清一. 1973. 「インドネシアの錫花コウ岩と漂砂錫鉱床—とくにバンカ・ビリトン島を中心として—」11(3): 321-337.
13. 金子 敬生. 1973. 「インドネシアの産業連関分析」11(1): 62-76.

14. 北村貞太郎. 1979. 「コムリン・オガン川流域の地域構成」17(3): 507-524.
15. 北村貞太郎; 海田 能宏. 1979. 「コムリン・オガン川流域における地域開発の模索」17(3): 538-545.
16. 小林 一三. 1970. 「インドネシア経済の研究方向に関する一考察—予備調査から帰って—」8(2): 267-275.
17. KOENTJARANINGRAT. 1970. 「インドネシア社会科学の現況」8(1): 123-129.
18. 木島 正夫; 永井 吉澄. 1969. 「スマトラならびにシャム安息香について」7(1): 40-48.
19. KROEF, Jusus M. van der. 1979. *Indonesia: After the Student Revolt.* 16(4): 625-637.
20. 口羽 益生. 1964. 「ジャワ人の世界観」2(1): 2-12.
21. 前田 成文. 1976. 「コミュニティ宗教におけるシンボル—南スラウェシ省アンパリタにおける事例—」14(3): 408-432.
22. 松本 英二; SUVIJANT. 1974. *Land Use Pattern in Indonesia.* 11(4): 525-531.
23. 松本 英二; SUVIJANTO; 海田 能宏; 高谷 好一. 1974. *Environmental Conditions of Three Representative Villages in Central Java.* 12(3): 300-307.
24. 松浦 義行; 大山 良徳; 村井 淳志. 1974. *A Comparative Study on Physical Fitness of Children of Three Nations; Japanese, Thai and Indonesian.* 12(3): 383-400.
25. 美濃口 玄; 佐藤 匠; 吉武 一貞; 人見権次郎. 1972. 「熱帯地域における歯牙フッ素症発症閾に関する研究—Indonesia (Java 島) における調査研究—」10(1): 2-31.
26. 三谷 恭之. 1979. 「南スマトラ州の言語」17(3): 467-479.
27. 本岡 武. 1972. 「インドネシア農業開発の新転機—とくに米増産計画をめぐって—」10(3): 451-465.
28. 永穂 昭. 1968. 「アメリカおよびオランダにおけるインドネシア研究の現状」6(1): 177-183.
29. 中村 光男. 1972. 「ジョグジャカルタ市コタグデにおける社会人類学調査の予備報告」10(3): 466-476.
30. 中村 重久. 1979. *On Statistics of Tsunamis in Indonesia.* 16(4): 664-674.
31. ————. 1979. *A Note on the Indonesian Earthquake and Tsunami of 19 August 1977.* 17(1): 157-162.
32. 西原 正. 1973. 「インドネシア『新秩序』とその政治的近代化」11(2): 171-190.
33. ————. 1975. 「インドネシアにみる統治スタイルの連続性」12(4): 436-457.
34. 西村 博行. 1975. 「インドネシアの農家における農業技術・経済情報の普及—ジャワ島における実態調査結果の比較—」12(4): 458-477.
35. 野口 英雄. 1969. 「中部ジャワの仏教遺跡—北プラオサンの方位について—」6(4): 339-358.
36. 大山 良徳. 1973. 「タイおよびインドネシアにおける青少年の体力に関する調査報告」11(1): 148-163.
37. 大山 良徳; 村井 淳志; 松浦 義行. 1976. 「児童の体力差に関する分析的研究—日本・タイ・インドネシア児童相互間の比較—」14(1): 29-48.

38. 大矢 雅彦. 1975. 「衛星写真判読による小縮尺地形分類図の試作—ジャワ島東部の場合—」 13(3): 470-480.
39. 酒井 敏明. 1966. 「インドネシアにおけるプランテーション農業の問題点」 3(5): 110-121.
40. 崎山 理. 1969. 「マライ・ポリネシア語族におけるブリ語（ハルマヘラ島）の系統」 7(3): 274-292.
41. 佐藤 孝. 1969. 「赤道多雨地帯の開発とスマトラ・ランポン州のメイズ栽培」 7(3): 412-419.
42. ————. 1977. 「インドネシアの食用マメ科植物」 15(3): 452-456.
43. 白石 愛子. 1976. 「ブリタル反日蜂起の史的考察—インドネシア 8月革命序曲—」 13(4): 535-558.
44. 白石 隆. 1980. 「<人民主義>をめぐって—チプト・マングンクスモ vs. スタットモ・スリヨクスモ—」 17(4): 741-755.
45. 正垣 幸男. 1967. 「カリマンタンとマラリア根絶計画」 4(5): 194-202.
46. 高谷 好一. 1979. 「南スマトラ, コムリン川流域の稲作景観」 17(3): 444-466.
47. 田中 明; 岡島 秀夫; 四方英四郎; 山田 芳雄. 1970. A Note on Nutritional Disorders of the Rice Plant in Java, Indonesia. 8(3): 418-426.
48. 田中 則雄. 1972. 「スンダ（西ジャワ）の貴族 (Menak) について」 10(3): 409-421.
49. 坪内 玲子. 1977. 「ジャカルタの日本人と家事使用人—対人関係における期待の齟齬をめぐって」 15(1): 63-78.
50. 坪内 良博. 1977. 「日本人の目からみたインドネシア人勤労者」 15(2): 178-192.
51. ————. 1977. 「日系合弁企業工場におけるインドネシア人作業員」 15(3): 384-397.
52. ————. 1979. 「南スマトラ, コムリン川流域およびムシ川下流部における集落形成史」 17(3): 480-506.
53. 土屋 健治. 1971. 「スカルノの研究—パンチャ・シラ成立の過程—」 8(4): 566-579.
54. ————. 1971. 「スカルノとハッタの論争」 9(1): 61-88.
55. ————. 1971. 「サミン運動とインドネシア民族主義」 9(2): 236-253.
56. ————. 1972. 「スカルノとイスラム (1934年—1942年)」 9(4): 577-596.
57. ————. 1972. 「スカルノの第二次世界大戦論」 10(2): 234-245.
58. ————. 1974. 「タマン・シスワの研究—『民主主義と指導性』理念について—」 12(2): 193-210.
59. ————. 1977. 「原住民委員会」をめぐる諸問題—支配と抵抗の様式に関連して—」 15(2): 131-152.
60. ————. 1978. 「ジャワ知識人の西欧認識をめぐる諸問題 (1913年—1922年)」 15(4): 530-551.
61. ————. 1979. 「タマン・シスワの研究 (1928年—1930年) —組織化をめぐって—」 16(4): 527-554.
62. 山田 勇. 1975. Forest Ecological Studies of the Montane Forest of Mt. Pangrango, West Java—I. Stratification and Floristic Composition of the Montane Rain Forest near Cibodas—. 13(3): 402-426.

63. ————. 1976. Forest Ecological Studies of the Montane Forest of Mt. Pangrango, West Java—II. Starratification and Floristic Composition of the Forest Vegetation of the Higher Part of Mt. Pangrango—. 13(4): 513-534.
64. ————. 1976. Forest Ecological Studies of the Montane Forest of Mt. Pangrango, West Java—III. Litter Fall of the Tropical Montane Forest near Cibodas—. 14(2): 194-229.
65. ————. 1977. Forest Ecological Studies of the Montane Forest of Mt. Pangrango, West Java —IV. Floristic Composition along the Altitude—. 15(2): 226-254.
66. 山田 勇; SOEKARDJO, Sukristijono. 1979. 「南スマトラ低湿地の森林植生」17(3): 425-443.
67. 矢野 暢. 1977. 「堤林数衛の精神的『回心』—『南方関与』の近代的類型—」15(3): 307-333.
68. 吉田 集而. 1971. 「北スマトラ Tapanuli 地方における安息香の栽培とその市場品」9(3): 420-446.
69. ————. 1974. 「ケイヒ類生薬に関する研究(第1報)—西スマトラにおけるケイヒの栽培状況について—」12(1): 121-132.
70. 吉原久仁夫. 1973. 「ASEAN 諸国における日本の合弁企業」11(1): 77-85.
71. ————. 1975. 「シンガポールの工業化と米系企業」12(4): 489-506.

10. フィリピン

1. 江崎 光男. 1977. Growth Accounting of the Philippines: The Demand-for-Output Side. 15(1): 3-22.
2. 合田 澁. 1979. 「ボントック族の通過儀礼—動物範疇のパロールとして—」16(4): 555-591.
3. 家永 泰光. 1966. 「フィリピンにおける稲作とかんがい組織の種別」3(4): 157-161.
4. 石崎 澄雄. 1972. 「フィリピン, タイ, インドネシアにおける強風について」10(1): 121-130.
5. 岩槻 邦男. 1977. 「しだ植物の分布からみた台湾とフィリピン」15(3): 430-441.
6. 岩槻 邦男; PRICE, Michael G. 1977. The Pteridophytes of Mt. Burnay and Vicinity, Northern Luzon. 14(4): 540-572.
7. 嘉田 良平. 1973. 「フィリピンにおける企業の農業成立のメカニズム—中部ルソン蔬菜作農村での実態調査より—」11(3): 382-402.
8. 栗本 一男. 1967. 「フィリピン, マレーシアおよびタイにおける教育上の諸問題」4(5): 161-171.
9. MEARS, Leon A; and ANDEN, Teresa L. 1972. Who Benefits from the Post-Harvest Rice Price Rice? 9(4): 484-501.
10. 森口 恒一. 1977. 「タガログ語のアクセントに関する覚え書き—物理アクセントと心理アクセント—」15(1): 79-94.
11. 本岡 武. 1965. 「フィリピン大学政治学科50周年記念式典に参列して」3(2): 98-106.
12. ————. 1971. 「フィリピン農業教員研修に参加して」9(2): 283-295.
13. 中島暢太郎. 1973. 「東南アジアの気候の特性について (I) —フィリピンの大雨—」11(1): 130-147.

14. 中村 重久. 1977. 「1976年8月のミンダナオ島南部の地震と津波について」 15(1): 95-109.
15. ————. 1978. On Statistical Tsunami Risk of the Philippines. 15(4): 581-590.
16. 西口 猛. 1968. 「フィリピンのかんがい施設の現状と降雨分布の特性について」 5(4): 146-149.
17. 岡川 長郎. 1970. 「ルソン島中央平野の地形発達史的解析と水田土壌採取地点の特性について」 8(1): 113-122.
18. SOBERANO, Rawlein G. 1976. The Philippine Statehood Movement A Resurrected Illusion, 1970-1972—. 13(4): 580-587.
19. 高橋 三雄. 1963. 「フィリピン National Institute of Science of Technology における Colombo Plan Expert としての勤務報告」 1(2): 73-76.
20. 吉原久仁夫. 1971. 「フィリピン経済とナショナリズム」 9(3): 328-347.
21. 吉川 洋子. 1976. 「フィリピンの政治的正当性の一考察—変革への試練—」 14(2): 230-269.

11. その他の地域

1. CHIU, Yi-Chung. 1979. A Quarterly Econometric Forecasting Model for Taiwan Economy. 17(2): 280-291.
2. 古川 久雄. 1974. 「ニューアイルランド島における土壌地理学的観察—焼畑がひろげる緑の砂漠—」 11(4): 532-544.
3. 古川 久雄; 小崎 隆. 1979. A Format for Field Soil Records for Computer-Based Data Management System. 16(4): 659-663.
4. 原 忠彦. 1969. 「東パキスタン・チッタゴン地区モスレム村落における職業と価値観」 7(1): 58-75.
5. 岩村 忍. 1965. 「アメリカの5週間—帰国報告—」 3(1): 137-139.
6. 岩槻 邦男. 1977. 「しだ植物の分布からみた台湾とフィリピン」 15(3): 430-441.
7. 泉井久之助. 1965. 「輓近南方諸言語研究の動向」 3(2): 74-81.
8. 木村 隆重; 宇和川正人; 井上 淳二. 1966. 「東パキスタンの農業開発の方向」 3(4): 162-168.
9. 木島 正夫; 田端 守; 平岡 昇; PECHARAPLY, Daroon. 1977. 「タイとインドに共通する薬用植物の効用に関する分献的比較調査」 15(2): 255-262.
10. 久馬 一剛; 高谷 好一. 1969. Black Soils in Eastern India. 6(4): 247-256.
11. LIN, Tzong-biau. 1979. The ERC Forecasting Model of the Hong Kong Economy. 17(2): 262-279.
12. 森口 親司. 1979. The Kyoto University Quarterly Model of the Japanese Economy. 17(2): 292-312.
13. 西田 龍雄. 1969. 「ラフ・シ語の研究—タイ国チェンライ県におけるラフ・シ族の言葉の予備報告—」 7(1): 2-39.

14. 岡田誠太郎; 中井 栄一; 伊藤 邦幸. 1969. 「インドのらい症状について」 6(4): 359-370.
15. SHIN, Hyunchul. 1979. The Bank of Korea Econometric Model. 17(2): 250-261.
16. 高谷 好一. 1968. Observations of Some Pleistocene Outcrops in Ceylon. 6(2): 79-88.
17. 高谷 好一; 久馬 一剛. 1968. 「インドにおける水田土壌試料採取地点の地形発達史的的位置について」 6(3): 144-155.
18. ————. 1969. 「セイロンにおける水田土壌試料採取地点の地形発達史的的位置について」 7(2): 198-208.
19. 坪内 良博. 1969. Estimation of Child Mortality, the Birth Rate, the Death Rate, and Total Fertility in the New Hebrides. 7(2): 191-197.
20. 土屋 圭造. 1979. 「農村発展と農業技術の展望—タイと韓国を中心として—」 17(2): 340-359.
21. 宇和川正人. 1966. 「Bengal 湾に発生するサイクロン」 3(4): 69-76.
22. 吉原久仁夫; 足立恭一郎. 1974. 「日本の海外企業進出—韓国, 台湾, 香港, シンガポール—」 12(2): 232-253.

4. リプリント・シリーズ (*印は在庫なし)

社会科学

- S- 1* ICHIMURA, Shinichi. 1968. Postwar Japan in the World Economy. *Japanese Economy*.
- S- 2* YASUBA, Yasukichi. 1969. 人口研究の意義と方法—経済発展論の立場から— [The Significance and Methods of Research on Demographic History—From the Viewpoint of Development Economics—]. 経済史における人口 [Keizaishi ni okeru Jinko].
- S- 3 FORREST, Matthew; and YOSHIHARA, Kunio. 1969. Japan's Dependence on Exports in contrast with That of Six Other Nations. *Hitotsubashi Journal of Economics* 10 (1).
- S- 4 YOSHIHARA, Kunio. 1969. Long-Term Models of the Japanese Economy. *The Economic Studies Quarterly* 20 (3).
- S- 5* YOSHIHARA, Kunio. Demand Functions: An Application to the Japanese Expenditure Pattern. *Econometrica* 37 (2).
- S- 6 ISHII, Yoneo. 1970. 国家と宗教にかんする一考察—ラーマ1世における仏教の「擁護」— [Two Phases of 'sasanupathamphok,' Defender of the Faith: A Case Study of King Rama I]. 東南アジア研究 [Southeast Asian Studies] 7 (4).
- S- 7 YANO, Toru. 1970. 南タイにおける通婚圏の形成 [Range of Marriage in Southern Thailand—A Case Study in a Thai-Islam Community—]. 東南アジア研究 [Southeast Asian Studies] 7 (4).
- S- 8 TSUBOUCHI, Yoshihiro. 1970. Changes in Fertility in Japan by Region: 1920-1965. *Demography* 7 (2).
- S- 9* ISHII, Yoneo; and TSUBOUCHI, Yoshihiro. 1970. タイ国における出家行動の地域的変異についての一考察 [Regional Patterns of Kaan Buat (Entering the Sangha) in Thailand]. 東南アジア研究 [Southeast Asian Studies] 8 (1).

- S-10 KATSURA, Makio. 1970. An Outline of the Structure of the Akha Language (Part 1) —Introduction and Phonemics—. *Southeast Asian Studies* 8 (1).
- S-11 YANO, Toru. 1970. 南タイ農村民の村外居住体験について—タイ・イスラム村落におけるケース・スタディー [Southern Thai Muslims' Temporary Residence Outside Their Villages: A Case Study]. *東南アジア研究 [Southeast Asian Studies]* 8 (2).
- S-12* ICHIMURA, Shinichi. 1970. The Challenge of the Rising Sun. *Quadrant* 14 (6).
- S-13* YASUBA, Yasukichi. 1971. A Revised Index of Industrial Production for Japan, 1905-1935. *Osaka Economic Papers* 19 (1/2).
- S-14 YANO, Toru. 1971. 南タイ農村の経済生活—タイ・イスラム村落での実態調査— [Economic Life of Rural Villages in Southern Thailand—An Observation in a Thai-Islam Community—]. *東南アジア研究 [Southeast Asian Studies]* 8 (4).
- S-15 MOTOOKA, Takeshi. 1971. 東南アジア農業開発研究の方法と問題 [Methods and Problems of Researches on Agricultural Development in Southeast Asia]. *農業開発研究 [Studies on Agricultural Economics]* 42 (4).
- S-16 MOTOOKA, Takeshi. 1971. 東南アジア農業開発と農業教育 [Agricultural Development and Agricultural Education in Southeast Asia]. *近代農学論集 [Treaties on Modern Agricultural Science]*.
- S-17 YOSHIHARA, Kunio; FURUYA, Kenichi; and SUZUKI, Takao. 1971. The Problem of Accounting for Productivity Change in the Construction Price Index. *Journal of the American Statistical Association* 66 (333).
- S-18 ISHII, Yoneo. 1971. Seventeenth Century Japanese Documents about Siam. *Journal of the Siam Society* 59 (2).
- S-19 MOTOOKA, Takeshi. 1971. 農業地理学と発展途上国農業開発—応用地理学の一課題— [Agricultural Geography and Agricultural Development in Developing Countries]. *人文地理学論叢 [Jinbun Chirigku Ronsoo]*. June.
- S-20 ISHII, Yoneo. 1971. 国家と宗教にかんする一考察 (Ⅱ) —スコータイにおける大寺派上座部仏教の受容をめぐる諸問題— [Theravāda Buddhism in Sukhothai Inscriptions]. *東南アジア研究 [Southeast Asian Studies]* 9 (1).
- S-21 OHNO, Toru. 1971. パガン, ピンヤ, インワ時代のビルマ人仏教徒の功德 [Dedications of the Buddhist Burman during Pagan, Pinya and Ava Periods]. *東南アジア研究 [Southeast Asian Studies]* 9 (1).
- S-22 MIZUNO, Koichi. 1971. 家族の周期と村落構造—タイ国東北部の稲作農村— [Family Cycle and Village Structure —A Rice-Growing Village in Northeast Thailand—]. *ソシオロジ [Soshioroji]* 17 (1/2).
- S-23 MOTOOKA, Takeshi. 1971. 熱帯農学の教育・研究にかんする国際協力 [International Cooperation for Education and Research on Tropical Agriculture]. *熱帯農業の教育と研究 [Education and Research on Tropical Agriculture]*.
- S-24 TSUBOUCHI, Yoshihiro. 1971. 日本農民の伝統的な離婚傾向と親族構造とのかわりについて [Kinship and Marital Stability among Japanese Peasants in the Past]. *ソシオロジ*

- [*Soshioroji*] 17 (1/2).
- S-25 OHNO, Toru. 1971. パガン, ピンヤ, インワ時代のビルマ人仏教徒の呪詛 [Curses of the Buddhist Burman during Pagan, Pinya and Ava Periods]. *東南アジア研究* [*Southeast Asian Studies*] 9 (2).
- S-26 ISHII, Yoneo. 1971. タイ仏教の構造 [The Social Structure of Thai Buddhism]. *アジア経済* [*Ajia Keizai*] 12 (12).
- S-27 OHNO, Toru. 1971. パガン, ピンヤ, インワ時代のビルマの社会 [The Social Structure of Burma during Pagan, Pinya, and Ava Periods]. *東南アジア研究* [*Southeast Asian Studies*] 9 (3).
- S-28 YOSHIHARA, Kunio. 1971. フィリピン経済とナショナリズム [Nationalism and the Philippine Economy]. *東南アジア研究* [*Southeast Asian Studies*] 9 (3).
- S-29 YASUBA, Yasukichi. 1971. 二重構造 [Dual Structure]. *現代の経済学の展開* [*Development of the Modern Economy*].
- S-30 YOSHIHARA, Kunio. 1971. A Study of Philippine Manufacturing Corporations. *The Developing Economies* 9 (3).
- S-31 YOSHIHARA, Kunio. 1972. The Growth Rate as a Determinant of the Saving Ratio. *Hito-tsubashi Journal of Economics* 12 (2).
- S-32 YOSHIHARA, Kunio; and RATCLIFFE, Tait. 1972. Productivity Change in the Japanese Economy, 1905-65. *The Economic Studies Quarterly* 23 (1).
- S-33 YASUBA, Yasukichi. 1972-73. Modern Economists' Views on the Japanese Economy—A Survey—. *Japanese Economic Studies* 1 (2).
- S-34 YANO, Toru. 1973. 多極化と「従属体系」状況の変容—地域主義との関連— [Multipolarization of the International System and Transformation of Regional Subordinate Systems—Prospects for Regionalism in Southeast Asia—]. *国際政治* [*Kokusai Seiji*] 48.
- S-35 YANO, Toru. 1972. Some Characteristics of Political Leadership in Thailand: Sarit Thanarat's "Revolutionary Party Edicts." *The Developing Economies* 10 (3).
- S-36 EZAKI, Mitsuo; and JORGENSON, D. W. 1973. マクロ生産性変化の測定1951—1968年 [Measurement of Aggregate Productivity Change 1951-1968]. *日本経済の長期分析—成長・構造・波動—* [*Nihon Keizai no Choki Bunseki*].
- S-37 ICHIMURA, Shinichi; FUKUCHI, Takao; and SAKASHITA, Noboru. 1972. The Present State of Research on Urbanization and its Effect on Cultural Changes in ASPAC Member Countries—A Bibliography Survey—. *Asian Pacific Quarterly of Cultural and Social Affairs* 4 (1).
- S-38 ICHIMURA, Shinichi. 1974. Japanese Entrepreneurship in the Early Stage of Economic Development. *Asian Profile* 2 (1).
- S-39 MIZUNO, Koichi. 1975. タイ人の家族と宗教 [Family and Religion in Thailand]. *アジア文化* [*Asia Bunka*] 11 (4).
- S-40 MAEDA, Narifumi. 1975. Family Circle, Community, and Nation in Malaysia. *Current Anthropology* 16 (1).
- S-41 YANO, Toru. 1974. The Political Elite Cycle in Thailand. *The Developing Economies* 12 (4).

- S-42 EZAKI, Mitsuo. 1975. Econometric Growth Model and Forecasting Simulations for Postwar Japan: 1952-1980. *The Economic Studies Quarterly* 26 (3).
- S-43* YASUBA, Yasukichi. 1975. Anatomy of the Debate on Japanese Capitalism. *The Journal of Japanese Studies* 2 (1).
- S-44 ICHIMURA, Shinichi. 1975. Interdisciplinary Research and Area Studies. *Journal of Southeast Asian Studies* 6 (2).
- S-45 ISHII, Yoneo. 1975. A Note on Buddhistic Millenarian Revolts in Northeastern Siam. *Journal of Southeast Asian Studies* 6 (2).
- S-46 MIZUNO, Koichi. 1975. Thai Pattern of Social Organization: Note on a Comparative Study. *Journal of Southeast Asian Studies* 6 (2).
- S-47 TSUBOUCHI, Yoshihiro. 1975. Marriage and Divorce among Malay Peasants in Kelantan. *Journal of Southeast Asian Studies* 6 (2).
- S-48 EZAKI, Mitsuo. 1975. On the Two-Gap Analysis of Foreign Aid. *Journal of Southeast Asian Studies* 6 (2).
- S-49 TSUCHIYA, Kenji. 1975. The Taman Siswa Movement—Its Early Eight Years and Japanese Background. *Journal of Southeast Asian Studies* 6 (2).
- S-50 MAEDA, Narifumi. 1975. The Aftereffects of Haji and Kaan Buat. *Journal of Southeast Asian Studies* 6 (2).
- S-51 MIZUNO, Koichi. 1976. 家族・親族集団の国際比較—タイ国と日本—。社会学評論 [Shakai-gaku Hyoron] 26 (3).
- S-52 YASUBA, Yasukichi. 1976. The Evolution of Dualistic Wage Structure. *Japanese Industrialization and its Social Consequences*.
- S-53 TSUCHIYA, Kenji. 1976. Gerakan Taman Siswa—Delapan Tahun Pertama dan Latar Belakang Jawa Taman Siswa. *Indonesia: Masalah Dan Peristiwa Bunga Rampai*.
- S-54 YASUBA, Yasukichi. 1978. Freight Rates and Productivity in Ocean Transportation for Japan, 1875-1943. *Explorations in Economic History* 15 (1).
- S-55 EZAKI, Mitsuo. 1976. Economic Theory and Social Accounting System. *The Journal of Philippine Development* 3 (2).
- S-56 YOSHIHARA, Kunio. 1978. Determinants of Japanese investment in South-East Asia. *International Social Science Journal* 30 (2).
- S-57 YASUBA, Yasukichi. 1978. Imported Inflation and the Upward Revaluation of the Yen, 1965-1974. *Breadth and Depth in Economics*.
- S-58 MIZUNO, Koichi. 1979. Urbanization and Rural Change—Tambon Om Noi—. *Geography and the Environment in Southeast Asia*.
- S-59 YASUBA, Yasukichi. 1979. Policy-Induced Growth and the Older Generation. *Japanese Economic Studies* 7 (3).

自然科学

- N- 1* FUKUI, Hayao; and TAKAHASHI, Eiichi. 1969. Rice Culture in the Central Plain of Thailand (II)—Yield Components Survey in the Saraburi-Ayutthaya Area, 1967—. *Southeast Asian*

- Studies* 7 (2).
- N- 2 TAKAYA, Yoshikazu. 1969. Topographical Analysis of the Southern Basin of the Central Plain, Thailand. *Southeast Asian Studies* 7 (3).
- N- 3 FUKUI, Hayao; and TAKAHASHI, Eiichi. 1969. Rice Culture in the Central Plain of Thailand (III)—A Review of Rice Experiments in Thailand—. *Southeast Asian Studies* 7 (3).
- N- 4 TAKAYA, Yoshikazu. 1969. Topographical Control over the Agriculture in the Mae Nam Delta. *JARQ: Japan Agricultural Research Quarterly* 4 (4).
- N- 5 HATTORI, Tomoo. 1970. Some Properties of Soils and Substrata in the Lampang Basin. *Southeast Asian Studies* 7 (4).
- N- 6 WATABE, Tadayo; AKIHAMA, Tomoya; and KINOSHITA, Osamu. 1970. The Alteration of Cultivated Rice in Thailand and Cambodia. *Southeast Asian Studies* 8 (1).
- N- 7 FUKUI, Hayao; and TAKAHASHI, Eiichi. 1970. Rice Culture in the Central Plain of Thailand (IV)—Response to Nitrogen of Some Native Varieties under Field Conditions—. *Southeast Asian Studies* 8 (1).
- N- 8 SMITINAND, Tem; SHIMIZU, Tatemi; KOYAMA, Hiroshige; and FUKUOKA, Nobuyuki. 1970. Contributions to the Flora of Southeast Asia—I. Taxonomy and Phytogeography of Some Temperate Species in Thailand—. *Southeast Asian Studies* 8 (2).
- N- 9 SHIMIZU, Tatemi. 1970. Contributions to the Flora of Southeast Asia—II. *Impatiens* of Thailand and Malaya—. *Southeast Asian Studies* 8 (2).
- N-10 FUKUOKA, Nobuyuki. 1970. Contributions to the Flora of Southeast Asia—III. *Hedyotis* (Rubiaceae) of Thailand—. *Southeast Asian Studies* 8 (3).
- N-11 AKIHAMA, Tomoya; and WATABE, Tadayo. 1970. Geographical Distribution and Ecotypic Differentiation of Wild Rice in Thailand. *Southeast Asian Studies* 8 (3).
- N-12 MURATA, Gen. 1971. Contributions to the Flora of Southeast Asia—IV. A List of Labiatae Known from Thailand—. *Southeast Asian Studies* 8 (4).
- N-13 FUKUI, Hayao; and TAKAHASHI, Eiichi. 1971. Rice Culture in the Central Plain of Thailand (V)—Possibility of Higher Yield viewed from the Yield Component Surveys in Farmers' Fields—. *Southeast Asian Studies* 8 (4).
- N-14 TAKAYA, Yoshikazu. 1971. Two Brackish Clay Beds along the Chao Phraya River of Thailand. *Southeast Asian Studies* 9 (1).
- N-15 KYUMA, Kazutake. 1971. Climate of South and Southeast Asia according to Thornthwaite's Classification Scheme. *Southeast Asian Studies* 9 (1).
- N-16 OHWI, Jisaburo. 1971. Contributions to the Flora of Southeast Asia—V. Gramineae and Cyperaceae of Thailand—. *Southeast Asian Studies* 9 (2).
- N-17 HORIUCHI, Takatsugu; SAMY, S. J.; and PHANG, C. C. 1971. Grain Loss during Hand Harvesting in the Rice Cultivation in Kedah, West Malaysia. *Southeast Asian Studies* 9 (2).
- N-18* KAIDA, Yoshihiro. 1971. An Analysis of the Effect of Environmental Factors on Paddy Rice Yields—A Case Study from the Northern Region of the Greater Chao Phraya Project—. *Southeast Asian Studies* 9 (2).

- N-19 FUKUI, Hayao. 1971. Environmental Determinants Affecting the Potential Dissemination of High Yielding Varieties of Rice—A Case Study of the Chao Phraya River Basin—. *Southeast Asian Studies* 9 (3).
- N-20 TAKAYA, Yoshikazu. 1971. Physiography of Rice Land in the Chao Phraya Basin of Thailand. *Southeast Asian Studies* 9 (3).
- N-21 HATTORI, Tomoo. 1971. The Quaternary Stratigraphy in the Northern Basin of the Central Plain, Thailand. *Southeast Asian Studies* 9 (3).
- N-22* KYUMA, Kazutake. 1972. Numerical Classification of the Climate of South and Southeast Asia. *Southeast Asian Studies* 9 (4).
- N-23 HATTORI, Tomoo. 1972. Some Properties of Brackish Sediments along the Chao Phraya River of Thailand. *Southeast Asian Studies* 9 (4).
- N-24* KYUMA, Kazutake; and KAWAGUCHI, Keizaburo. 1973. A Method of Fertility Evaluation for Paddy Soils. *Soil Science and Plant Nutrition* 19 (1).
- N-25* TAKAYA, Yoshikazu. 1975. An Ecological Interpretation of Thai History. *Journal of Southeast Asian Studies* 6 (2).
- N-26 高谷 好一; 友杉 孝. 1976. 東北タイの水田. アジア経済 [Asia Keizai] 13(9), 14(3), 15(2), 15(11), 東南アジア研究 [Southeast Asian Studies] 10(1).
- N-27 TAKAYA, Yoshikazu. 1977. The Agriculture of Nepal: Its Ecology and Historical development. *Changing Aspects of Modern Nepal*.
- N-28* KYUMA, Kazutake; SUH, Yoon-Soo; and KAWAGUCHI, Keizaburo. 1977. A Method of Capability Evaluation for Upland Soils. *Soil Sci. Plant Nutr.* 23.

5. ディスカッション・ペーパー (*印は在庫なし)

- No. 1* YOSHIHARA, Kunio. 1969. *The Application of Alternative Demand Models to the Japanese Expenditure Pattern*.
- No. 2* YOSHIHARA, Kunio. 1969. *The Growth Rate as a Determinant of the Saving Ratio*.
- No. 3* YOSHIHARA, Kunio. 1969. *A Theory of Cost of Living and Real Income*.
- No. 4* ICHIMURA, Shinichi et al. 1969. *An Econometric Analysis of Postwar Japanese Economy: Chapter III—Detailed Discussion of the Model—*.
- No. 5* YOSHIHARA, Kunio et al. 1969. *The Problem of Accounting for Productivity Change in the Construction Price Index*.
- No. 6* ICHIMURA, Shinichi et al. 1969. *An Econometric Analysis of Postwar Japanese Economy: Chapter II—Outline of the Osaka Model—*.
- No. 7 ICHIMURA, Shinichi et al. 1969. *An Econometric Analysis of Postwar Japanese Economy: Chapter VI—The Compilation of Data—*.
- No. 8* YOSHIHARA, Kunio; and RATCLIFFE, Tait. 1970. *Productivity Change in the Japanese Economy, 1905-65*.
- No. 9* ICHIMURA, Shinichi. 1970. *The Challenge of Rising Sun*.

- No. 10* EZAKI, Mitsuo; and JORGENSEN, Dale W. 1971. *The Measurement of Productivity Change in the Japanese Economy, 1952-1966.*
- No. 11* ISHII, Yoneo. 1971. *Ecclesiastical Examination in Thailand.*
- No. 12* MIZUNO, Koichi. 1971. *Social System of Don Daeng Village: a Community Study in Northeast Thailand.*
- No. 22* }
 No. 23* MAEDA, Narifumi. 1971. *Economic Activities among the Orang Hulu.*
- No. 24* MAEDA, Narifumi. 1971. *Authority and Leadership Among the Orang Hulu.*
- No. 25* EZAKI, Mitsuo. 1971. *A Note on the Measurement of Productivity Change.*
- No. 26* }
 No. 29* } MOTOOKA, Takeshi. 1971. *Agricultural Development in Thailand.*
- No. 30* MIZUNO, Koichi. 1971. *For a Comparative Study on "Industrialization and Rural Communities" (with an Illustration of Rural Japan).*
- No. 31* YASUBA, Yasukichi. 1971. *Revaluation of Yen—A Strategy for Equitable and Realistic Revaluation—.*
- No. 32* MOTOOKA, Takeshi. 1971. *Responsibility of Agricultural Education in Southeast Asian Development.*
- No. 33* TSUJII, Hiroshi. 1971. *An Econometric Analysis of the Effects of Technological Improvements in Rice Production on Rice Trade Among Thailand, Indonesia and the World.*
- No. 34* KYUMA, Kazutake; and KAWAGUCHI, Keizaburo. 1971. *Fertility Evaluation of Paddy Soils in South and Southeast Asia—First Approximation: Chemical Potentiality Rating—.*
- No. 35* ICHIMURA, Shinichi; and BACHATIAR, Harsja W. 1972. *The First Preliminary Report of the Economic Survey of South Sumatra—The Pilot Survey and its Findings—.* LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 1.
- No. 36 ICHIMURA, Shinichi; and BACHATIAR, Harsja W. 1972. *A Summary of Gross Provincial Product Estimation for South Sumatra Province, 1970.* LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 2.
- No. 37* HUTABARAT, Panangaran. 1972. *The Estimation of Value Added in Finance Sector of South Sumatra, Indonesia.* LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 3.
- No. 38 MIZUNO, Koichi. 1972. *Japanese Scholarship on Southeast Asian Villages—A Socioanthropological View—.*
- No. 39* MOTOOKA, Takeshi. 1972. *The Role of Rural Institutions, Especially of Farmer's Organization in Asian Rural Development.*
- No. 40* KYUMA, Kazutake; and KAWAGUCHI, Keizaburo. 1972. *Fertility Evaluation of Paddy Soils in South and Southeast Asia—Second Approximation: Evaluation of Three Independent Constituents of Soil Fertility.*
- No. 41* LUTHAN, Julian. 1972. *Value Added of The Mining and Quarrying Industries in South Sumatra, 1970.* LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 4.
- No. 42* THEE, Kian Wic. 1972. *An Estimation of Gross Value Added of Commerce in the Province of South Sumatra in 1970.* LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 5.

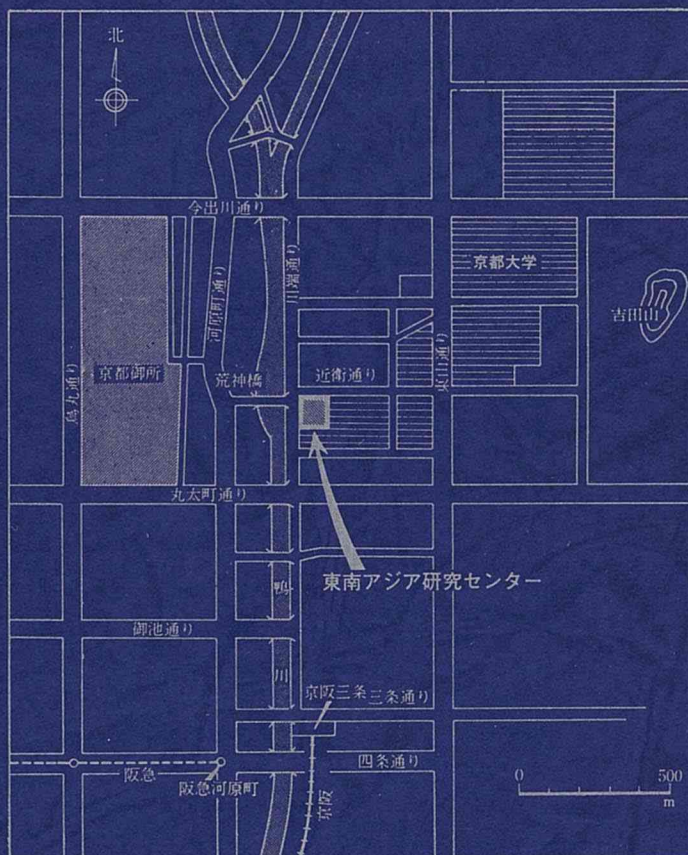
- No. 43* HUTABARAT, Panangaran. 1972. *An Estimation of Gross Value Added of Electricity, Gas and Water Supply and of Ownership of Dwelling in the Province of South Sumatra in 1970*. LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 6.
- No. 44* SIREGAR, Muchtarudin; and BATUBARA, Januar. 1972. *The Estimation of Value Added of the Transport and Communications Sector in South Sumatra in 1970*. LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 7.
- No. 45* TAMBA, Jonker Leonard. 1972. *Estimation of Regional Income Originating from the Government Sector in South Sumatra, 1970*. LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 8.
- No. 46* MOTOOKA, Takeshi. 1972. *Basic Problems of Industrial Development in Relation to the Agricultural Sector in Southeast Asia*.
- No. 47* MOTOOKA, Takeshi. 1972. *Some Observations on the Green Revolution in India: A Brief Report of the Invitation Trip of Indian Government in November and December of 1971*.
- No. 48 EZAKI, Mitsuo. 1972. *Two Notes: I. On the Theory of National Accounting. II. Quality Indexes of Capital, Labor and Output in the Measurement of Productivity Change*.
- No. 49* ICHIMURA, Shinichi. 1972. *Institutional and Methodological Problems on Multidisciplinary Research in Asian Area Studies*.
- No. 50* LUTHAN, Julian. 1972. *An Estimation of Gross Value Added of the Manufacturing and Construction Industries in the Province of South Sumatra in 1970*. LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 9.
- No. 51* BASIR, Kimin. 1972. *The Service Sector of South Sumatra, 1970*. LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 10.
- No. 52* THEE, Kian Wie. 1972. *An Estimation of Gross Value added of the Agricultural Sector in the Province of South Sumatra in 1970*. LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 11.
- No. 53* ISHII, Yoneo; AKAGI, Osamu; and ENDO, Noriko. 1972. *A Glossarial Index of the Sukhothai Inscriptions*.
- No. 54* KAIDA, Yoshihiro. 1972. *Mathematical Models on the Optimization of the Amounts and the Scheduling of Intraseasonal Irrigation, and Cropping Patterns*.
- No. 55* THEE, Kian-wie. 1972. *Report on the Main Field Survey*. LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 12 (with Statistical Appendix).
- No. 56 THEE, Kian Wie. 1972. *Revised Summary of Gross Provincial Product Estimation for the Province of South Sumatra, 1970*. LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 13.
- No. 57 THEE, Kien Wie. 1973. *South Sumatra's External trade in 1970*. LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 14.
- No. 58* EZAKI, Mitsuo. 1972. *The Two-gap Analysis of Foreign Aid: A Comment on the Chenery-Strout Model*.
- No. 59 THEE Kian Wie. 1973. *An Estimation of Private Consumption in South Sumatra in 1970*. LEKNAS-KYODAI Preliminary Report No. 15.
- No. 60* TSUBOUCHI, Yoshihiro. 1973. *A Collection of Socio-Economic Data of a Malay Village in Kelantan*.

- No. 61* ICHIMURA, Shinichi. 1973. *Interdisciplinary Research and Area Studies*.
- No. 62* ICHIMURA, Shinichi; and YANO, Toru. 1973. *Books on Japan—An Assorted Bibliography—*.
- No. 63* ICHIMURA, Shinichi. 1973. *Japanese Entrepreneurship in the Early Stage of Economic Development*.
- No. 64* KOENTJANINGRAT. 1973. *Village Life South of Jakarta—Brief Report of a Comparative Study on “Village Life Around Capital Cities of Southeast Asia—”*.
- No. 65* SAKDEJAYONT, Yut. 1973. *Village Life Near Bangkok—Brief Report of a Comparative Study on “Village Life Around Capital Cities of Southeast Asia”*.
- No. 66* ICHIMURA, Shinichi. 1973. *Japan’s Stake in Asia*.
- No. 67 TAMBA, Jonker Leonard. 1973. *The Estimation of Capital Formation in South Sumatra, 1970*.
- No. 68* YASUBA, Yasukichi. 1973. *The Evolution of Dualistic Wage Structure*.
- No. 69 CUYUGAN, R. Santos; and BONIFACIO, M. Flores. 1973. *Rural Philippine Communities: A Case Study of the Impact of Industrialization—Brief Report of a Comparative Study on “Village Life Around Capital Cities of Southeast Asia”*.
- No. 70* MAEDA, Narifumi. 1974. *Abstract—The Changing Peasant World in a Melaka Village: Islam and Democracy in the Malay Tradition—*.
- No. 71* EZAKI, Mitsuo. 1974. *A Complete System of Private Accounts*.
- No. 72* EZAKI, Mitsuo. 1974. *An Econometric Model and Simulation Analyses for Postwar Japan’s Aggregate Economy, 1952–1980*.
- No. 73* MAEDA, Narifumi. 1974. *The Aftereffects of Haji and Kaan Buat*.
- No. 74* ICHIMURA, Shinichi. 1974. *Japan: The Rising Sun or the Sinking Ship—The Energy Problem and the Food Shortage—*.
- No. 75* TSUJII, Hiroshi. 1974. *An Econometric Model of the International Rice Market and Analyses of the National Rice Policies in Thailand, Indonesia, Japan, and the United States*.
- No. 76* ISHII, Yoneo; AKAGI, Osamu; and TANABE, Shigeharu. 1974. *An Index of Officials in Traditional Thai Governments, Volume I—Part 1: The Law of Civil Hierarchy and the Law Military and Provincial Hierarchies*.
- No. 77 MOKHZANI, B. A. R. 1974. *Gombak: A Malay Village East of Kuala Lumpur—Brief Report of a Comparative Study on “Village Life Around Capital Cities of Southeast Asia”—*.
- No. 78* YOSHIHARA, Kunio; and ADACHI, Kyoichiro. 1975. *Japanese Direct Industrial Investment in Korea, Hong Kong, Singapore and Taiwan*.
- No. 79* TSUJII, Hiroshi. 1975. *A Quantitative Model of the World Rice Market and Analyses of the National Rice Policies with Special Reference to Thailand, Indonesia, Japan and the United States*.
- No. 80* YANO, Toru. 1975. *Southeast Asia: A Kaleidoscope of Japanese Images*.
- No. 81 ICHIMURA, Shinichi; and YANO, Toru. 1975. *The Future Pattern of Japanese Economic and Political Relations with Southeast Asia*.
- No. 82 DIFFLOTH, Gérard. 1976. *Appraisal of Benedict’s View on Austroasiatic and Austro-Thai Relations*.
- No. 83* YANO, Toru. 1975. *The Greater East Asia Co-prosperity Sphere: Setting the Stage for the Cold War in Southeast Asia*.

- No. 84* YANO, Toru. 1975. *ASEAN in the New Setting of Asia: A Japanese View.*
- No. 85 KYUMA, Kazutake. 1976. *Paddy Soils in the Mekong Delta of Vietnam.*
- No. 86* NISHIMURA, Hiroyuki. 1976. *Technical and Socio-Economic Constraints on Farm Development—A Review of the Kinds and Sources of Farmers' Information.*
- No. 87* TSUJII, Hiroshi. 1976. *Rice Economy and Rice Policy of South Vietnam, Economic and Statistical Analysis.*
- No. 88 DIFLOTH, Gérard. 1976. *Proto-Mon-Khmer Final Spirants.*
- No. 89* TSUJII, Hiroshi. 1976. *Effect of Climatic Fluctuation on Rice Production in Continental Southeast Asia—A Proposal of a Multidisciplinary Approach—.*
- No. 90 EZAKI, Mitsuo. 1977. *Growth Accounting of the Philippines: A Comparative Study of the 1965 and 1969 Input-Output Tables.*
- No. 91 DIFLOTH, Gérard. 1976. *Translation of a Part of A. A. Moskalev's "Grammar of the Chuang Language".*
- No. 92* YAMAKAGE, Susumu. 1977. *Interdependence of the Asean Region—The Transaction Analysis of Trade Flows, 1950, 1960, 1970—.*
- No. 93* YAMAKAGE, Susumu. 1977. *Extra-Regional Dependence of the ASEAN Region: The Transaction Analysis of Trade Flows, 1950, 1960, 1970.*
- No. 94* EZAKI, Mitsuo. 1977. *Growth Accounting of the Philippines: The Demand-for Output Side.*
- No. 95* TANABE, Shigeharu. 1977. *Historical Geography of the Canal System in the Chao Phraya Delta from the Ayutthaya Period to the Fourth Reign of the Ratanakosin Dynasty.*
- No. 96* KYUMA, Kazutake et al. 1978. *A Study of Padi Cultivation in the State of Sarawak.* KYOTO UNIVERSITY TEAM.
- No. 97 KYUMA, Kazutake. 1978. *Paddy Soils in the State of Sarawak, East Malaysia.*
- No. 98* EZAKI, Mitsuo. 1978. *Growth Accounting of Postwar Japan: The Input Side.*
- No. 99* TSUBOUCHI, Yoshihiro. 1978. *Indonesians at Work through Japanese Eyes.*
- No. 100* FUKUI, Hayao. 1978. *Climate Variability and Agriculture—The Humid Tropics—.*
- No. 101* EZAKI, Mitsuo. 1978. *Linking National Econometric Models of Japan, U. S. A., and the East and Southeast Asian Countries: A Pilot Study.*
- No. 102 ICHIMURA, Shinichi. 1978. *Argentine Economy and the World Food Market, Especially the Asian Market Ten Year's Perspectives.*
- No. 103 FURUKAWA, Hisao. 1979. *Manual for Field Soil Records.*
- No. 104* YASUBA, Yasukichi. 1979. *Another Look at the Tokugawa Heritage with Special Reference to Social Conditions.*
- No. 105 YAMAKAGE, Susumu. 1979. *Interdependence and Conflict: A Two-Actor Model of a Transaction with an Application to Japanese-Southeast Asian Relations.*
- No. 106 ICHIMURA, Shinichi. 1979. *Japanese Industrial Restructuring Policies 1945-1979.*
- No. 107* EZAKI, Mitsuo. 1979. *The Bank of Thailand Model and its Application to Policy Simulations.*

No. 108 ICHIMURA, Shinichi. 1979. *Southeast and East Asia in 1980*.

No. 109 YAMAKAGE, Susumu. 1980. *ASEAN's Political Cooperation, 1967-77: A Performance Analysis of Foreign Ministers' Meetings*.



京都大学東南アジア研究センター
 〒606 京都市左京区吉田下阿達町46
 電話 075-751-2111 (内)7302~7305
 昭和55年12月1日 発行

